

NEC

LAVIE

テレビを 楽しむ本

活用編

パソコンだから二歩進んだテレビの楽しみ方を



テレビを見る

録画・予約する

再生する

録画番組を光ディスク
(DVDなど)に保存する

テレビをもっと活用する

Q&A(困ったときは)

付 録


このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について


- ・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- ・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。また、Windowsやアプリのアップデートにより、画面や手順に変更が入る場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります




記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	--

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
---	---------------------------

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
 ポイント	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
光学ドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
ストレージ	番組を保存するハードディスクドライブまたはSSDを指します。
「LAVIEアプリナビ」	「LAVIEアプリナビ」を使用して、関連する情報を参照することを示します。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のモデル構成を確認する場合は、添付の『セットアップマニュアル』の「このマニュアルの表記について」-「◆このパソコンのモデル構成について」をご覧ください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を2つ内蔵しているモデルのことです。 最大2つの番組を同時に録画したり、視聴している番組の裏番組を録画することができます。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチ(DVD-R/+R 2層書込み)を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 10	Windows 10 Home Windows 10 Pro

◆このマニュアルで使用している用語について

フルスクリーンモード	リモコンで操作することができるモードです。 リモコンのボタンでSmartVisionを起動すると、このモードになります。
マウス操作専用モード	録画した番組の整理や映像の簡易編集など、フルスクリーンモードよりさらに多くの機能が使えるモードです。マウス操作専用モードには、用途に応じて使い分けられる3つのモード(スリムモード/ノーマルモード/アドバンスモード)があります。マウス操作専用モードへの切り換えについては、『テレビを楽しむ本 基本編』の「マウス操作専用モード」をご覧ください。
オンラインヘルプ	マウス操作専用モード画面から表示するヘルプです。マウス操作専用モードでの操作の説明が表示されます。オンラインヘルプの表示手順についてはPART5の「オンラインヘルプを表示する」(p.56)をご覧ください。
ライブモード	放送中の番組をそのまま視聴するモードです。
タイムシフトモード	放送中の番組を一時的に録画し、それを再生して視聴するモードです。録画番組を楽しむときのように一時停止や巻き戻しなどの操作ができます。
B-CASカード	デジタル放送の視聴に必要なカードです。このパソコンでは携帯電話用ICカード(SIMカード)サイズのminiB-CASカードを使用し、マニュアルでは「B-CASカード」と表記します。

◆画面デザインの変更について

本製品の仕様、画面デザインは、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

機能や操作方法に本マニュアルの説明との差異があった場合は、実際の画面や動作にしたがってご使用ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ストレージにインストールされているWindows 10 Home、Windows 10 Proおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- (10) この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
- (11) 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

商標について

Microsoft、WindowsおよびWindowsのロゴは米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。NECパーソナルコンピュータ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

SmartVisionは、NECパーソナルコンピュータ株式会社の登録商標です。

本製品には、NECのフォント「FontAvenue®」を使用しています。

SDXC、SDHC、SD、microSDXC、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Blu-ray Disc™、Blu-ray™ および BD-XL™ はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

Twitterという名称、Twitter バードは、Twitter, Inc.の登録商標です。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。

Intel、Intel CoreとIntelのロゴ、インテルは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

このマニュアルの表記について	i
----------------------	---

PART	テレビを見る	1
1	タイムシフトモードで見る	2
	タイムシフトモードについて	2
	タイムシフトモードに切り換える	2
	タイムシフトモードで見ている番組を操作する	3
	タイムシフトモードを終了する	3
	データ放送を見る	4
	データ放送って何?	4
	データ放送を表示する	4
	データ放送の操作	5
	データ放送を見るときのご注意	6
	番組表を使う	7
	手動で番組表を受信するには	7
	マイ番組表を作る	8

PART	録画・予約する	11
2	録画について	12
	録画するときのご注意	12
	録画モードについて	14
	録画に必要なストレージ容量について	15
	同時録画をおこなうときのご注意	16
	録画を中断する条件	16
	タイムシフトモードの番組を録画する(さかのぼり録画)	17
	番組を検索して予約する	20
	検索できる番組	20
	検索した番組を予約する	20
	番組表を使わないで予約する(時間指定)	22
	おまかせ録画をする	23
	おまかせ録画って何?	23
	おまかせ録画を有効にする	24
	おまかせ録画を登録する	25

新番組おまかせ録画をする	29
新番組おまかせ録画って何?	29
新番組おまかせ録画を有効にする	29
新番組おまかせ録画を無効にする	30
新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する	31
予約の優先度について	34
自動的に登録される予約の優先度	34
予約についてのご注意	35
予約するときのご注意	35

PART	再生する	37
3	録画した番組を再生する	38
	手動でチャプターマークを追加する(マイチャプター)	38
	番組を並べ替える	39
	録画中の番組を再生する(追っかけ再生)	40
	録画中の番組を再生する(追っかけ再生)	40
	おまかせ録画した番組を再生する	41
	おまかせ録画した番組を再生する	41
	登録されたキーワードで録画番組を探す(おてがる録画検索)	43
	おてがる録画検索用のキーワードを追加する	43

PART	録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する	45
4	番組を保存できる光ディスク(DVDなど)について	46
	保存できる光ディスク	46
	光ディスクに書き込む形式について	46
	録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす	47
	光ディスクのフォーマットとファイナライズについて	50
	番組を光ディスクに保存するための準備とご注意	51
	光ディスクに保存するときの録画モードの変換について	51
	光ディスクをフォーマットする	51
	光ディスクに保存するときのご注意	53

マウス操作専用モード	56
マウス操作専用モードのモードを切り換える	56
録画した番組のデータ量を減らす(録画モード変換)	58
録画モード変換について	58
録画モード変換をする	59
録画した番組を整理する	62
ご購入時の録画フォルダー	62
録画フォルダーを作成する	63
録画した番組を移動する	65
録画フォルダーを削除する	66
簡易編集機能を使う	68
録画番組を簡易編集する	68
オートチャプターの情報を使って編集する(自動登録)	72
外付けハードディスクを利用する	73
登録できるハードディスクについて	73
ハードディスクを登録する	73
登録したハードディスクに番組を録画する	74
ハードディスクを登録するときの注意	75
番組の情報をインターネットで探す	76
「ウェブ検索」について	76
番組表や録画番組一覧から「ウェブ検索」する	76
テレビや録画番組を見ているときに「ウェブ検索」する	79
「ウェブ検索」で使う検索プロバイダーを変更する	81
録画番組をスマートフォンなどで楽しむ(外でもVIDEO)	82
外でもVIDEO って何?	82
録画した番組をスマートデバイスに転送する	84
録画するとき外でもVIDEOの設定をする	88
自動転送を使う	91
簡単転送を使う	95
スマートデバイスに転送したデータを確認する	96
別の機器からの操作によって録画番組を転送する	97

ホームネットワークを使って録画した番組を楽しむ	98
ホームネットワークを使うと	98
ホームネットワークの準備について	98
ホームネットダビング	101
メディアサーバーに保存された番組を楽しむ	105
映像をホームネットワークで配信する	107
インターネットを使って外出先から番組を楽しむ	109
リモート視聴について	109
リモート視聴が利用できるプレーヤー機器について	109
リモート視聴するための準備	109
つぶやきプラスを活用する	110
つぶやきプラスの主な機能	110
つぶやきプラスを使う前の準備	112
つぶやきプラスの基本操作	117
ツイッター ID をロックする	118
視聴番組のツイートを表示する	120
裏番組のツイートを表示する	124
ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける (つぶやきシーン検索)	125
特定のツイートを非表示にする	126
おすすめ番組を利用して録画予約する	127
テレビを見ながらツイートを投稿する	128
ツイッターを使って外出先などから録画予約する (リモート録画予約)	130
ツイートの多い番組をお知らせする機能について(盛り上がり通知) ..	131
一歩すすんだつぶやきプラスの設定	132
その他の機能	138
通知領域のアイコンについて	138
デジタル放送の番組サービスについて	139
録画ファイルのプロパティを変更する	139

パソコンの起動／終了について	142
パソコンの電源が勝手に入ってしまう	142
パソコンの電源が勝手に切れる	142
予約録画などの後、パソコンの電源が自動で切れない	143
テレビを見ているとき	144
テレビが映らない	144
テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。 プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。 デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる	146
テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。 または操作できなくなった	146
音が出ない、音が大きすぎる	146
映像が乱れる(コマ落ちする)	146
放送中のデジタル放送の映像が遅れている	148
映像が微動する(揺れる)	148
データ放送が表示できない	148
CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい	148
地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない	148
地上デジタル放送が受信できなくなった	148
今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の 映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった	149
BS・110度CSデジタル放送の特定のチャンネルを視聴すると、 「E203 放送休止中」と表示されるようになった	149
引っ越しをしたらテレビが映らなくなった	149
視聴予約や録画予約ができないときには	150
視聴予約した番組が開始されない	150
録画予約した番組が録画されていない	150
予約録画した番組が途中で途切れている	151
録画フォルダーに録画した番組が見あたらない	152
おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない	153
シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、 録画されていない番組がある	153

新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、 録画されない新番組がある	154
番組表の受信がうまくいかない	155
番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが発生する	155
デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない	155
録画ができない	156
録画ができない	156
その他	157
操作パネルが表示されない	157
リモコンで操作できない	157
リモコンでデータ放送が操作できない	158
リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる	158
「SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが 表示された	158
DVDに保存しようとしたが、 選択できない番組(保存できない番組)がある	158
DVD-RAMの書き込みに失敗する	158
SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい	159
テレビを終了しようとしたが終了しない	159
テレビ画面に緑色の横線が見える	159
テレビ画面上にメッセージが表示された	159
SmartVisionの動作が遅いことがある	160
操作中にウィンドウが見えなくなる	160
外付けハードディスク以外の機器を接続したとき、SmartVisionで 録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する 画面が表示される	160
コピー回数が「再生不可」と表示された番組がある	161
パソコンを再セットアップするときの録画番組のデータについて 知りたい	161
スタートメニューまたはタスクバーのSmartVisionアイコンが 表示されない	161
「ウェブ検索」機能を使ったときWebブラウザが表示されない。 マウスでWebブラウザをクリックしても、 テレビ(SmartVision)の手前に表示されない	162

リモコンで「きこえる変速再生」の操作ができない	162
セキュリティアプリを入れ換えてから問題が起こるようになった	162
設定していない時刻に番組表の受信が始まった	162
テレビの映像のスクリーンショットが取れない	163
「SmartVision TV Driver」を再インストールしたい	163
SmartVisionを再インストールしたい	163
SmartVisionを更新したい	164
映像が黒い画面や静止したままになって、 SmartVisionを操作できない	164
SmartVisionの表示が乱れる(SmartVision画面の一部が黒く なったり、映像の表示位置がずれるなど)	164

PART

7

付 録

165

B-CASカードについて	166
B-CASカードを扱うときのご注意	166
B-CASカードの情報を確認する	166
アンテナの設定をする	167
アンテナの調節をする	167
情報	168
B-CASカード情報の確認	168
受信レベルの確認	168
バージョンの確認	169
放送メール	169
ダウンロード	169
設定	170
番組表の設定	170
予約録画の設定	170
リモコンの設定	171
外でもVIDEO(簡単転送)の設定	172
パレンタル設定	172
データ放送の設定	173
テレビ優先モードの設定	173
初期設定のやりなおし	173

ダビング10とは	174
コピー制御方式について	174
ダビング10とコピーワンスの違い	174
ダビング10でできること	175
録画モードを変換した番組と簡易編集した番組の ダビング10についての注意	176
コピーできる回数を確認するには	177
個人情報を消去する	179
消去できるデータについて	179
データを消去する	179
自動サインインの設定をする	182
設定を変更する	182
各モードの画面説明	183
その他の機能・情報	187
SSDとハードディスクを搭載したモデルで、 Cドライブの領域を変更した場合は	187
ストレージの空き容量の制限値を変更する	188
全画面表示のときの画面の表示方法を変える	189
各画面に表示される「録画可能時間」に関するご注意	189
索引	190



テレビを見る

ここでは、テレビを見るとき便利な機能について説明しています。
基本的な機能については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにアプリの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ (SmartVision) を起動したり、リモコンの【テレビ】でパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。

※テレビを快適に視聴するために、必要でないアプリはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

注意



- 映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
- テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。

PART 1

テレビを見る

タイムシフトモードで見る

ツーアウト満塁のシーンで電話のベル！そんなときはタイムシフトモードの出番です。今見ている番組を一時停止して、用事を済ませてから続きを楽しみましょう。

タイムシフトモードについて

「タイムシフト」は、見ている番組を自動的に録画する機能です。リアルタイムで見ていた番組を、いったん録画してから再生するため、一時停止したり、巻き戻しや早送りができるのです。

自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ストレージ容量も無駄になりません。

ご購入時には、「ライブモード」になっています。

タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特徴があります。

- ・タイムシフトモード：
視聴中の番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画(p.19)をしたりできます。
- ・ライブモード：
さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

ポイント

一部の録画機能の組み合わせによっては、ライブモードで視聴していたテレビが自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その録画が終了するとライブモードに戻ります。

詳しくはPART2の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。

タイムシフトモードに切り換える

ライブモードでテレビを見ているときは、次の操作でタイムシフトモードに切り換えることができます。

1 リモコンの【一時停止】を押す



タイムシフトモードに切り換わり、番組が一時停止します。続きを見るときは【再生】を押してください。

ポイント

- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。
- 【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで切り換えることもできます。

チェック

タイムシフトモードのときに、パソコンをスリープ状態や休止状態にしないでください。

これらの状態からの復帰後に、SmartVisionが正常に起動できないことがあります。

タイムシフトモードで見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。



●一時停止

【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し

【巻戻し】を押します。再生を始めたところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で速くなります*。

●早送り

【早送り】を押します。再生を始めたところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で速くなります*。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●きこえる変速再生

音声付きで、早め、またはゆっくり再生できます。

「お急ぎモード」: 【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階で速くなります。リアルタイムの放送に追いつくと、「お急ぎモード」は使えなくなります。

「じっくりモード」: 【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階で遅くなります。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

- 巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。
- 巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。
- タイムシフトモードで番組を視聴しているとき、チューナー(レコーダー)を切り換えると、タイムシフトモードは終了します。

ポイント

「リモコンの設定」で、【<<】【>>】に30秒スキップ機能を割り当てるともできます(p.171)。

チェック

- きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。
- 一時停止後に続きを再生する場合、一時停止する前のスピードで再生されます。
- タイムシフトモードでさかのぼれる時間は、ご購入時の状態で60分です。「じっくりモード」で番組を視聴していると、再生位置がリアルタイムの放送からだんだん遅れていきます。この遅れが、さかのぼれる時間の限界に達すると、「じっくりモード」は解除され、通常の再生スピード(1倍)に戻ります。

タイムシフトモードを終了する

1 リモコンの【停止】を押す



タイムシフトモードが終了し、ライブモードに戻ります。

ポイント

一部の録画機能の組み合わせによっては、ライブモードで視聴していたテレビが自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その録画が終了するまでライブモードに切り換えられません。詳しくはPART2の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。

PART 1

テレビを見る

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れます。双方向サービスもあります。

データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。

データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

データ放送を表示する

1 リモコンの【連動データ】を押す



データ放送の画面が表示されます。

データ放送の画面を閉じるときは、もう一度【連動データ】を押してください。

！チェック

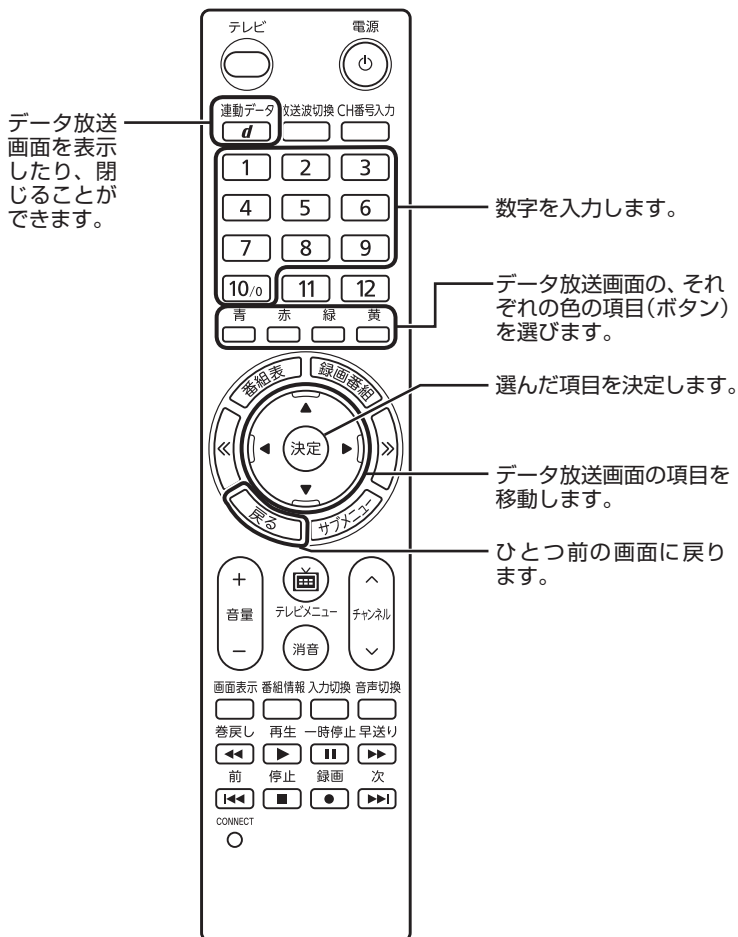
- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- 双方向サービスを利用する場合は、ライブモード(p.3)に切り換えてください。
- 双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。

📌ポイント

- 番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。
- 【連動データ】を押してもデータ放送が閉じないときは、データ放送の画面で閉じる方法を確認してください。

データ放送の操作

データ放送は、リモコン、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。



チェック

- データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。
- リモコンを「データ放送固定モード」にしないと操作できない場合があります。必要に応じて、リモコンの【サブメニュー】を押し、リモコンの設定を「自動切換」から「データ放送固定モード」に変更してください。
- 数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。
- リモコンで「0」を入力するときは【10】を押してください。

キーボード	操作の内容
[D]※	データ放送画面を表示したり、閉じることができます。
[↑][↓][←][→]	データ放送画面の項目を移動します。
[Enter]	選んだ項目を決定します。
[BackSpace]	ひとつ前の画面に戻ります。
[B]※	データ放送画面の、それぞれの色の項目(ボタン)を選びます。 [B]：青 [R]：赤 [G]：緑 [Y]：黄
[R]※	
[G]※	
[Y]※	
[0]～[9]※	数字を入力します。

※マウス操作専用モードでのみ使用可。

■ 文字を入力する

データ放送で文字入力が必要な場面になると、ソフトキーボードが表示され、リモコンで文字が入力できます。

データ放送を見るときのご注意

- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモード(p.2)でデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。
- データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。
映像を優先するときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送」の「無効」を選んで【決定】を押してください。
- ダイレクト以外の録画モード(p.14)で録画した番組は、再生するときデータ放送を視聴することができません。
- 録画番組の再生で、一時停止、早送り、巻き戻し、きこえる変速再生などをおこなっているときは、データ放送を見ることができません。

PART 1

テレビを見る

番組表を使う

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選び、番組表を見たい放送波を選んで【決定】を押す

ご購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

3 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「番組表の取得」を選んで【決定】を押す

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

地上デジタル放送の場合の例

地上デジタル放送の番組表を今すぐ取得しますか？

<注意> (番組表取得をおこなうレコーダーについて)
番組表を取得中はチャンネルが自動的に切り換わります。
タイムシフトモードはライブモードになります。
次の場合は番組表の取得を中止します。
・別のチャンネルや放送波に切り換えた
・録画を開始した
・タイムシフトモードにした

はい

いいえ

4 「はい」を選んで【決定】を押す

番組表の受信が始まります。

受信が完了すると、番組表の下に取得した日時が表示されます。

● チェック

- 手動で番組表を受信するときは、番組表の基本的な情報のみを取得します。これはBSデジタル放送の番組表のデータが多く、詳細な情報を含めて取得すると約1時間ほどかかるためです。また、この際、すでに取得されていた詳細情報もクリアされます。
- すでに番組表の受信が始まっているときは、番組表の下に「番組表取得中」と表示されます。

マイ番組表を作る

好みのチャンネルだけを登録したマイ番組表を作ることができます。マイ番組表は4つまで作ることができます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

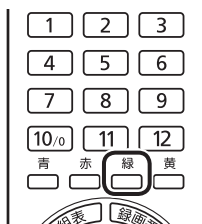
2 「番組表」を選び、マイ番組表を選んで【決定】を押す

ここでは、ご購入時の状態であらかじめ登録されている「マイ番組1」を選びます。



マイ番組表(ここでは「マイ番組1」)が表示されます。

3 【緑】を押す



「マイ番組表の表示設定」が表示されます。

ポイント

ご購入後、はじめて「マイ番組1」を選んだときは、「表示する放送局が未選択です」というメッセージが表示されます。

ポイント

作成済みのマイ番組表を選んで【緑】を押すと、次の操作ができます。

- ・マイ番組表の編集
選択しているマイ番組表を編集できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- ・マイ番組表の追加
新たにマイ番組表を追加できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- ・マイ番組表の削除
選択しているマイ番組表を削除できます。

4 マイ番組表を設定する

① 設定するマイ番組表を選ぶ

「設定するマイ番組表」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで設定したいマイ番組表の番号(1～4)を選んでください。

② マイ番組表の名前を設定する

「マイ番組表の名称」を選んで【決定】を押し、キーボードで名前を入力して【Enter】を押してください。

③ 画面に表示するチャンネル数を選ぶ

「画面に表示するチャンネル数」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで1画面に表示するチャンネルの数を選んでください。

「9チャンネル」・「7チャンネル」・「5チャンネル」のいずれかを選択できます。

④ マイ番組表に登録するチャンネルを選ぶ

チャンネルが表示されている部分を選んで【決定】を押します。

マイ番組表に登録するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「表示」を選んでください。

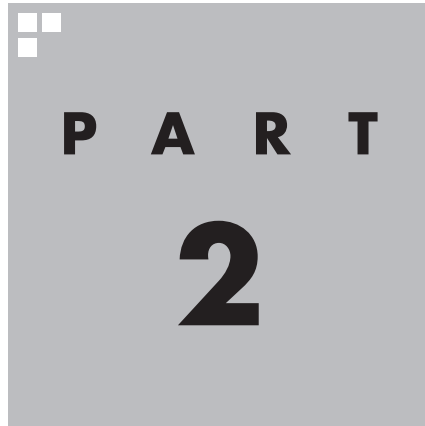
登録を解除するときは、解除するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「非表示」を選んでください。



5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押し



設定が保存され、マイ番組表が表示されます。



録画・予約する

ここでは、録画するときの注意事項や、録画するときの便利な機能について説明しています。

基本的な機能については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

ジャンルやキーワードから好みの番組を自動的に録画する「おまかせ録画」機能や、アニメやドラマなどの新番組を自動録画する「新番組おまかせ録画」機能が使えます。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 2

録画・予約 する

録画について


番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

次のことはおこなわないでください

- ブルーレイディスクドライブモデルの場合、テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。

次のことに注意してください

- 録画には、多くのストレージ容量が必要になります。ストレージの空き容量に注意してください。録画中に録画可能時間を確認するときは、録画中の番組が表示された状態でリモコンの【画面表示】を押してください。録画可能時間が表示されます。録画予約するときは、「番組の予約」画面に録画可能時間が表示されません。
- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- 頻りに録画する場合(週10時間以上)は、ストレージへの書き込みを効率的にするために、週に1回程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは、「 (スタート)」-「Windows システム ツール」-「コントロール パネル」をクリックし、「システムとセキュリティ」-「管理ツール」-「ドライブのデフラグと最適化」で実行します。
- 録画中に、パソコンをシャットダウンしたときや、パソコンが休止状態になったときなどは、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。録画中は、電源ボタンを押すなど、シャットダウンしたり休止状態に移行する操作をしないでください。
- 録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。
- 「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのストレージの空き容量が増減する(ほかのアプリでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。
- 録画した番組はこまめにDVDなどに保存したり、不要な番組を削除したりして、ストレージ容量が不足しないようにしてください。
- 一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集アプリで編集することはできません。

● チェック

- システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。映像が乱れるときの対処について詳しくは、PART6の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.146)をご覧ください。
- ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

ポイント

録画番組の光ディスクへの保存や削除については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

- 短時間(1～3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 同じ時間帯の番組を複数録画するときは、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。
- 同じ時間帯の番組を複数録画できますが、同じ有料番組を同時に2つ以上録画することはできません。
- このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかのパソコンおよび、ほかの動画再生アプリでは再生できません。また、外付けハードディスク(p.73)に録画番組を移動した場合も、このパソコン以外のパソコンでは番組を再生することはできません。
ただし、次の場合は再生可能です。
 - ・DVDなどの光ディスクに保存した場合
 - ・ホームネットワーク(p.98)で、録画した番組をホームネットダビングしたり配信する場合(対応モデルのみ)
 - ・インターネットを使って外出先からリモート視聴(p.109)する場合(対応モデルのみ)
- パソコンを再セットアップしたとき、そのままSmartVisionをご利用になると、外付けハードディスクに保存した録画番組が再生できなくなることがあります。再セットアップが完了したら、すぐに外付けハードディスクを接続しなおしてください。
- 録画中にWindowsバックアップをおこなうと、番組の映像や音声か乱れた状態で録画されることがあります。バックアップスケジュールを設定しているときは、予約録画の時刻と重ならないようご注意ください。
- 独立データ放送(データ放送サービスのみの放送)とラジオ放送は録画できません。
- このパソコンで録画できる番組数の最大値(このパソコンのストレージと外付けハードディスクに録画した番組の合計)は10,000件です。
これ以上は録画できませんので、新たに録画する場合はSmartVisionの「録画番組一覧」から番組を削除してください。外付けハードディスクに録画した番組を削除するときは、その外付けハードディスクをこのパソコンに接続して「録画番組一覧」から削除してください。なお、Windowsのエクスプローラーから録画番組のファイルを削除しても、新たに録画できるようにはなりません。

録画モードについて

録画するときの画質(録画モード)の各モードについて説明します。

録画モード	最大解像度 ^{※2}	ビットレート	用途と特徴	
ダイレクト	フルハイビジョン(HD) 1920×1080	地上デジタルハイビジョン放送(HD):約17Mbps 地上デジタル標準放送(SD):約8Mbps BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(HD):約24Mbps BS・110度CSデジタル標準放送(SD):約11Mbps	放送された画質で番組を録画するモードです。すべてのモードの中で録画時間は一番短くなりますが、画質にこだわりたい番組を保存するのに適しています。このモードのみデータ放送が保存されます。	
長時間モード ^{※1}	ファイン	フルハイビジョン(HD) 1920×1080	約8Mbps	録画できる時間と画質のバランスがとれたモードです。「ダイレクト」に近い画質で、「ダイレクト」よりも約2倍長く録画できます。
	ファインロング	フルハイビジョン(HD) 1920×1080	約4Mbps	フルハイビジョンで長時間録画できるモードです。「ファイン」より画質が低下します。
	セミファインロング	フルハイビジョン(HD) 1920×1080	約1.5Mbps	フルハイビジョンまたはハイビジョン画質で、もっとも長時間録画できるモードです。スタジオで撮影されたドラマなど、映像の動きが激しくない番組であれば、解像度にこだわったまま長時間録画できます。
	ロング	標準(SD) 720×480	約2Mbps	標準解像度に変換して録画するモードです。映像の動きが激しい番組では、「セミファインロング」に比べてブロックノイズが目立ちにくくなります。
	スーパーロング	標準(SD) 720×480	約1.2Mbps	標準解像度に変換して録画するモードです。すべてのモードの中で、録画に必要なストレージ容量がもっとも少なくなります。ストレージの容量が少なくなってきたときなどに便利です。

※1: 長時間モードとは、放送データを圧縮(MPEG-4 AVC/H.264エンコード)し、長時間記録するモードです。

※2: 最大解像度よりも低い解像度で放送された番組は、放送時の解像度で録画されます。

■ ダイレクトモードを基準とした録画時間の比較

	ダイレクト	ファイン	ファイン ロング	セミファイン ロング	ロング	スーパー ロング
地上デジタルHD放送	基準	約2倍	約4倍	約11倍	約8倍	約14倍
BS・110度CSデジタルHD放送	基準	約3倍	約6倍	約16倍	約12倍	約20倍

■ 録画される情報

	ダイレクト	ファイン	ファイン ロング	セミファイン ロング	ロング	スーパー ロング
複数音声が含まれる(マルチ音声)番組	音声が入るまで保存されます。		1つの音声が入るまで保存されます。			
字幕放送	字幕情報が保存されます。					
データ放送	データ放送の情報が保存されます。	データ放送の情報は保存されません。				

録画に必要なストレージ容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なストレージの容量が異なります。録画に必要なストレージ容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なストレージ容量
ダイレクト	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	約10.1Gバイト
	BS・110度CSデジタル標準テレビ(SD)	約4.7Gバイト
ファイン	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
ファインロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
セミファインロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約650Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
ロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約900Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
スーパーロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約520Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は30Gバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

録画を停止する空き容量の変更について詳しくは、PART7の「ストレージの空き容量の制限値を変更する」(p.188)をご覧ください。

同時録画をおこなうときのご注意

このパソコンは同じ時間帯に放送されている番組を複数録画することができます。(最大で2番組を同時に録画できます)
ただし、同時に使用する機能によっては、録画できる番組の数が少なくなったり、機能の一部が制限されたりします。
ここでは、同時録画をおこなうときの注意事項について説明します。

同時に使用できない機能が重なったときは、優先する機能を選ぶ画面が表示されます。表示されたメッセージにしたがって操作してください。

次の機能を使っているとき、録画する番組の画質に制限があります。

- ・録画モード変換
- ・録画した番組をデータ変換しながら他の機器に転送

上記の機能を使いながら2つの番組を同時に録画するときは、少なくとも番組の1つを「ダイレクト」で録画してください。

ポイント

タイムシフトモードは番組を録画しながら視聴することで巻き戻しや早送りの機能を実現しています。このため、タイムシフトモードには、録画しているときと同様の制限があります。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- 録画を停止する空きサイズ(ご購入時では30Gバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりストレージの残り容量が少なくなったとき
- ストレージへの書き込み時にエラーが起きたとき
- 放送休止状態になったとき
- 番組の受信ができなくなったとき
- 番組が、録画不可属性になったとき
- 受信状態が不安定なとき

ポイント

録画を停止する空き容量の変更について詳しくは、PART7の「ストレージの空き容量の制限値を変更する」(p.188)をご覧ください。

PART 2

録画・予約
する

タイムシフトモードの番組を録画 する(さかのぼり録画)

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

タイムシフトモード(p.2)で見ている番組は、巻き戻してから録画をすることができます。これを「さかのぼり録画」と呼びます。

■ さかのぼり録画

タイムシフトモードで見ている番組なら、「あ、この番組録画しておけばよかった！」というときでも大丈夫。「タイムシフト」機能を使った「さかのぼり録画」で、今見ている番組をさかのぼって録画することができます。

※さかのぼれる時間は、1分～90分の間で設定できます(ご購入時の設定では60分です)。

！チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。
- タイムシフトモードでは画質(録画モード)が変更できません。

リアルタイムの
テレビ放送



巻き戻し



録画開始

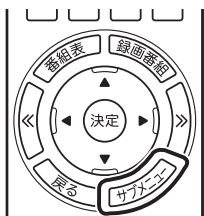
早送り

1まで戻って録画開始できます

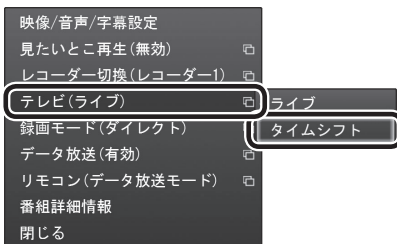
■ タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。

1 「サブメニュー」を押す



2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで「決定」を押す



画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。
「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

ポイント

- リモコンの【一時停止】を押してタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは【再生】を押してください。
- タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押してライブモードにすることもできます。
- タイムシフトモードの画質(録画モード)は「ダイレクト」です。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

ポイント

一部の録画機能の組み合わせによっては、ライブモードで視聴していたテレビが自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その録画が終了するまでライブモードに切り換えられません。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。

■ さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 リモコンの【巻戻し】を押す



リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す



3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す



4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す



5 録画を終了するときには、【停止】を押す



録画が終了し、タイムシフトモードに戻ります。

なお、録画を終了するときには、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないで見逃しはありません。

チェック

さかのぼり録画の画質(録画モード)は「ダイレクト」です。変更はできません。

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでストレージに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のストレージへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画を開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ストレージの空き容量にご注意ください。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。時間指定なし→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし…(以降繰り返し)

PART 2

録画・予約する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一
覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

！チェック

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

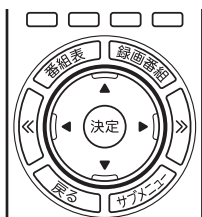
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送(検索する放送)の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

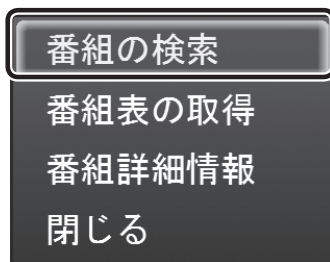
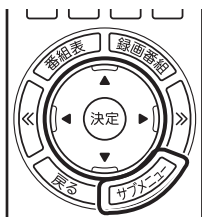
👉ポイント

【番組表】を押して、番組表を表示させることもできます。



番組表が表示されます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の検索」を選んで【決定】を押す

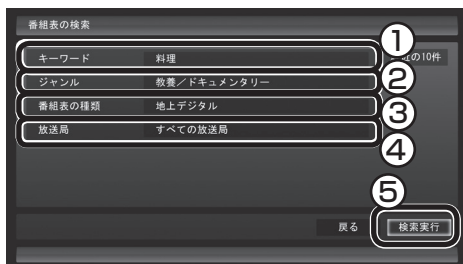


「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

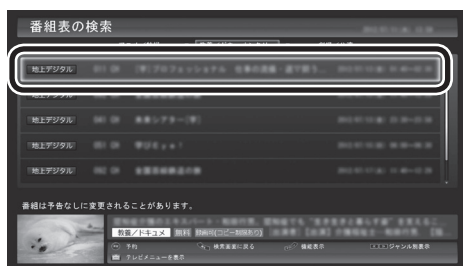
次の①～④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

- ① キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、【Enter】を押します。
- ② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。
- ③ 番組表の種類を選ぶ
「番組表の種類」を選んで【決定】を押し、検索する放送波やマイ番組表を選んで、もう一度【決定】を押します。
- ④ 放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。
- ⑤ 「検索実行」を選んで【決定】を押す



検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

5 予約したい番組を選んで【決定】を押す



「番組の予約」画面が表示されます。

6 予約内容を確認し、【はい】を選んで【決定】を押す

「予約しました」というメッセージが表示されます。

7 【決定】を押す

番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

- キーワードはキーボードを使って入力してください。
- キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

ポイント

リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

ポイント

予約内容の設定について詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「おてがる予約をする」をご覧ください。

PART 2

録画・予約する

番組表を使わないで予約する (時間指定)

時間指定予約では、番組表を使わずにチャンネルと時間を指定して録画することができます。番組表を使った予約ができないときは、時間指定予約を使って予約してください。

放送波(放送の種類)、放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時間指定予約」を選んで【決定】を押す



予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す



「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

！チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種類を表す(HD)や(SD)が表示されません。録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 2

録画・予約 する

おまかせ録画をする

ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておく、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

- 毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき

おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

- お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき

おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

！チェック

おまかせ録画は、登録したキーワードが「番組名」や「詳細情報」に含まれている番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

📖ポイント

番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

📖参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプの「使ってみよう」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録(p.25)することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで[決定]を押す



おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

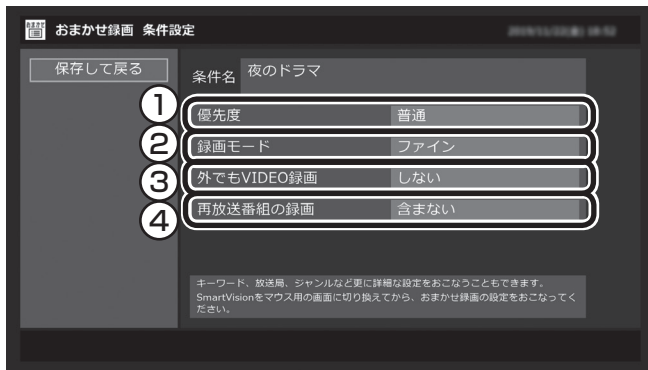
3 予約したい条件名を選んで[決定]を押す



条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

- ① 優先度
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。
- ② 録画モード
番組を録画するときの録画モードを選びます。
- ③ 外でもVIDEO録画
録画と同時に外でもVIDEO(p.82)の設定をするかどうかを選びます。
- ④ 再放送番組の録画
再放送の番組を録画するかどうかを選びます。



5 「保存して戻る」を選んで「決定」を押す

6 「緑」を押して「有効」にする

7 「保存して戻る」を選んで「決定」を押す

これで、おまかせ録画が有効になります。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。

キーワードなどの入力は、マウス操作専用モードでおこないます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わります。

ポイント

マウス操作専用モードで、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。



ポイント

フルスクリーンモードに戻す(切り換える)には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

3 「予約&結果一覧」をクリック

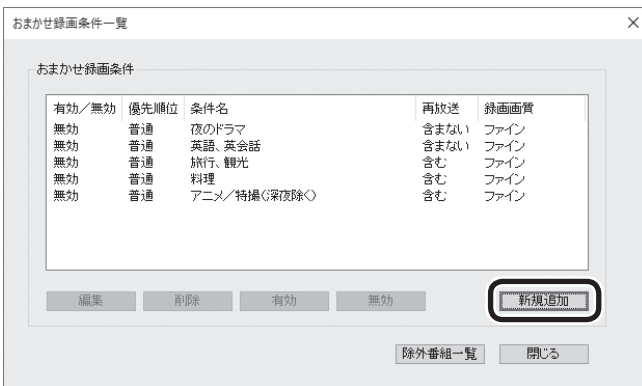


4 「予約一覧」タブの「おまかせ」(おまかせ)をクリック



「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

5 「新規追加」をクリック



「条件入力」画面が表示されます。

6 おまかせ録画の条件を登録する

- ① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。
- ② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。
- ③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する
- ④ 「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度、録画画質を指定します。また、録画後に外でもVIDEO(ワイヤレス転送)をおこなうかどうかを選びます。
- ⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
▶▶をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。
- ⑥ 録画候補の一覧を確認する
「候補一覧表示」をクリックすると「候補一覧」が表示されます。録画候補を確認してください。

条件入力

条件を設定してください。

① 条件名を編集する(N)

検索条件設定(基本)

② キーワード(K) [絞り込む(F) 絞り込むキーワードを追加することができます]

③ ジャンル(G) [放送局(B)]

⑤ ▶▶

④ 録画設定
優先度(P) 高 普通 低
録画画質(A) 外でもVIDEO(ワイヤレス転送)
[ファイン]

⑥ 候補一覧表示(C) [登録(E)] [キャンセル]

7 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

8 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

ポイント

- のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が☑の場合は、すべての放送局が対象)。
- 「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

旅

絞り込む 絞り込むキーワードを追加することができます

海
グルメ

さらに絞り込む

沖繩
バリ島

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1. 「旅・海・沖繩」がキーワードの番組
 2. 「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
 3. 「旅・グルメ・沖繩」がキーワードの番組
 4. 「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組
- ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組を右クリックし、表示されたメニューで「送る」-「キーワード」をクリックすると、キーワードのエリアに選んだ番組名を簡単に入力することができます。
 - すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
 - 「候補一覧」に表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして「番組除外」をクリックします。以降、その番組は「除外番組一覧」に登録され、おまかせ録画では録画されなくなります。
 - おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは次のタイミングです。
 - ・おまかせ録画(優先度高): 放送の7日前
 - ・おまかせ録画(優先度普通・低): 放送の2日前

9 「閉じる」をクリック

！チェック

- 深夜0:00～6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

📖参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンスモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

PART 2

録画・予約
する

新番組おまかせ録画をする

新しく始まった番組を自動的に探して録画してくれる「新番組おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画は、番組表の情報から新しく始まった番組を探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、第2話目以降も自動的に録画されます。

新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

●同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、確実に録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。

番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

！チェック

新番組おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダーに保存されます。

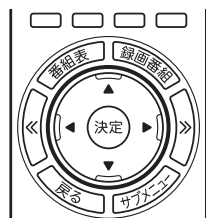
新番組おまかせ録画を有効にする

ご購入時は新番組おまかせ録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「新番組おまかせ録画」を選んで【決定】を押す



新番組おまかせ録画の設定画面が表示されます。

ポイント

- 予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約の変更や予約結果の確認をする」をご覧ください。
- 予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。ほかの項目は変更できません。

3 新番組おまかせ録画の条件を設定する

- ① ここ(ご購入時は「すべて」)を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで録画したいサブジャンル(「ドラマ」であれば「国内ドラマ」や「時代劇」など)を選んで【決定】を押す
- ② 放送波を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで録画の対象とする放送波(地デジ/BS/110度CS)を選んで【決定】を押す
- ③ 録画モードを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで画質(録画モード)を選んで【決定】を押す
- ④ 新番組を探す時間帯を選んで【決定】を押し、チェックマークを付ける
- ⑤ 録画したいジャンルの「無効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「有効」を選んで【決定】を押す



4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、新番組おまかせ録画の機能が有効になりました。

新番組おまかせ録画を無効にする

新番組おまかせ録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組おまかせ録画を有効にする」(p.29)の手順1～手順2をおこなう

2 無効にしたいジャンルの「有効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「無効」を選んで【決定】を押す

3 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、選んだジャンルの新番組おまかせ録画の機能が無効になりました。

ポイント

- ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～24時)」にチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すときは、チェックマークの付いた時間帯を選んで【決定】を押してください。
- 新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。
 - ・「朝 6時～12時」
6:00から11:59の間に始まる番組
 - ・「昼 12時～18時」
12:00から17:59の間に始まる番組
 - ・「夜 18時～24時」
18:00から23:59の間に始まる番組
 - ・「深夜 0時～6時」
0:00から5:59の間に始まる番組

ポイント

新番組おまかせ録画を無効にしても、すでに録画予約が入っている番組(新番組)はそのまま録画されます。録画を中止したいときは、予約一覧で予約を削除してください。詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約の変更や予約結果の確認をする」をご覧ください。また、すでに録画された番組については、録画済み番組一覧で番組を削除するとき、次回以降を録画しないよう設定することで、すでに入っている予約が自動的に削除されます(p.33)。

新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する

新番組おまかせ録画機能で録画された番組は、第2話目以降も継続して録画されます。ただし、同じ曜日の同じ時刻に別のテレビ局で新たな連続ドラマがスタートすると、そちらの録画が優先されます。

このため、「おてがる予約」など優先度の高い別の予約録画でチューナーがひとつ使用されていると、同様に以前から録画していた番組が録画できなくなってしまう。

気に入った新番組は「シリーズ録画」に変更してください。

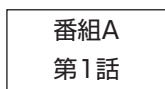
シリーズ録画は新番組おまかせ録画より優先度が高いため、新たに放送が重複する新番組が見つかった場合でも、お気に入りの番組が優先して録画されます。

ポイント

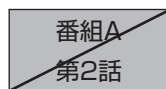
番組表のデータから次の放送回が見つからないときでも、シリーズ録画に変更することができます。ただし、この場合は予約が未確定の状態になります。「番組表に次の放送回が見つかりません。」と表示されたときは、メッセージに従って操作してください。

新番組Aの翌週に新番組Bがスタート・・・

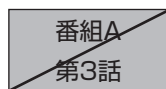
新番組検出:自動録画



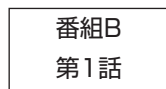
録画せず



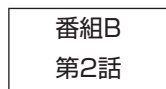
録画せず



番組Bが優先
新番組が重複したときは、もっとも新しい番組が優先されます。



新番組検出:自動録画

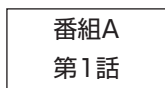


継続して録画

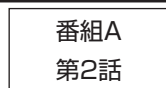
番組Aをシリーズ録画に変更しておけば・・・

シリーズ録画に変更!

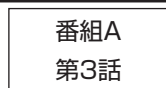
新番組検出:自動録画



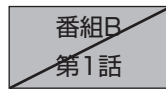
継続して録画



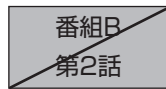
継続して録画



番組Aが優先
新番組が検出されても、シリーズ録画が優先して録画されます。



録画せず



録画せず

■ 予約一覧でシリーズ録画に変更する

- 1 リモコンの【テレビメニュー】を押す**
テレビメニューが表示されます。
- 2 「予約」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す**
予約一覧が表示されます。
- 3 シリーズ録画に変更したい番組を選んで【決定】を押す**



同じシリーズの番組をまとめて変更するかどうか確認するメッセージが表示されます。

- 4 「はい」を選んで【決定】を押す**
シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。
- 5 「はい」を選んで【決定】を押す**
「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。
- 6 「予約を変更」を選んで【決定】を押す**
これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 番組を再生した後でシリーズ録画に変更する

- 1 シリーズ録画に変更したい番組を再生し、停止する**
シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。
- 2 「変更する」を選んで【決定】を押す**
「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、次回の予約の内容が表示されます。
- 3 「予約を変更」を選んで【決定】を押す**
これでシリーズ録画への変更は完了です。

📌ポイント

番組の最後まで再生して自動的に停止したときも、同様のメッセージが表示されます。

📌ポイント

今後、同じ番組でこのメッセージを表示させたくないときは、手順2の操作の前に「今後、この番組ではメッセージを表示しない」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れてください。

📌ポイント

手順2で「変更しない」を選ぶと、次回以降の予約録画(新番組おまかせ録画)はおこないません。

■ 録画した番組を再生せずに削除したときは

「新番組おまかせ録画」で録画した番組を再生せずに削除したときは、そのシリーズの番組は今後も録画しないように設定できます。

1 「新番組おまかせ録画」で録画した番組を再生せずに削除する

次回以降の録画をするかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」を選んで【決定】を押す

次回以降の録画予約(新番組おまかせ録画の予約)が停止されます。すでに予約が入っているときは、自動的に削除されます。

ポイント

番組の削除については『テレビを楽しむ本 基本編』の「録画した番組を削除する」をご覧ください。

ポイント

手順2で「いいえ」を選ぶと、次回以降も「新番組おまかせ録画」として録画予約されます。

PART 2

録画・予約 する

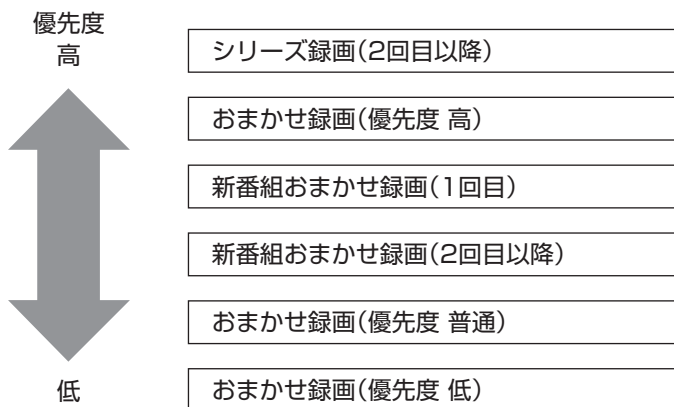
予約の優先度について

このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

自動的に登録される予約の優先度

「おまかせ録画」や「新番組おまかせ録画」および「シリーズ録画」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。



- 「おてがる予約」と、自動的に登録される予約が重複した場合は、「おてがる予約」が優先されます。
- 「シリーズ録画」、「新番組おまかせ録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。
- 「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

ポイント

「シリーズ録画」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は視聴履歴から選ばれます。録画したい番組があらかじめ決まっているときは、「おてがる予約」の「繰り返し予約」を「しない(1回のみ)」で予約してください。

PART 2

録画・予約 する

予約についてのご注意

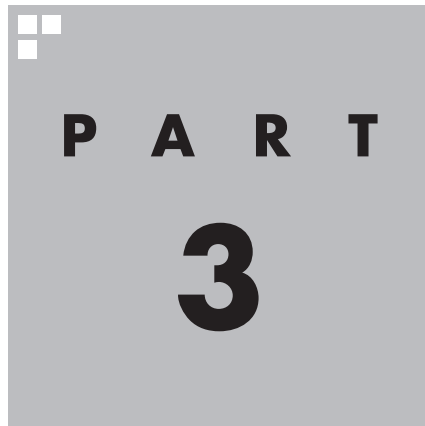
録画予約や視聴予約をするときに、注意していただきたいことについて説明します。

予約するときのご注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

- 予約できる件数は200件です(番組表受信予約、新番組おまかせ録画、シリーズ録画、おまかせ録画を含む)。
- パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。
- パソコンのスリープまでの時間は、5分以上に設定してください。
- 録画は、開始時刻より若干(2～6秒)遅れて開始される場合があります。
- 予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。
- 予約(録画、番組表受信)実行の直前に、パソコンの電源を入れたりスリープ状態から復帰すると、起動後にすぐ画面が暗くなる場合があります。その場合は、マウスなどを操作してください。画面が表示されます。
- 1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。
- 予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。
- 放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。
- 「繰り返し予約」を「する(時間指定)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。
- 「時間指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。
- 録画予約するとき、自動的に録画に必要な空き容量の確認がおこなわれます。予約を入れた後、大量のデータを保存するなどして、ストレージの空き容量が不足すると、予約していた録画ができなくなることがあります。インターネットから音声や動画などの容量の大きなファイルをダウンロードしたときなどは、特にご注意ください。

- 「予約実行時の電源設定」で、予約(予約録画、予約視聴、番組表の受信など)が終了したときの動作を「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合でも、他のアプリが動作中など、パソコンの状態によっては電源が切れない(シャットダウンできない)ことがあります。



再生する

ここでは、録画した番組を再生するときの便利な機能について説明しています。

基本的な機能については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3

再生する

録画した番組を再生する

手でチャプターマークを追加する(マイチャプター)

■ チャプターマークを追加するときは

オートチャプター機能で自動的に作られるチャプターのほかに、手でチャプターマークを追加することができます。お気に入りの場面にチャプターマークを追加しておけば、チャプタースキップ機能ですばやくそこから再生することができます。

1 録画した番組を再生する

2 チャプターマークを追加したい場面で【一時停止】を押す

3 【青】を押す

その場面にチャプターマークが追加されます。画面右下の番組の長さを表すバーにチャプターマークを示す線が追加され、そこに旗のアイコンが表示されます。

■ チャプターマークを削除するときは

1 録画した番組を再生し、【一時停止】を押す

2 【前】または【次】を押してチャプタースキップし、チャプターマークを削除したい場面を表示させる

チャプターマークが表示されていることをご確認ください。

3 【赤】を押す

その場面のチャプターマークが削除されます。

📌ポイント

- チャプターマークを追加する場面の近く(前後約0.6秒の範囲内)に、すでにチャプターマークがあったときは、既存のチャプターマークを削除して新しいチャプターマークに統合してよいかどうか確認する画面が表示されます。問題なければ【はい】を選んで【決定】を押してください。
- CMチャプターの始点および終点にあるチャプターマークには、CMチャプターの区切りとしての情報が含まれています。これらの近くに新しいチャプターマークを追加したときは、そこにCMチャプターの区切りの情報が引き継がれます。
- 操作パネルの📌をクリックして、チャプターマークを追加することもできます。

📌ポイント

【前】と【次】の代わりに、【<<】と【>>】を押してチャプタースキップすることもできます。

📌ポイント

操作パネルの📌をクリックして、チャプターマークを削除することもできます。

番組を並べ替える

録画一覧に表示された番組を並べ替えることができます。

- 1 録画番組一覧が表示されているときに[サブメニュー]を押す**
サブメニューが表示されます。
- 2 「番組の並べ替え」を選び、並び順を選んで[決定]を押す**
録画番組が、選択した順序に並んで表示されます。

PART 3

再生する

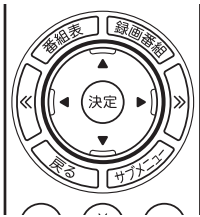
録画中の番組を再生する (追っかけ再生)

録画中の番組を再生する(追っかけ再生)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「Normal 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す



「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んで【決定】を押す



① ここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

② リモコンの【<<】【>>】でジャンルを絞り込んで表示できます。

③ 赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。【停止】を押すと再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 「録画フォルダー 1」以外に保存されている番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダーを選んでください。

チェック

タイムシフトモードでの操作(p.3)とは異なり、【停止】を押しても録画は続行します。

PART 3

再生する

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、そのほかの録画番組とは保存されるフォルダーなどが異なります。

また、録画番組が一定の容量以上になると、ストレージの空き容量にかかわらず、古い番組から順番に削除されます。

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは別の、「おまかせ録画フォルダー 2」に保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「**おまかせ** 録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す



おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。録画番組の再生については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「録画した番組を再生する」をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときのご注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。


- ・おまかせ録画(優先度高): 放送の7日前
- ・おまかせ録画(優先度普通・低): 放送の2日前

これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

ポイント

おまかせ録画した番組が見つからないときは、PART6の「録画フォルダーに録画した番組が見あたらない」(p.152)をご覧ください。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画した番組には、ほかの録画番組と区別するために「おまかせ属性」が付き、のマークが表示されます。必要に応じておまかせ属性を解除して、このマークを消すことができます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「 録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。


3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

4 「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

の表示が消えます。

■ おまかせ録画フォルダーにある番組の自動削除について

「おまかせ録画フォルダー」にある番組は、容量が指定されたサイズ以上になると古い順に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別の録画フォルダーに移動してください。番組の移動については、PART5の「録画した番組を整理する」(p.62)をご覧ください。

ポイント

手順5で「すべての番組」を選んで、「おまかせ録画フォルダー」内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。

参照

「おまかせ録画フォルダー」の容量について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」

PART 3

再生する

登録されたキーワードで録画番組を探す(おてがる録画検索)

おてがる録画検索用のキーワードを追加する

マウス操作専用モードで、おてがる録画検索用のキーワードを追加することができます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

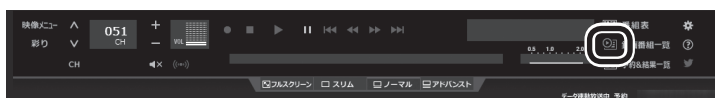
画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

ポイント

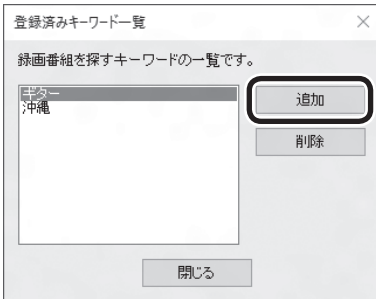
操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 「おてがる録画検索」をクリックして、表示されたメニューで「追加と削除」をクリック



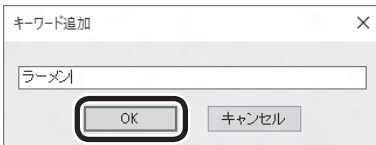
「登録済みキーワード一覧」が表示されます。

5 「追加」をクリック



「キーワード追加」が表示されます。

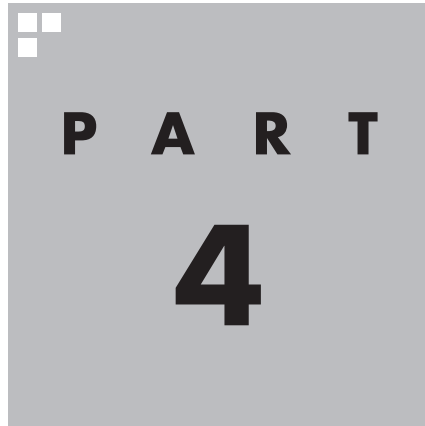
6 キーボードでキーワードを入力し、「OK」をクリック



「キーワード一覧」にキーワードが追加されます。必要に応じて手順5～手順6を繰り返し、キーワードを追加してください。

7 「閉じる」をクリック

録画番組一覧に戻ります。これでキーワードの追加は完了です。



録画番組を光ディスク (DVDなど)に保存する

ここでは、録画した番組を光ディスクに保存するときのご注意や、便利な機能について説明しています。

基本的な機能については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4

録画番組を
光ディスク
(DVDなど)に
保存する

番組を保存できる光ディスク (DVDなど)について

録画した番組は、画質(保存形式)によって、保存できる光ディスクが異なります。

保存できる光ディスク

保存できる光ディスク	保存形式
BD-RE(1層/2層)/BD-RE XL(3層) ^{*1*} ^{*2} BD-R(1層/2層)/BD-R XL(3層) ^{*1*} ^{*2}	BD-RE BD-R
CPRM対応のDVD-RAM (片面/両面)	AVCREC ^{*1*} ^{*3} DVD-VR ^{*4}
CPRM対応のDVD-R (1層/2層)	AVCREC ^{*1*} ^{*3} DVD-VR ^{*4}

※1: ブルーレイディスクドライブモデルのみ保存できます。

※2: BD-R XL(3層)、およびBD-RE XL(3層)に保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみです。

※3: 録画画質がダイレクトの場合は、自動的に録画モード変換されます。

※4: 自動的に録画モード変換されます。

光ディスクに書き込む形式について

書き込み形式	特徴
BD-RE BD-R	デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式。
AVCREC DVD-VR	デジタル放送をハイビジョン画質のままDVDのディスクに保存できる形式。 DVD-VRよりも高画質で保存できます。
DVD-R	アナログ放送用のDVDプレーヤーなどで使われている形式。このパソコンでは、デジタル放送の番組をアナログ放送相当の画質に変換して保存します。 AVCRECよりも画質が落ちます。

！チェック

このパソコンで記録した光ディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤーなどで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤーの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤーのメーカーにお問い合わせください。

📖参照

利用できる光ディスクについて
→「[LAVIEアプリナビ]-「このパソコンのマニュアル」-「機能を知る」-「光学ドライブ」-「利用できるディスク」

録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす

■ ブルーレイディスクに保存する場合(BD-R、BD-RE)

書き込み形式	録画モード(画質)	ビットレート	保存時間(めやす)		
			1層	2層	3層 ^{※1}
BD-RE	ダイレクト: 地上デジタルハイビジョン 放送(HD)	約17Mbps	約3時間	約6時間	約12時間
	ダイレクト: 地上デジタル標準放送 (SD)	約8Mbps	約6時間30分	約13時間	約26時間
	ダイレクト: BS・110度CSデジタルハ イビジョン放送(HD)	約24Mbps	約2時間10分	約4時間20分	約8時間30分
	ダイレクト: BS・110度CSデジタル標 準放送(SD)	約11Mbps	約4時間40分	約9時間30分	約19時間
	ファイン(HD)	約8Mbps	約6時間30分	約13時間	約26時間
	ファインロング(HD)	約4Mbps	約13時間	約27時間	約54時間
	セミファインロング(HD)	約1.5Mbps	約34時間	約70時間	約141時間
	ロング(SD)	約2Mbps	約27時間	約55時間	約111時間
	スーパーロング(SD)	約1.2Mbps	約41時間	約79時間	約168時間
	1ディスクダビング	※2	選択した番組がすべて保存できるように画質を自 動調整して保存します。※3		

(HD)とはハイビジョンの解像度のことです。(SD)とは標準の解像度のことです。

※1:「3層」とは、BD-R XL(3層)およびBD-RE XL(3層)のことです。これらに保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみです。

※2: ブルーレイディスクの空き容量に合わせて、解像度をHDからSDに変換して保存します。

※3: 選択した番組の総録画時間が長すぎる場合は、画質を変換してもすべての番組を光ディスクに保存できないことがあります。

■ CPRM対応のDVDに保存する場合(DVD-R、DVD-RAM)

書き込み形式	録画モード(画質)	ビットレート	保存時間(めやす)	
			1層	2層 ^{※1}
AVCREC ^{※2}	ファイン(HD)	約8Mbps	約1時間10分	約2時間10分
	ファインロング(HD)	約4Mbps	約2時間30分	約4時間40分
	セミファインロング(HD)	約1.5Mbps	約6時間30分	約12時間
	ロング(SD)	約2Mbps	約5時間	約9時間30分
	スーパーロング(SD)	約1.2Mbps	約7時間30分	約14時間30分
	1ディスクダビング	※3	選択した番組がすべて保存できるように画質を自動調整して保存します。 ^{※4}	
DVD-VR ^{※5} (VRモード)	高画質(SD)	約7.5Mbps	DVD-R: 約1時間20分 DVD-RAM: 約1時間10分	約2時間20分
	標準画質(SD)	約4Mbps	DVD-R: 約2時間30分 DVD-RAM: 約2時間20分	約4時間40分
	長時間(SD) ^{※6}	約2Mbps	約5時間	約9時間
	1ディスクダビング	※7	選択した番組がすべて保存できるように画質を自動調整して保存します。 ^{※4}	

(HD)とはハイビジョンの解像度のことです。(SD)とは標準の解像度のことです。

- ※1: 2層のディスクはDVD-Rのみです。DVD-RAMは1層のみです。
- ※2: AVCRECで保存できるのはブルーレイディスクドライブモデルのみです。
- ※3: DVDの空き容量に合わせて、解像度をHDからSDに変換して保存します。
- ※4: 選択した番組の総録画時間が長すぎるときは、画質を変換してもすべての番組を光ディスクに保存できないことがあります。
- ※5: DVD-VR形式で保存した場合は字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。
- ※6: 番組によっては、映像の一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。
- ※7: ディスク1枚(片面/1層)あたり3時間以上保存すると、番組によっては、映像の一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。

■ 保存される情報について

●ブルーレイディスクに保存する場合(BD-R、BD-RE)

	音声(マルチ音声)	字幕	データ放送の データ情報	映像 (マルチビュー)
ダイレクト	あらかじめストレージに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。再生時には音声を切り換えることができます。	字幕は保存されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。	データ放送の情報は保存しません。	複数の映像は保存しません。
ファイン				
ファイン ロング				
セミファイン ロング				
ロング				
スーパー ロング				
1ディスク ダビング				

●CPRM対応のDVDに保存する場合(DVD-R、DVD-RAM)

	音声(マルチ音声)	字幕	データ放送の データ情報	映像 (マルチビュー)
ファイン	あらかじめストレージに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。再生時には音声を切り換えることができます。	字幕は保存されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。	データ放送の情報は保存しません。	複数の映像は保存しません。
ファイン ロング				
セミファイン ロング				
ロング				
スーパー ロング				
1ディスク ダビング (AVCREC)				
高画質				
標準画質				
長時間				
1ディスク ダビング (DVD-VR)				

光ディスクのフォーマットとファイナライズについて

SmartVisionの光ディスクのフォーマットとファイナライズ動作については、次のとおりとなります。

●DVD-R

録画番組を書き込む前に自動的にフォーマットをおこないます。フォーマットされていないDVD-Rをご用意ください。また、録画番組書き込み後に自動的にファイナライズします。SmartVisionの番組を保存したDVD-Rには、追記をすることはできません。

●DVD-RAM、BD-R、BD-RE

自動的にフォーマットしません。フォーマットされていない場合、録画番組を保存する前にあらかじめフォーマットする必要があります。なお、ファイナライズは不要であり、SmartVisionで番組を保存した光ディスクに追記することができます。

PART 4

録画番組を
光ディスク
(DVDなど)に
保存する

番組を光ディスクに保存するための準備とご注意

光ディスクに保存するときの録画モード変換や光ディスクのフォーマット、および光ディスクに保存するときの注意事項について説明します。

光ディスクに保存するときの録画モードの変換について

録画モード「ダイレクト」で録画した番組は、そのままの画質で CPRM対応のDVD-RAMやDVD-Rに保存することができません。光ディスクに保存するとき、自動的に画質が変換されます。

「ダイレクト」以外の録画モードで録画した番組は、光ディスクに書き込む形式としてAVCRECを選択することで、画質を変換せずにDVD-RAMやDVD-Rに保存できます。

録画モード(画質)はあらかじめ手動で変換しておくことができます。操作についてはPART5の「録画モード変換をする」(p.59)をご覧ください。

録画モードについて詳しくは、PART2の「録画モードについて」(p.14)を、光ディスクへの保存時間などについてはこのPARTの「録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす」(p.47)をご覧ください。

光ディスクをフォーマットする

DVD-Rをお使いの場合は、このページの操作は必要ありません。

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、フォーマットする必要があります。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

ここでは、Windowsの機能を使って光ディスクをフォーマットする手順について説明します。

番組を光ディスクに保存する操作の途中で、光ディスクをフォーマットすることもできます。


なお、DVDスーパーマルチドライブモデルは、Windowsの機能でのフォーマットのみとなります。

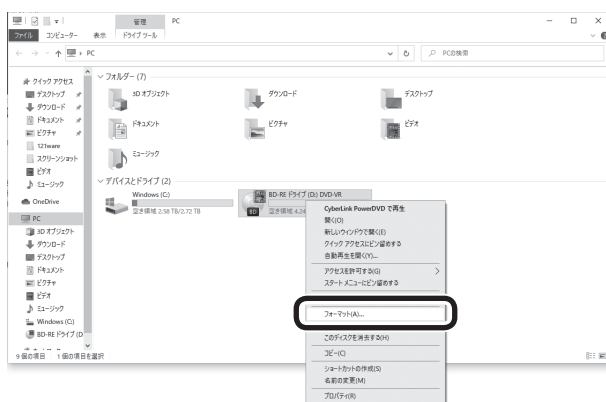
！チェック

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ Windowsの機能で光ディスクをフォーマットする

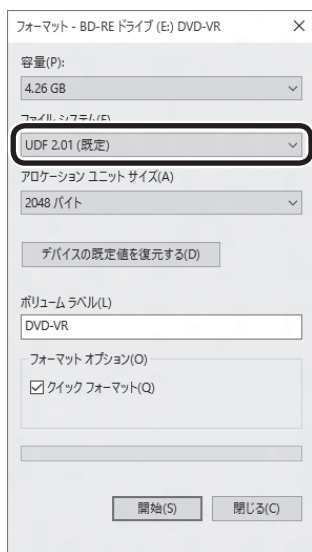
この操作はマウスでおこないます。

- 1 光学ドライブに光ディスクをセットする
- 2 「 (スタート)」をクリック
- 3 「Windows システムツール」をクリックし、「PC」をクリック
- 4 光学ドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック



「フォーマット」画面が表示されます。

- 5 「ファイル システム」の右の▼をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック



フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式*	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.50
BD-R	BDAV	UDF2.60
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.00または UDF2.01
	AVCREC	UDF2.50

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.46)をご覧ください。

6 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

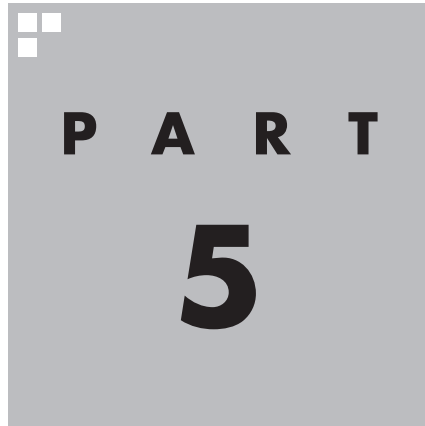
光ディスクに保存するときのご注意

- 光ディスクに保存した番組は、同じ画質が設定されても次の1と2で異なって見えることがあります。
 1. ダイレクト以外の画質(ファイン/ファインロング/セミファインロング/ロング/スーパーロング)でストレージに録画し、そのまま光ディスクに保存した番組。
および、ダイレクトで録画した後、ストレージ上で「録画モード変換」をおこなって光ディスクに保存した番組。
 2. 光ディスクに保存するとき、「デジタル放送画質の変換」で画質を変換した番組。
- 録画時の電波の状況が悪いと、番組のデータに不備(データの異常や取りこぼしなど)がある状態で録画されてしまうことがあります。このような番組を光ディスクに保存するとき、「デジタル放送画質の変換」をおこなうと、画質の変換に失敗することがあります。
- 書き込み中にサブメニューから「光ディスク作成の中止」をおこなったDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込みに失敗したDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込み中はスリープ状態にできません。
- 光ディスクに保存した番組を再生するとき、番組名の一部が正しく表示されないことがあります。
- このパソコンは著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。光ディスクに番組を保存するとき、AACSのモジュール(AACSキー)の更新を促すメッセージが表示されることがあります。「モジュールの更新が必要です」と表示されたときは、パソコンがインターネットに接続されていることを確認し、「はい」をクリックしてください。

- 録画番組に含まれるチャプターの情報も光ディスクに保存され
ます。保存できるチャプターの最大数は次のとおりです。
 - ・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合
1番組あたり:98チャプター
光ディスク1枚あたり:800チャプター
 - ・DVD(DVD-VR形式)の場合
1番組あたり:999チャプター
光ディスク1枚あたり:999チャプター
 これを超えるチャプターの情報は、光ディスクには保存されま
せん。
- 保存されたチャプターの合計が1000を超えているブルーレイ
ディスクやAVCREC形式のDVD-RAMには、ディスクの容量に
空きがあっても、録画番組を追加して保存することができません。
- セミファインロング、ロング、スーパーロングの番組を光ディス
クに保存すると、チャプターの位置が最大で約2秒前にずれるこ
とがあります。
SmartVisionで作成したチャプターと同じ位置で光ディスクに保
存したいときは、ファインロングかファインで録画することをお
すすめします。
- 光ディスク1枚に保存できる番組の最大数は次のとおりです。
 - ・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合:
200番組
 - ・DVD(DVD-VR形式)の場合:99番組
 ディスクの容量に空きがあっても、これを超える数の番組は保
存できません。
- 光ディスクに番組を保存するとき、番組の始まりまたは終わり
の部分の映像や音声は、わずかに短くなる場合があります。
- 録画モード変換した番組や簡易編集した番組の、コピーできる
回数(光ディスクに保存できる回数)は、もとの番組とまとめて
管理されています。ご注意ください。コピーできる回数(コピー
制御)については、PART7の「ダビング10とは」(p.174)をご
覧ください。
- DVD-RAMにAVCREC形式で録画番組を保存した場合、再生時
に番組冒頭の数秒間は映像・音声が出力されないことがありま
す。

ポイント

このパソコン以外の機器で作成された光ディスクには、1000を超
えるチャプターが保存されている
ことがあります。



テレビをもっと活用する

ここでは、テレビをより便利に使うための機能について説明しています。

テレビの設定や基本的な使い方については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

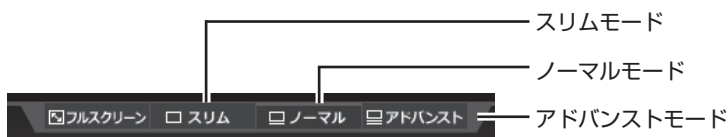
PART 5

テレビを
もっと
活用する

マウス操作専用モード

マウス操作専用モードのモードを切り換える

マウス操作専用モードには、スリムモード/ノーマルモード/アドバンスモードがあります。「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合ったモードに切り換えることができます。



モード	説明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。インターネットを利用しながらテレビを視聴するとき便利です。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンスモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

各モードの画面について詳しくは、PART7の「各モードの画面説明」(p.183)をご覧ください。

■ オンラインヘルプを表示する

マウス操作専用モードでの操作については、オンラインヘルプをご覧ください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モードが表示されます。

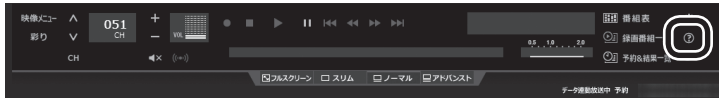
ポイント

- 画面右上の をクリックすると、マウス操作専用モードのまま最大化できます。
- スリムモードのときは、テレビの画面(SmartVision)をほかのウィンドウよりも常に手前に表示させることができます。この機能は、ご購入時には無効になっています。必要に応じて画面を右クリックし、表示されたメニューで「常に最前面に表示」をクリックして有効/無効を切り換えてください。なお、この機能はスリムモードのときのみ切り換えることができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 (オンラインヘルプ)をクリック



オンラインヘルプが起動します。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

録画した番組のデータ量を減らす (録画モード変換)

録画モード変換をして、番組データの容量を減らすことができます。

録画モード変換について



録画した番組はとてデータ量が多いため、ストレージに大きな空き容量が必要です。

録画モード変換することで、録画番組のデータの容量を減らし、ストレージの容量を節約することができます。

■ 録画モード変換をするときの注意

- 録画済み番組を録画モード変換するときは、録画した時間の半分から同じ程度の時間がかかります。
- 録画モード変換により、データ放送などの情報はなくなります。
- 録画モード変換中にパソコンをシャットダウンしたり、休止状態にしないでください。そのとき録画モード変換していた番組が視聴できなかったり(変換したデータが正常に作成されない)、次回のSmartVision起動時に正常に起動しないことがあります。
- 録画モード変換した番組や簡易編集した番組の、コピーできる回数(光ディスクに保存したりほかの機器にダビングできる回数)は、もとの番組とまとめて管理されています。ご注意ください。コピーできる回数(コピー制御)については、PART7の「ダビング10とは」(p.174)をご覧ください。
- 同じ時間帯の番組を複数録画するときは、録画モード変換を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはPART2の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。

ポイント

録画モード変換の作業中にSmartVisionを終了しても、通知領域のSmartVisionアイコンがとに交互に変わり、変換作業が継続していることがわかります。このアイコンにマウスカーソルを合わせると、録画モード変換の進捗状況が確認できます。

録画モード変換をする

■ 録画済み番組を録画モード変換する

録画した番組を、録画モード変換する手順を説明します。

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、録画モード変換を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。詳しくはPART2の「同時録画をおこなうときの注意」(p.16)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

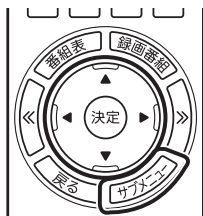
テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「Normal 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

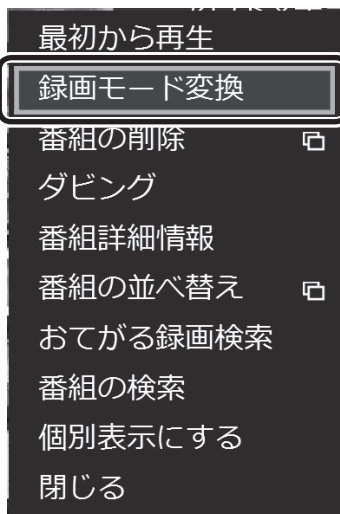


録画番組一覧が表示されます。

3 録画モード変換したい番組を選んで【サブメニュー】を押す



4 「録画モード変換」を選んで【決定】を押す

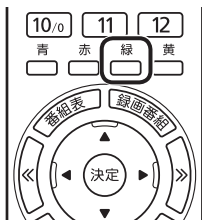


5 ほかに録画モード変換したい番組がある場合は、番組を選んで【決定】を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、録画モード変換したい番組にチェックマークを付けてください。チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す

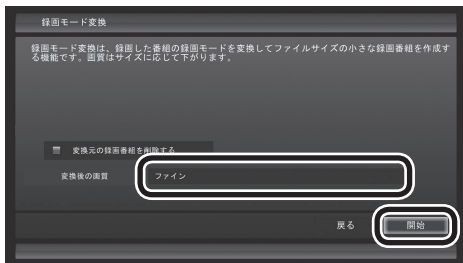


「録画モード変換」画面が表示されます。

ポイント

- 変換中に【サブメニュー】を押して「録画モード変換の中止」を選ぶと、変換を途中で中止できます。
- フルスクリーンモードでテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に変換の進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。
- 録画モード変換するとき、同時にもとの番組を削除することができます。もとの番組を削除したいときは、手順7で「変換元の録画番組を削除する」を選んで【決定】押し、チェックマークを付けてください。録画番組のデータは容量が大きいため、必要に応じてもとの番組を削除することをおすすめします。

7 「変換後の画質」で録画モード(画質)を選び、「開始」を選んで【決定】を押す



録画モード変換が始まります。

8 変換が完了すると「録画モード変換が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、録画モード変換が完了しました。

！チェック

- 「変換後の画質」で、録画された番組の録画モード(画質)と同じ画質や、より高い画質を選んで変換することはできません(録画モードについて詳しくはPART2の「録画モードについて」(p.14)をご覧ください)。
- 複数の録画番組を選んだときは、「変換後の画質」を個別に設定することができません。また、この場合、「変換後の画質」で選んだ録画モード(画質)が、もともとなる録画データと同じだったり、より高い画質となる番組は変換されません。
- 録画モード変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、録画モード変換は中断せず、動作を続けます。SmartVision以外に動作中のアプリがなければ、録画モード変換が終了した後、パソコンはスリープ状態になります。
- 録画モード変換中に映像表示をした場合、見ている番組によっては、映像がコマ落ちしたり微動して見えることがあります。

PART 5

テレビを
もっと
活用する



録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとに録画フォルダーを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。

ご購入時の録画フォルダー

ご購入時には、次の録画フォルダーが用意されています。

- ・  「通常」録画フォルダー 1
ご購入時の設定では、手動録画した番組やおてがる予約で録画した番組などが保存されます。
 - ・  「おまかせ」録画フォルダー 2
おまかせ録画で録画された番組が保存されます。「おまかせ」録画フォルダーに保存された番組の容量が指定されたサイズを超えると、「おまかせ」録画フォルダー内の番組が古い順に削除されます。
また、通常の予約録画をするとき、「おまかせ」録画フォルダーを保存先に指定することもできます。
- マウス操作専用モードの録画番組一覧で表示されたこれらの録画フォルダーを右クリックすると、情報(プロパティ)を確認したり、フォルダー名を変更することができます。
 - 「通常」録画フォルダーを別のフォルダーに変更することができます。詳しくはオンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」をご覧ください。
 - 「おまかせ」録画フォルダーを別のフォルダーに変更したり、最大保存容量を変更することができます。詳しくはオンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。
 - 録画番組の保存先に設定した外付けハードディスク(p.73)が取り外されていたとき、予約録画された番組は、ご購入時に設定されていた保存先(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)に保存(代理録画)されます。このため、ご購入時に設定されていた録画フォルダー(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)は SmartVision から削除しないでください。

ポイント

新番組おまかせ録画で自動的に録画された新番組は、「通常」の録画フォルダーに保存されます。

ポイント

「通常」録画フォルダーや「おまかせ」録画フォルダーとして設定されているフォルダーを、別のフォルダーに変更することもできます。この場合は、次の「録画フォルダーを作成する」をご覧ください、あらかじめ録画フォルダーを追加しておいてください。

録画フォルダーを作成する

Cドライブ(SSDとハードディスクを搭載したモデルではDドライブ)や登録済みの外付けハードディスク(p.73)内に、録画フォルダーを作成します。録画フォルダーは最大200個まで作成できます。

■ 録画フォルダーを新規作成する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 録画番組一覧(録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

4 追加(追加)をクリックして表示されるメニューから、「録画フォルダーを新規作成」を選ぶ

新規録画フォルダー作成画面が表示されます。



ポイント

- SSDとハードディスクを搭載したモデルでは、ハードディスクドライブ(ご購入時ではDドライブ)に録画フォルダーを作成されることをおすすめします。
- 操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

録画フォルダーを右クリックして表示されるメニューで、録画フォルダーの情報(プロパティ)を確認したり、名前を変更することができます。そのフォルダーがパソコンのストレージ上にあるのか、外付けハードディスク上にあるのかを確認することもできます。

5 録画フォルダーを作成する

- ① 録画フォルダーを作成したいストレージを選ぶ
外付けハードディスクを登録するときは、ここで登録したいハードディスクを選んでください。
- ② 必要に応じてフォルダー名を変更する
変更するときは、ここをマウスでクリックして、フォルダー名を入力しなおしてください。
- ③ 「次へ」をクリックする

SmartVision

新規に録画フォルダーを作成します。

ドライブ ①

ドライブ欄の時間は、現状の録画可能時間です。
(地上デジタル放送のハイビジョン番組をダイレクトモードで録画した場合)

録画フォルダ ②

③

作成完了画面が表示されます。

6 「閉じる」をクリック

これで録画フォルダーが作成されました。作成した録画フォルダーは、予約するとき選択できるようになります。

■ 既存のフォルダーを録画フォルダーとして追加する

1 「録画フォルダーを新規作成する」(p.63)の手順1～手順3の操作をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

2 追加をクリックし、表示されたメニューで「既存のフォルダーを参照」をクリック

フォルダー選択画面が表示されます。

3 追加するフォルダーを選択してクリック

4 「OK」をクリック

選択したフォルダーが「フォルダー」欄に追加されます。

録画した番組を移動する

録画した番組を別の録画フォルダーに移動します。
あらかじめ、移動先となる録画フォルダーを作っておいてください
(p.63)。

1 テレビを表示して、マウスを動かす
画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

4 移動したい番組をクリックし、移動先の録画フォルダーにドラッグ&ドロップする



番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「番組の移動」画面が表示されます。「番組の移動が終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとの一覧から消えます。

これで、番組の移動ができました。

なお、移動先の録画フォルダーに外付けハードディスクの録画フォルダーを指定すると、外付けハードディスクへ番組を移動することができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

●複数の番組を移動したいときは、[Ctrl]を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

●複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか?」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか?」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。

●ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどの録画フォルダーに移動されたのか、わからなくなります。

●ダビング中と録画モード変換中は録画番組を移動できません。

ポイント

●ご購入時の状態では録画した番組は、Cドライブ(SSDとハードディスクを搭載したモデルではDドライブ)に保存されます。

●SSDとハードディスクを搭載したモデルは、録画保存先をSSDに変更することができますが、長期間にわたって録画・削除を繰り返すと、SSDの寿命に影響を与える可能性があります。録画保存先はハードディスクのまま使用されることをお勧めします。

●この画面で、番組を選んで画面右上の「削除」(削除)をクリックすると番組を削除できます。

●録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「プロパティ」をクリックすると、その録画フォルダーの情報が表示されます。「ハードディスク上のフォルダーの場所」などを確認することができます。

録画フォルダーを削除する

録画フォルダーを削除しても、データは残ります。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

4 左の「フォルダー」内で削除したい録画フォルダーを選んで、削除(削除)をクリック



「フォルダー削除」の画面が表示されます。

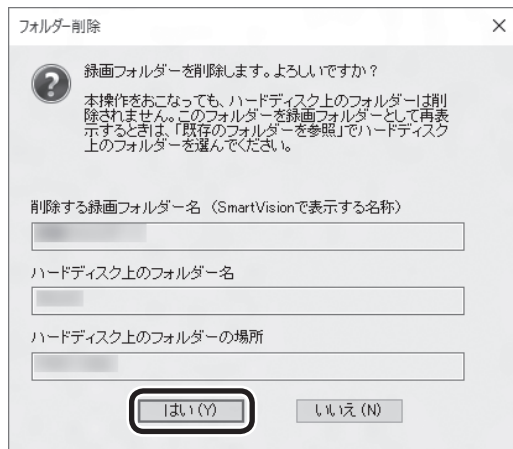
ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- ご購入時に設定されていた録画フォルダー(録画フォルダー1、録画フォルダー2)は削除しないでください。
- 録画フォルダーを削除しても、ストレージ上のフォルダーと録画番組は削除されません。これらのデータをストレージから削除したいときは、録画フォルダーを削除する前に、録画番組の削除をおこなってください。番組の削除については『テレビを楽しむ本 基本編』の「録画した番組を削除する」をご覧ください。

5 「はい」をクリック



これで、録画番組一覧の「フォルダ」から録画フォルダが削除されました。

ポイント

- ここで削除したフォルダを再び録画フォルダとして追加するときは、「フォルダ削除」画面に表示される「ハードディスク上のフォルダ名」と「ハードディスク上のフォルダの場所」の情報を記録しておき、「既存のフォルダを録画フォルダとして追加する」(p.64)の操作をおこなってください。
- 録画フォルダを削除した後で、ハードディスク上のフォルダを削除するときは、「フォルダ削除」画面の「ハードディスク上のフォルダ名」と「ハードディスク上のフォルダの場所」に表示されたフォルダを、エクスプローラーで削除してください。フォルダに録画番組があるときは、フォルダを削除する前に録画番組を削除してください。録画番組の削除については『テレビを楽しむ本 基本編』の「録画した番組を削除する」をご覧ください。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

簡易編集機能を使う

簡易編集機能を使って、録画した番組のお気に入りの場面を残し、いない場面をカットすることができます。

簡易編集機能を使えば、もとの番組のデータはそのままに、お気に入りのシーンだけを残した番組のデータを作ることができます。

録画番組を簡易編集する

ここでは、基本的な簡易編集の流れを説明しています。
必要に応じて次の説明もご覧いただき、SmartVisionの編集機能をより便利に使いこなしてください。

- 「より精密な編集をするときは」(p.71)
- 「登録していない場面も確認しながら編集する」(p.71)

1 テレビを表示して、マウスを動かす

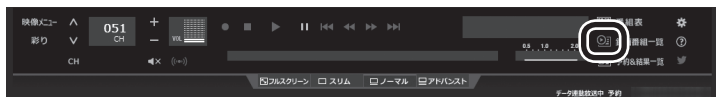
画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「アドバンスト」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(アドバンストモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「アドバンスト」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 編集したい番組をクリックし、**簡易編集** (簡易編集)をクリック



「簡易編集」タブが表示されます。

ポイント

編集したい番組を再生して、「簡易編集」タブをクリックしても同様です。

5 必要な場面を切り取って登録する

コントロールパネルのボタンをクリックしたり、プログレスバーをドラッグして、必要な場面を表示させて範囲を指定します。

- ①必要な場面の先頭を表示させて「ここから」をクリック
- ②必要な場面の終わりを表示させて「ここまで」をクリック
- ③「ここから」と「ここまで」を指定したら「登録」をクリック



登録された場面

①～③を繰り返して、必要な場面を登録します。登録した場面の範囲(開始/終了)を指定しなおすときは、その場面をクリックして選び、「修正」をクリックしてください。「ここから」と「ここまで」をあらためて指定できるようになります。指定しなおした後、あらためて「登録」をクリックしてください。

なお、「ここから」や「ここまで」の上に表示された画像をダブルクリックすると、それぞれで指定した場面が一時停止した状態で表示されます。登録する場面の開始点と終了点を選びなおすときに便利です。

より高度な使い方について

切り取る場面を細かく指定したり、登録していない場面を一覧表示しながら編集することができます。

必要に応じて次の説明もご覧ください。

- 「より精密な編集をするときは」(p.71)
- 「登録していない場面も確認しながら編集する」(p.71)

必要な場面をすべて登録したら、手順6に進んでください。

ポイント

登録した場面を削除するときは、「削除」をクリックします。

チェック

- 同じ場面を複数回登録することはできません。すでに登録された場面と重なる場面を切り取っても、二重には登録されず、ひとつの場面としてまとめて登録されます。
- 登録した場面の順番を変更することはできません。
- 編集で切り取った場面の先頭には新しいチャプターマークが作られます。また、切り取った場面の中に、オートチャプター機能で作られたチャプターや、以前の編集で作られたチャプターが含まれているときは、それらのチャプターも引き継がれます。
- 録画番組を光ディスクに保存するときは、オートチャプター機能や編集で作られたチャプターの情報もあわせて保存されます。
- 編集した番組が数秒間しかないとき、その番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。
- 登録できる場面(「ここから」から「ここまで」の間)の最大数は300です。
- 編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいところ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。
- 時間指定予約による録画をしているときなど、録画中に放送局のチャンネルの数が変わる(増減する)ことがあります。録画した番組を編集するとき、チャンネルの数が変わるタイミングの前後5秒から10秒程度の範囲で登録する場面の微調整をおこなうと、画面に表示されている映像がちらつくことがあります。
- ストレージの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。必要に応じて、不要な番組を削除して、ストレージの空き容量を増やしてください。

6 「保存」をクリック





編集した番組がもとの番組と同じ録画フォルダーに保存されます(もとの番組は編集前の状態で残ります)。「編集が完了しました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。編集した状態で、光ディスクに保存したり、スマートフォンなどの機器(p.82)やメディアサーバー(p.101)に転送することもできます。

なお、デジタル放送を編集した番組は、録画モード変換した番組と同様、もとの番組と同じグループとして扱われており、光ディスクやスマートデバイス、メディアサーバーにコピーできる回数(p.174)がまとめて制御されています。

■ より精密な編集をするときは

再生しながら切り取る範囲を指定したり、プログレスバーを使って編集すると、切り取った場面に不要場面が少しだけ入ってしまうことがあります。

「録画番組を簡易編集する」の手順5(p.70)で、切り取る場面の「ここから」や「ここまで」をより精密に指定したいときは、次のように操作してください。

- ① 「ここから」または「ここまで」を登録したいタイミングで「一時停止」をクリック
- ② 次のいずれかの操作で、登録する位置を微調整する
 - ・ 1フレーム単位で調整:  または  をクリック
 - ・ 15フレーム単位で調整:  または  をクリック
- ③ 「ここから」または「ここまで」をクリック

■ 登録していない場面も確認しながら編集する

登録した場面とあわせて未登録の場面も一覧表示し、それぞれを確認しながら編集できます。

「録画番組を簡易編集する」の手順5(p.70)で、「全シーン表示」をクリックしてください。

「全シーン表示モード」に切り換わり、画面下段に登録した場面(有効な場面)および未登録の場面(無効な場面)が一覧で表示されます。



すべての場面*が表示されます。無効の場面は淡く表示されます。




- ・ 場面を登録する
場면을クリックして選び、「有効」をクリックしてください。
- ・ 場面无効にする
場면을クリックして選び、「無効」をクリックしてください。

※: 各チャプターの最初の映像が表示されます。オートチャプター機能で作成されたチャプター、手動で作成したチャプター、編集された番組に記録されていたチャプターが、いずれも個別の「場面」となります。

ポイント

- 録画番組の光ディスクへの保存については、『テレビを楽しむ本基本編』の「番組を光ディスクに保存する」をご覧ください。
- 編集した番組はタイトルに[編]と表示されます。
- 「まとめ表示」されている番組を編集したときは、編集後の番組も、もとの番組と同様に「まとめ表示」されます。

ポイント

編集している番組によっては、微調整用のボタン(, , )をクリックしたとき、1フレームまたは15フレームとは異なるフレーム数分、映像が進んだり戻ったりすることがあります。

ポイント

- 元の状態(有効シーンのみ表示モード)に戻すときは、もう一度「有効シーンのみ表示」をクリックしてください。
- オートチャプターの情報を使って場면을登録する「自動登録」の機能を使うと、自動的に「全シーン表示モード」に切り換わります。

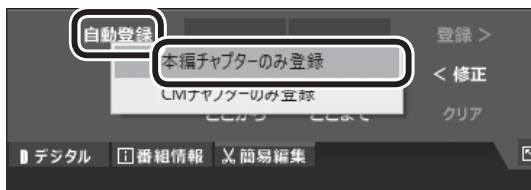
オートチャプターの情報を使って編集する(自動登録)

オートチャプター機能によって、番組を録画したとき自動的に番組の本編と本編以外が検出され、チャプターが作られています。録画番組を簡易編集するとき、オートチャプターの情報を使って、本編チャプターのみ、または本編以外のチャプター(CMチャプター)のみを登録することができます。ここでは本編チャプターのみを登録する手順を説明します。

1 「録画番組を簡易編集する」の手順1(p.68)から手順4までの操作をおこなう

「簡易編集」タブが表示されます。

2 「自動登録」-「本編チャプターのみ登録」をクリック



自動的に「全シーン表示モード」(p.71)に切り換わり、本編チャプターが登録されます。

本編以外のチャプターを登録したいときは、ここで「CMチャプターのみ登録」をクリックしてください。

3 「保存」をクリック

編集した番組が保存されます。

淡く表示された無効の場面は保存されません。

ポイント

オートチャプター機能については、「テレビを楽しむ本 基本編」の「オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいとこ再生」)」をご覧ください。

ポイント

- 「自動登録」をクリックすると、すでに登録された「ここから」や「ここまで」の情報が削除されます。これらの情報を削除してよいかどうか確認するメッセージが表示されたときは、状況に応じて「OK」または「キャンセル」をクリックしてください。
- 番組の最初または最後に放送されるCMは、本編以外のチャプター(CMチャプター)として検出されないことがあります。
- 本編チャプターがない番組や、本編以外のチャプター(CMチャプター)がない番組を自動登録するときは、その状況を報告するメッセージが表示されます。
- 「全シーン表示モード」を「有効シーンのみ表示モード」に切り換えるときは、「有効シーンのみ表示」をクリックしてください。
- 録画モード変換した番組や簡易編集した番組の、コピーできる回数(光ディスクに保存したりほかの機器にダビングできる回数)は、もとの番組とまとめて管理されています。ご注意ください。コピーできる回数(コピー制御)については、PART7の「ダビング10とは」(p.174)をご覧ください。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組を保存したいときは、SmartVision
に増設したハードディスクドライブを登録してください。

外付けハードディスクをSmartVisionに登録すると、番組を外付けハードディスクへ直接録画できるようになります。

また、Cドライブに録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。お気に入りの番組を整理するときや、Cドライブの空き容量を増やしたいときに便利です。

！チェック

SSDとハードディスクを搭載したモデルでは、ご購入時の録画先ドライブはCドライブではなく、Dドライブになっています。

登録できるハードディスクについて

USB 2.0およびUSB 3.0接続の外付けハードディスクドライブ (NTFSフォーマット)が利用できます。サポート対象機種について詳しくは、次のURLをご覧ください。

<https://www.nec-lavie.jp/products/common/hddlist/>

※USB 3.0は対応モデルのみ

！チェック

パスワードが設定された外付けハードディスクには録画できないことがあります。

ハードディスクを登録する

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 登録したいハードディスクとパソコンを接続する

設定確認画面が表示されます。

3 「次へ」をクリック



録画フォルダー作成画面が表示されます。

📖 参照

マウス操作専用モードが表示されているときの操作について
→オンラインヘルプの「使ってみよう」-「SmartVisionで録ろう!」-「増設したハードディスクを登録して、録画しよう」

👉 ポイント

ここで「キャンセル」を選択すると、次回以降、同じハードディスクを接続してもハードディスクを登録する画面が表示されなくなります。

この場合でも、録画番組を保存する録画フォルダーを作成する操作で、増設したハードディスクを登録することができます。

録画フォルダーの作成については、このPARTの「録画フォルダーを作成する」(p.63)をご覧ください。

4 録画フォルダーを作成する

- ① ハードディスクのドライブ(ボリューム)を確認する
- ② 録画番組を保存する録画フォルダーのフォルダー名を確認する
- ③ 「次へ」をクリック



登録完了画面が表示されます。

ここで作成したフォルダー名は、後でこのハードディスクを録画番組保存先に設定するときに必要になります。フォルダー名を控えておいてください。

フォルダー名:

5 「閉じる」をクリック

これで、SmartVisionでハードディスクが利用できるようになりました。

登録したハードディスクに番組を録画する

登録したハードディスク(p.73)に、番組を直接録画するよう設定します。なお、ここで説明している操作が完了すると、録画した番組は、Cドライブ(SSDとハードディスクを搭載したモデルではDドライブ)ではなく登録したハードディスクに保存されるようになります。

必要な場合のみ、この操作をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

チェック

- ここで作成した録画フォルダーは、SmartVisionからのみ管理できます。Windowsのエクスプローラーなどでは操作できません。
- フォルダー名は、キーボードで変更することができます。
- ハードディスク内に複数のパーティションがある場合、そのうちの一つをSmartVision用に選択することができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

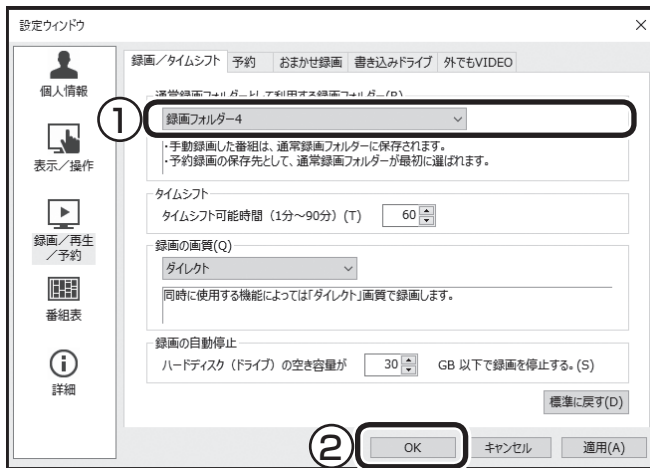
3 (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。



4 録画番組の保存先を選ぶ

- ① 「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」の▼をクリックし、番組を保存する録画フォルダーをクリックする
- ② 「OK」をクリックする



これで、登録したハードディスクに番組を直接録画できるようになりました。

！チェック

- 録画番組の保存先に設定した外付けハードディスクが取り外されていたとき、予約録画された番組は、ご購入時に設定されていた保存先(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)に保存(代理録画)されます。録画番組の保存先に外付けハードディスクを設定したときは、ご購入時に設定されていた録画フォルダー(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)をSmartVisionから削除しないでください。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、番組をタイムシフトモードに切り換えることができません。
- このパソコンで録画できる番組の総数(パソコンのストレージと外付けハードディスクに録画した番組の合計)には上限があります。これを超えると、SmartVisionの「録画番組一覧」から不要な録画番組を削除してください。登録された外付けハードディスクに保存された番組を削除するときは、その外付けハードディスクをこのパソコンに接続してください。なお、Windowsのエクスプローラーなどから録画番組のファイルを削除してもSmartVision上では番組が削除されたことになりません。ご注意ください。録画の上限については、PART2の「録画するときのご注意ください」(p.12)をご覧ください。

ハードディスクを登録するときの注意

ハードディスクを登録する際には、次の点に注意してください。

- NTFS以外のフォーマットのハードディスクは、NTFSフォーマットに変更することができます。詳しくはハードディスクの取扱説明書などをご覧ください。
- NTFS以外のフォーマットのハードディスクを接続した場合、同じハードディスクを再び接続しても、ハードディスクの登録画面は表示されません。ただし、NTFS以外のフォーマットのハードディスクをNTFSフォーマットに変更した場合、変更後の1回目の接続時にはハードディスクの登録画面が表示されます。
- パソコンを再セットアップした場合は、テレビ初期設定を終了した後に、テレビの映像が表示されている状態で、登録済みの外付けハードディスクをパソコンに接続して、再登録をしてください。この操作をおこなわずに、録画番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなる場合があります。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

番組の情報をインターネットで探す

気になる番組や人物(出演者など)、番組の主題歌について、インターネットを使って検索することができます。

「ウェブ検索」について

「ウェブ検索」は、テレビ番組の出演者や主題歌などについて、インターネットで検索できる機能です。検索サイトでキーワードを入力する必要はありません。マウスの操作だけで検索することができます。

番組表や録画番組一覧で面白そうな番組を見つけたとき、テレビ放送や録画番組を見ていて気になる新人が出てきたとき、手軽に検索してみましょう。

！チェック

- 「ウェブ検索」機能を利用するには、インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
- 「ウェブ検索」機能では、既定のWebブラウザを自動的に起動して検索結果を表示します。

番組表や録画番組一覧から「ウェブ検索」する

■ 番組表から検索する

ここでは、番組表の画面から、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 番組表(番組表)をクリック



番組表が表示されます。

📌ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 情報を調べたい番組を選ぶ

- ① 日付を選ぶ
- ② 放送局を表示する
- ③ 時間を合わせ、調べたい番組を表示する
- ④ 調べたい番組をクリック



画面上的詳細情報欄に、番組情報が表示されます。

4 「ウェブ検索」をクリック



5 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名 (出演者など)をクリック



自動的に既定のWebブラウザが起動し、検索結果が表示されます。

6 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

ポイント

- 手順5で「番組名検索」をクリックすると、手順6の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順5で「主題歌検索」をクリックすると、手順6の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

Webブラウザが起動するときSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

■ 「録画番組一覧」から検索する

「ウェブ検索」機能は、「録画番組一覧」に表示されている番組の情報を調べることができます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 録画番組一覧(録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 番組を選んで情報を検索する

- ① 調べたい番組をクリック
- ② 「ウェブ検索」をクリック



この後の操作は、「番組表から検索する」の手順5以降(p.77)をご覧ください。

テレビや録画番組を見ているときに「ウェブ検索」する

■ テレビを見ているときに検索する

ここでは、ライブモードでテレビを見ながら、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 「ライブ」タブをクリック



放送中の番組がライブモードで表示されます。必要に応じて、チャンネルを切り換えてください。

3 「映像メニュー」をクリック



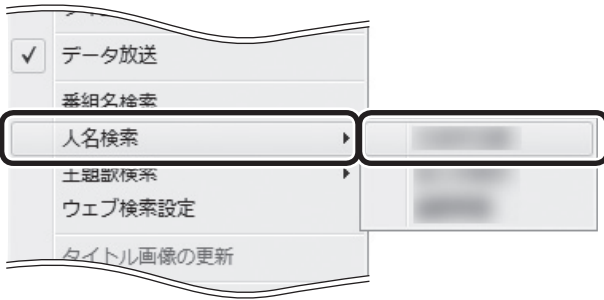
ポイント

タイムシフトモードでテレビを見ているときは、「ウェブ検索」の機能が使えません。

ポイント

画面上を右クリックして、映像メニューを表示させることもできます。

4 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名(出演者名など)をクリック



自動的に既定のWebブラウザが起動し、検索結果が表示されます。

5 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

■ 録画番組を見ているときに検索する

録画した番組を再生しているときも、その番組の情報を「ウェブ検索」することができます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 録画番組一覧(録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 録画番組一覧で視聴する番組をダブルクリック

録画番組が再生されます。

4 「テレビを見ているときに検索する」の手順3(p.79)以降の操作をおこなう

テレビを見ているときと画面に表示されている内容が一部異なりますが、操作の流れは同じです。

ポイント

- 手順4で「番組名検索」をクリックすると、手順5の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順4で「主題歌検索」をクリックすると、手順5の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

Webブラウザが起動するときにSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

「ウェブ検索」で使う検索プロバイダーを変更する

検索結果を表示する検索プロバイダー(検索サイト)を変更することができます。

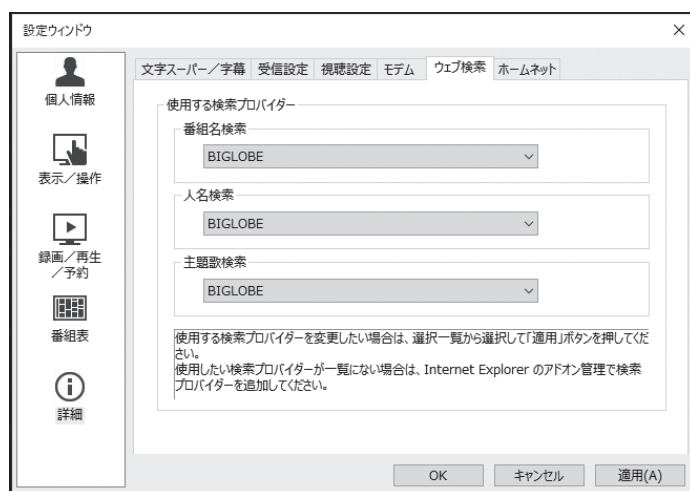
1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で、 (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ウェブ検索」タブをクリック

3 検索プロバイダーを選ぶ

「番組名検索」・「人名検索」・「主題歌検索」の▼をクリックし、表示されたメニューから使用する検索プロバイダーを選んでクリックします。



4 「OK」をクリック

これで検索プロバイダーの変更は終了です。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

録画番組をスマートフォンなどで楽しむ(外でもVIDEO)

パソコンで録画した番組をスマートフォンなどの機器に転送(ダビング)して、外出先で楽しむことができます。

外でもVIDEOって何？

録画した番組をスマートフォンやタブレットなどの機器へ転送し、外出先などでも楽しむ機能、それが「外でもVIDEO」です。何度も見たいお気に入りの番組や、ゆっくり見ている時間がなくてどんどんたまってしまう連続ドラマを、スマートフォンなどに入れて持ち出しましょう。

■ パソコンとの接続について

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

・DLNAおよびDTCP-IPに対応したスマートデバイス(スマートフォン、タブレット)のワイヤレス通信機能を使い、ホームネットワークでパソコンと接続する。

■ ワイヤレス転送する前の準備

ワイヤレス転送をご利用になるときは、あらかじめホームネットワークへの接続などの準備が必要です。詳しくはこのPARTの「ホームネットワークの準備について」(p.98)をご覧ください。

ポイント

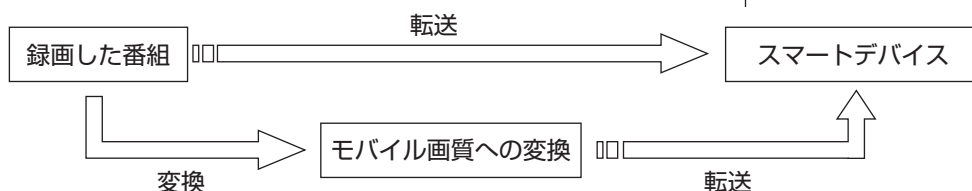
- 転送先のスマートデバイスとパソコンの接続の設定によっては、通信圏内(電波が届く範囲)に転送先のスマートデバイスが入った時点で、自動的にパソコンに接続されることがあります。
- ワイヤレスで転送する機能を「外でもVIDEO ワイヤレス」と呼びます。

■ スマートデバイスに番組を転送する仕組み

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

録画した番組のデータを変換せず、そのままスマートデバイスに転送できます。

また、転送する際、スマートデバイスでの視聴に適した「モバイル画質」に変換することもできます。



ポイント

「モバイル画質」については「スマートデバイス用のデータについて」(p.83)をご覧ください。

- ・ 録画した番組を選んで、パソコンに接続したスマートデバイスに手動で転送することができます。(p.84)
- ・ 録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(転送する候補)として設定することができます。なお、ワイヤレス転送の場合は、スマートデバイス用のデータは作成されません。(p.88)
- ・ 番組の転送先としてあらかじめスマートデバイスを登録しておくことができます。また、録画した番組が自動的に転送されるよう設定することができます。(p.91)
- ・ スマートデバイスから操作して、録画した番組を転送することもできます。(p.97)

■ スマートデバイス用のデータについて

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

録画した番組のデータを変換せず、そのままスマートデバイスに転送できます。

また、転送する際、スマートデバイスでの視聴に適した「モバイル画質」*に変換することもできます。

*画質の変換は転送と同時におこなわれます。転送元の番組データによって解像度やビットレートが変化します(最大で1280×720、約2Mbps)。転送元の番組データより高い解像度やビットレートには変換されません。

■ 録画番組が転送できる機器について

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

対応している機器について詳しくは、次のURLをご覧ください。

<https://www.nec-lavie.jp/products/common/sotodemo-w/>

転送元のパソコンと転送先のスマートデバイスをあらかじめホームネットワークに接続する準備が必要です。詳しくは「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.99)をご覧ください。

録画した番組をスマートデバイスに転送する

ここでは、録画済みの番組をスマートフォンなどの機器に転送する手順について説明します。

なお、外でもVIDEOで録画した番組の中で、視聴(転送)していないものを、細かい設定を省いて転送する「簡単転送」の機能を使うこともできます。詳しくは「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.95)をご覧ください。

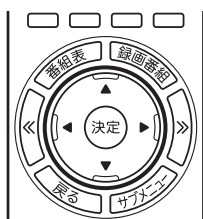
1 スマートフォンなどの転送先の機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

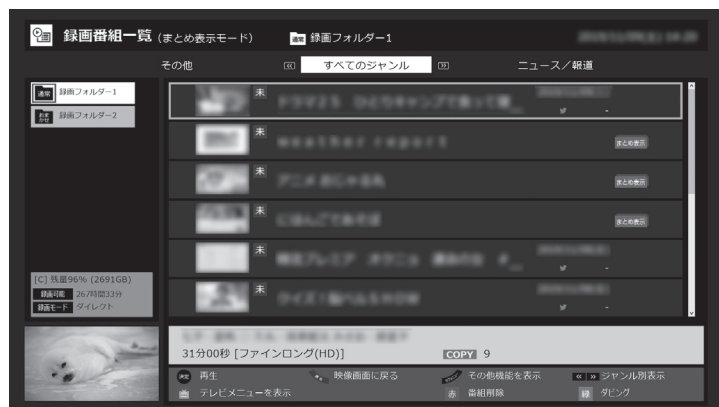
2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「Normal 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す



録画番組一覧が表示されます。スマートフォンなどの機器に転送する番組のコピー制御(コピーできるかどうか)を確認してください。確認の方法について詳しくは、PART7の「コピーできる回数を確認するには」(p.177)をご覧ください。



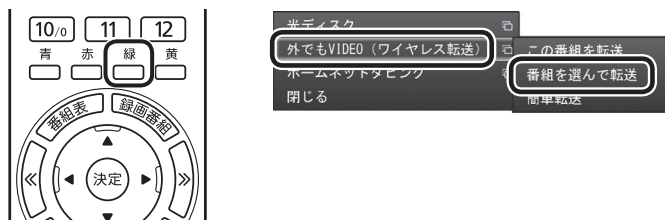
チェック

転送先の機器とパソコンを接続するときは、転送先の機器の設定(ホームネットワークの設定など)の変更が必要になる場合があります。転送先の機器の設定については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。パソコン(転送元)の設定については、「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.99)をご覧ください。

4 転送する番組を選んで【緑】を押し、次の操作をおこなう

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

「外でもVIDEO(ワイヤレス転送)」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す。



5 転送する番組を選んで【決定】を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す

転送する番組の一覧が表示されます。接続した機器によって画面が一部異なります。

ポイント

- 「簡単転送」を選んで【決定】を押すと、録画予約するときに外でもVIDEOが設定された未視聴の番組を、細かい設定を省いて転送することができます。詳しくは「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.95)をご覧ください。
- 「まとめ表示」されているシリーズ番組を選んだときは、「シリーズすべてを転送」を選んで、そのシリーズのすべての番組を転送の対象にすることができます。

ポイント

「まとめ表示」されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

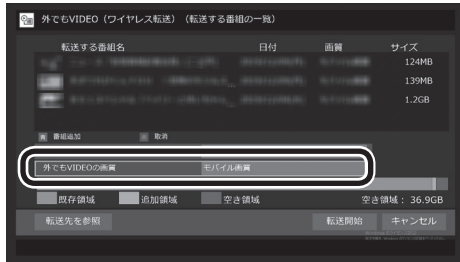
チェック

転送先の機器によって、再生できる録画モード(画質モード)が異なります。対応している機器について詳しくは、NEC LAVIE公式サイト(<https://www.nec-lavie.jp/products/common/taioukiki/>)をご覧ください。

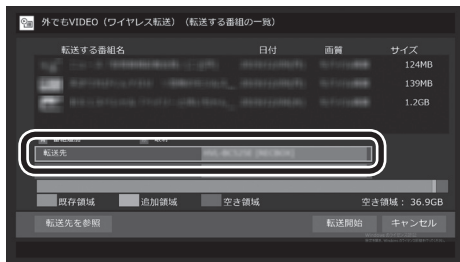
7 「外でもVIDEOの画質」を選んで【決定】を押し、転送する画質を選ぶ

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

表示されたメニューから「変換しない」または「モバイル画質」を選んで【決定】を押し、手順9に進んでください。



8 「転送先」を選んで【決定】を押し、接続した機器を選んで【決定】を押す



9 「転送開始」を選んで【決定】を押す



ポイント

- 転送先の機器が選択した画質に対応していないときは転送できません。
- 転送する画質として、「変換しない」(録画したときの画質)の他に「モバイル画質」を選ぶこともできます。

チェック

録画番組を転送している間は、パソコンと転送先の機器の接続を解除しないでください。

ポイント

ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ストレージから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、同時に使用する機能に一部制限があります。機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしたがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。

転送が始まり、通知領域に転送を示すアイコンが表示されます。

10 「転送が完了しました」と表示されたら、ほかの転送が始まっていることを確認し、**[決定]**を押す

11 スマートデバイスとパソコンの接続を解除する

ワイヤレス転送(スマートデバイス)


必要に応じてホームネットワークとの接続(パソコンとの接続)を解除してください。

ポイント

複数の番組を同時に録画するときの制限などについては、PART2の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。

チェック

予約の際に外でもVIDEOの設定で録画された番組があり、転送先の機器に自動的に転送される設定になっているときは、ここでの操作の直後にそれらの番組の転送が始まる場合があります。転送先の機器とパソコンの接続を解除する前に、番組の転送が始まっていないかご確認ください。転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。

- ・テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「外でもVIDEO転送(ワイヤレス転送)」と表示されます。
- ・テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示するように設定しているときは、通知領域にが表示されます。

録画するとき外でもVIDEOの設定をする

録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(スマートフォンなどの機器へ転送する候補)として設定しておくことができます。

これらの番組は、転送先として登録された機器がパソコンに接続されたとき自動的に転送されたり、「簡単転送」を使ったとき転送の候補となります。

おてがる予約で録画するときやおまかせ録画をするとき、また、時間指定予約で録画するとき、外でもVIDEOの設定ができます。

■ 録画予約と同時に外でもVIDEOの設定をするときの注意

- 次の機能で録画するときは、同時に外でもVIDEOの設定をすることができません。
 - ・ 新番組おまかせ録画
 - ・ さかのぼり録画
 - ・ 手動録画(視聴中の番組を録画)
- 録画番組が複数音声の番組であっても、記録できる音声は1つだけになります。必要に応じて「詳細設定」にて、記録する音声を指定してください。
- 同じ時間帯の番組を複数録画するときは、同時に使用する機能に一部制限があります。機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしたがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。

■ おてがる予約で録画するとき

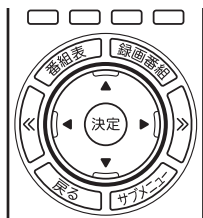
1 リモコンの[テレビメニュー]を押す



テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで[決定]を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。



番組表が表示されます。

ポイント

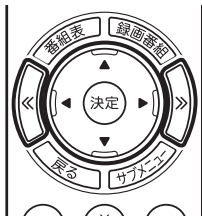
複数の番組を同時に録画するときの制限などについては、PART2の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.16)をご覧ください。

ポイント

『テレビを楽しむ本 基本編』の「番組表を使って予約する(おてがる予約)」も合わせてご覧ください。

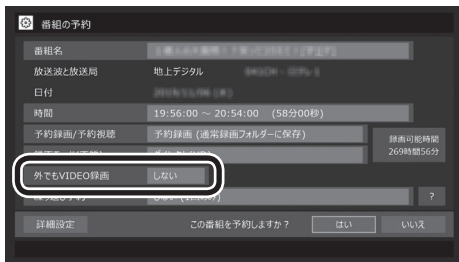
3 予約する番組を決める

- ① リモコンの[<<]>]で日付を選ぶ
- ② 予約したい番組を選んで[決定]を押す



番組を予約する画面が表示されます。

4 「外でもVIDEO録画」を選んで[決定]を押し、「する」を選んで[決定]を押す



「外でもVIDEO録画」が有効になります。

5 「はい」を選んで[決定]を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました。」というメッセージが表示されます。

6 [決定]を押す

！チェック

外でもVIDEOの候補として設定された録画番組を自動転送するように設定していると、録画終了後に、パソコンに接続された機器へ転送が始まります。

📖ポイント

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、同時に使用する機能の一部制限があります。同時動作についての制限に関するメッセージが表示されたときは、表示された内容にしたがって操作してください。

■ おまかせ録画するとき

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで[決定]を押す



おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

3 予約したい条件名を選んで[決定]を押す



条件設定の画面が表示されます。

4 「外でもVIDEO録画」を選んで[決定]を押し、「する」を選んで[決定]を押す



「外でもVIDEO録画」が有効になります。

5 「保存して戻る」を選んで[決定]を押す

6 [緑]を押して「有効」にする

7 「保存して戻る」を選んで[決定]を押す

ポイント

PART2の「おまかせ録画をする」も合わせてご覧ください。

ポイント

マウス操作専用モードで、おまかせ録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることもできます。

ポイント

- 外でもVIDEO録画(ワイヤレス転送)で自動転送されるとき画質については、「自動転送の詳細な設定をする」(p.91)をご覧ください。
- 同じ時間帯の番組を複数録画するときは、同時に使用する機能に一部制限があります。同時動作についての制限に関するメッセージが表示されたときは、表示された内容にしたがって操作してください。

自動転送を使う

録画の予約をするときに外でもVIDEOの設定をしておいた番組が、転送先の機器に自動的に転送されるよう設定できます。自動転送するために、パソコンをタイマーで起動させることもできます。

次のとき、自動転送がおこなわれます。

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

1. 転送先の機器がパソコンに接続されているとき、外でもVIDEOの番組の録画が完了した。
2. 録画済みの外でもVIDEOの番組があるとき、転送先の機器がパソコンに接続された。
3. 録画済みの外でもVIDEOの番組を自動転送するためにパソコンがタイマーで起動し、スマートデバイスがホームネットワークでパソコンに接続された。

■ 自動転送を手軽に設定する

自動転送の転送先が未設定のとき、転送可能な機器を接続すると、「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面が表示されます。メッセージにしたがって操作するだけで、接続した機器を転送先として設定できます。

なお、この方法で転送先の設定をおこなうときは、次の操作が必要になることがあります。

- ・「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

■ 自動転送の詳細な設定をする

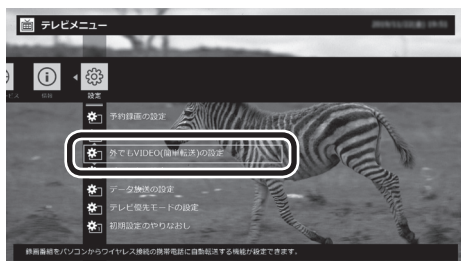
1 スマートフォンなど転送先に指定する機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「設定」の「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」を選んで【決定】を押す



「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」が表示されます。

！チェック

- コピーワンスで放送された番組は自動転送できません。必要に応じて手動で転送してください。
- 自動転送がなにかの理由で失敗した場合は、その後、左記の条件が成立した時点であらためて自動転送がおこなわれます。自動転送の失敗が続くときは、ネットワーク接続などに問題がないかご確認ください。また、転送先の機器などにアップデートが提供されているかどうか確認いただき、必要に応じて最新版のアップデートを適用してください。

！ポイント

「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面で「いいえ」を選ぶと「外でもVIDEO」の自動転送先に設定しませんでした。」とのメッセージが表示され、次回以降、同じ機器を接続しても「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面が表示されなくなります。

！ポイント

自動転送の設定は、簡単転送(p.95)の設定と共通です。

！チェック

- 「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」の表示に時間がかかることがあります。操作の後、1分程度そのまま待ちください。
- 「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」の表示に時間がかかったときは次の操作をおこなってください。
 - ・ サーバー設定ツールを起動し「認証」をクリックして、「認証」欄に「認証済み」と表示されることを確認する。次回以降、「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」の表示がスムーズになります。サーバー設定ツールについては、「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.99)もあわせてご覧ください。

4 自動転送の設定をする


- ① 「転送する番組」を選んで【決定】を押し、転送方法を選んで【決定】を押し。
ご購入時の設定では「最近1週間の番組」が選ばれています。必要に応じて、「最近の10番組」または「すべての番組」を選んでください。
- ② 「自動転送」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押し。
- ③ 「転送先(ワイヤレス転送)」を選んで【決定】を押し、接続した機器を選んで【決定】を押ししてください。
- ④ 番組を転送するためにパソコンを自動で起動するかどうかを設定する。
パソコンを自動で起動するときは「タイマーによる自動転送」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押ししてください。
- ⑤ 「タイマーによる自動転送」で「する」を選んだときは、パソコンが起動する時刻を指定する。
表示されている時刻を選んで【決定】を押し、【矢印】の左右ボタンで時または分を選び、【矢印】の上下ボタン(または数字ボタン)で時刻を指定して【決定】を押ししてください。



5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押し

これで設定が完了しました。必要に応じて転送先の機器とパソコンの接続を解除してください。

■ 自動転送中の表示について

- 自動転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。
- ・ テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「外でもVIDEO転送(ワイヤレス転送)」と表示されます。
 - ・ テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示するように設定しているときは、通知領域にが表示されます。

ポイント

転送先に「転送先を検索」と表示されたときは、「転送先を検索」をクリックし、画面に表示されたメッセージにしたがって次のいずれかの操作をおこなってください。
「SmartVisionをアップデートしてください。」と表示された場合は、『テレビを楽しむ本 基本編』の「光ディスクに保存するための準備」をご覧くださいになり、SmartVisionをアップデートしてください。
「ライセンスを取得する必要があります。」と表示された場合は、このPARTの「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.99)をご覧くださいになり、ライセンスを取得してください。(ワイヤレス転送の場合)

チェック

「ワイヤレス転送時の画質」を選んで【決定】を押し、転送するときの画質を選ぶことができます。「変換しない」を選んだときは録画したときの画質(録画モード)で転送されます。「モバイル画質」を選んだときは、スマートデバイスでの視聴に適した画質で転送されます。

ポイント

「タイマーによる自動転送」でパソコンが起動するのは、未転送の録画番組があるときだけです。

■ 自動転送の結果を確認するときは

自動転送の結果に問題があったときは、次の操作で転送の状況を確認できます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



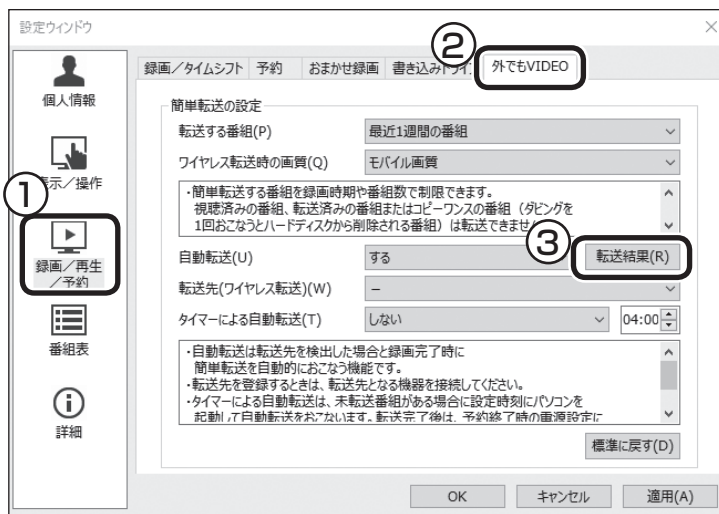
画面が切り換わって、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 * (設定) をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

4 自動転送の結果を表示する

- ①「録画／再生／予約」アイコンをクリック
- ②「外でもVIDEO」タブをクリック
- ③「転送結果」をクリック



「自動転送の結果一覧」が表示されます。

ポイント

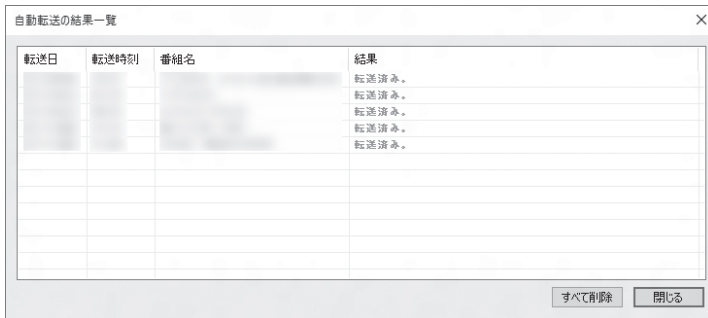
操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- 「外でもVIDEO」タブの表示に時間がかかることがあります。操作の後、1分程度そのままお待ちください。
 - 「外でもVIDEO」タブの表示に時間がかかったときは次の操作をおこなってください。
 - ・サーバー設定ツールを起動し「認証」をクリックして、「認証」欄に「認証済み」と表示されることを確認する。
- 次回以降、「外でもVIDEO」タブの表示がスムーズになります。サーバー設定ツールについては、「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.99)もあわせてご覧ください。

5 自動転送の結果を確認する

一覧で転送結果を確認してください。



6 「閉じる」をクリック

「自動転送の結果一覧」が閉じます。

7 「OK」をクリック

「設定ウィンドウ」が閉じます。

ポイント

「すべて削除」をクリックして、転送結果を削除することができます。

簡単転送を使う

■ 転送の条件を設定して簡単転送する

録画番組一覧の画面から簡単転送することができます。この際、番組を絞り込む条件を変更したり、転送する番組を指定することができます。

1 「録画した番組をスマートデバイスに転送する」(p.84)の手順1～手順3までの操作をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

2 [緑]を押し、次の操作をおこなう

ワイヤレス転送(スマートデバイス)

「外でもVIDEO(ワイヤレス転送)」-「簡単転送」を選んで[決定]を押す。

転送される番組の一覧が表示されます。ここからはマウスで操作してください。

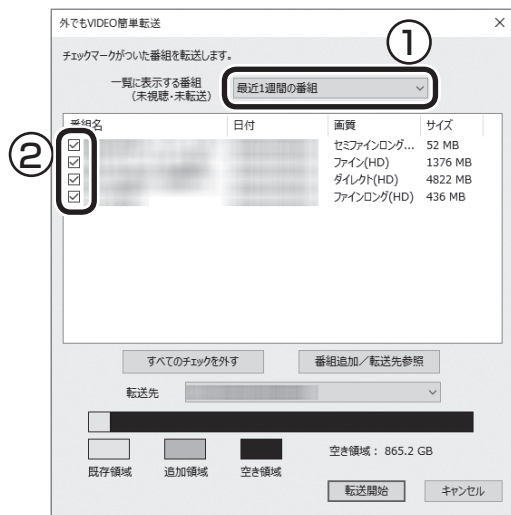
3 転送の条件を設定する

チェックの付いている番組が転送されます。設定の必要がなければ、そのまま手順4に進んでください。

① 番組を絞り込む条件を選んでクリック

② 転送しない番組をクリックしてチェックを外す

最初の状態ではすべての番組にチェックが付いています。



4 「転送開始」をクリック

転送が始まり、通知領域に転送中を示すアイコンが表示されます。

5 「録画した番組をスマートデバイスに転送する」の手順10 (p.87)の操作をおこなう

ポイント

- 転送される番組の一覧には、未視聴・未転送の番組だけが候補として表示されます。
- 転送先の機器の空き容量によっては、すべての番組にチェックが付かないことがあります。

ポイント

ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ストレージから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認して「転送開始」をクリックしてください。

スマートデバイスに転送したデータを確認する

スマートフォンなどの転送先の機器に番組を追加するときに、転送済みの番組のデータを確認することができます。

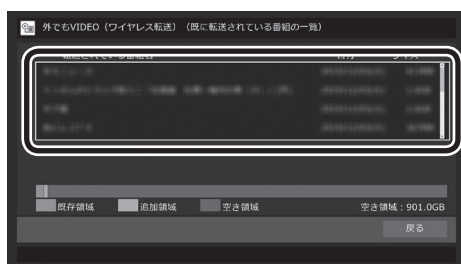
1 「録画した番組をスマートデバイスに転送する」(p.84)の手順1～手順6をおこなう

2 「転送先を参照」を選んで[決定]を押す



転送されている番組の一覧が表示されます。

3 転送先の機器内の番組を確認する



ここで番組を選んで[赤]を押し、不要な番組を削除することができます。

■ 転送に失敗する場合

●ワイヤレス転送(外でもVIDEO ワイヤレス)

録画の時間と転送の時間が重なると、転送に失敗することがあります。録画が終了してから転送をおこなってください。

また、次の場合は転送を完了できません。

- ・ 転送する番組のファイルサイズが、転送先に保存できる大きさを超えている
 - ・ 転送する番組の数が、転送先に保存できる番組の数を超えている
- このような場合は、録画モードを変換してファイルサイズを小さくしたり、転送済みの番組を削除して(番組の数を減らして)ください。

転送できる番組の大きさや数などの制限値については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。

別の機器からの操作によって録画番組を転送する

別のパソコンやスマートデバイス(プレーヤー機器)からの操作によって、このパソコンで録画した番組をホームネットワーク経由でプレーヤー機器へ転送することができます。

■ 利用できるプレーヤー機器とプレーヤーアプリ

利用できるプレーヤー機器、およびプレーヤーアプリやそれらが動作するパソコンやスマートデバイスについては、次のURLからご確認ください。

<https://www.nec-lavie.jp/products/common/taioukiki/>

■ プレーヤー機器から操作して録画番組を転送するための準備

このパソコンと転送先となるプレーヤー機器をあらかじめホームネットワークに接続しておく必要があります。詳しくは、このPARTの「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.99)をご覧ください。

■ プレーヤー機器の操作

転送するときの操作や転送した番組の視聴については、プレーヤーアプリのヘルプをご覧ください。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

ホームネットワークを使って 録画した番組を楽しむ

ホームネットワークを使うと

- このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って共有できます。

このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークに接続されたメディアサーバー(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスク)にダビング(転送)することができます。これらの番組は、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

- メディアサーバーに保存されている番組を、このパソコンで楽しむことができます。

メディアサーバー(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスク)に保存されている番組は、それがほかのテレビレコーダーなどで録画した番組であっても、ホームネットワークを使ってこのパソコンで視聴することができます。

- このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って配信できます。

このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って配信することができます。これらの番組は、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

ポイント

このパソコンで録画した番組だけでなく、このパソコンで受信中の番組(放送中の番組)も、ホームネットワークを使って楽しむことができます。

ホームネットワークの準備について

ホームネットワークを使って番組をダビングしたり配信(転送)するため、パソコンおよび接続機器の準備をしてください。

■ ホームネットワークを作る

ホームネットワークに接続するためには、ネットワークの設定が「プライベート ネットワーク」である必要があります。確認および設定の操作は次のとおりです。

- 設定を確認する

1 「」(スタート)-「」(設定)をクリック

ポイント

無線LANでホームネットワークに接続する機器の周波数帯(2.4GHz帯または5GHz帯)は、接続先の無線LANルーターの周波数帯と同じにしてください。

2 「ネットワークとインターネット」-「状態」をクリック

3 「ネットワークの状態」に「プライベート ネットワーク」と表示されていることを確認する

「パブリック ネットワーク」と表示されていたときは、次の「「プライベート ネットワーク」に設定する」をご覧ください。設定を変更してください。

●「プライベート ネットワーク」に設定する

1 「 (スタート)」-「 (設定)」をクリック

2 「ネットワークとインターネット」-「状態」をクリック

3 有線LANを使用している場合は「イーサネット」を、無線LANを使用している場合は「Wi-Fi」をクリックし、接続されているネットワークをクリック

4 「ネットワーク プロファイル」で「プライベート」をクリック

■ リモートパワーオン(Wake on LAN)機能を利用するための準備

リモートパワーオン(Wake on LAN)機能とは、ネットワークに接続された機器を遠隔操作で起動させる機能です。ホームネットワーク上のメディアサーバーなどを自動で起動させることができます。リモートパワーオン(Wake on LAN)機能の設定は、メディアサーバー側でおこなってください。

このパソコンをメディアサーバーとして使うときは、必要に応じてリモートパワーオン機能を有効にしてください。詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「このパソコンのマニュアル」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「LANネットワークの設定」-「LANネットワークの設定(詳細)」の「リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用する」をご覧ください。

■ 外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備

1. パソコン(配信/転送元)の準備

著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「は行」-「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」の、「録画番組をホームネットワークを使って視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

2. 転送先の機器(スマートデバイス)の準備

次の準備が必要です。

- ・ホームネットワークへの接続、およびパソコン(配信/転送元)からのアクセスの許可
- ・DLNAサーバーアプリケーションを起動
詳しくは、利用するスマートデバイスに添付された取扱説明書などをご覧ください。

ポイント

ホームネットワークに機器を接続するときは、LANケーブルを使う方法とワイヤレスLANを使う方法があります。

- ・LANケーブルを使うとき
「LAVIEアプリナビ」-「このパソコンのマニュアル」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「LANについて」とその関連項目を合わせてご覧ください。
- ・ワイヤレスLANを使うとき
「LAVIEアプリナビ」-「このパソコンのマニュアル」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)について」とその関連項目を合わせてご覧ください。

チェック

サインイン(ログオン)パスワードが設定されているメディアサーバーは、電源が切れている(シャットダウン)状態からリモートパワーオンで起動することができません。メディアサーバーを電源が切れている(シャットダウン)状態からリモートパワーオンで起動したいときは、サインイン(ログオン)パスワードを設定しないでください。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

■ ホームネットワークダビングの準備

1. パソコンの準備

著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「は行」-「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」の、「録画番組をホームネットワークを使って視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

2. ダビング先の機器(NASやHDDレコーダーなど)の準備

次の準備が必要です。

- ・ ホームネットワークへの接続、およびパソコンからのアクセスの許可
詳しくはダビング先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

■ メディアサーバーから配信された番組を視聴(録画番組を受信)する準備

1. メディアサーバー(HDDレコーダーなど)の準備

配信を許可する設定が必要となる場合があります。設定が必要かどうか、および設定が必要な場合の手順については、配信元となるメディアサーバー(HDDレコーダーなど)に添付された取扱説明書などをご覧ください。

■ 番組をホームネットワークで配信する準備

このパソコン(SmartVision)で録画した番組や放送中の番組を、ホームネットワークを使ってDTCP-IPに対応した機器(スマートフォン、タブレット、テレビ、別のパソコンなど)に配信するには次の準備が必要です。

1. 配信先の機器の準備

配信先の機器をホームネットワークに接続します。

詳しくは配信先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

2. このパソコン(配信元)の準備

次の準備が必要です。

- ・ ホームネットワークに接続されている配信先の機器(スマートフォンや別のパソコンなど)からのアクセスを許可します。
詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「は行」-「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」の、「コンテンツをネットワーク上の機器から視聴する場合の注意事項」をご覧ください。
- ・ 著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。
詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「は行」-「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」の、「録画番組をホームネットワークを使って視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

ホームネットダビング

■ ホームネットダビングとは

ホームネットワークに接続されたメディアサーバー(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスクなど)に、パソコンで録画した番組をダビング(転送)する機能です。

転送された番組は、パソコンを起動していなくても、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

■ 録画番組が転送できるメディアサーバーについて

対応しているメディアサーバーについて詳しくは、次のURLをご覧ください。

<https://www.nec-lavie.jp/products/common/nashddlist/>
なお、メディアサーバーの仕様や使い方などについては、メディアサーバーに添付されたマニュアルをご覧ください。

■ ホームネットダビングするときのご注意

ホームネットダビングは、次の機能と同時に使用することはできません。

- ・ 光ディスクに録画番組を保存
- ・ 録画モードの変換
- ・ 光ディスクのフォーマット
- ・ ホームネットワークを使った番組の配信

また、ホームネットダビング中の番組は、パソコンで再生したり削除することはできません。

■ ホームネットダビングする

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

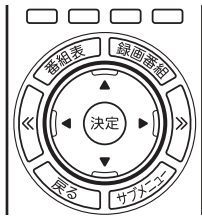


テレビメニューが表示されます。

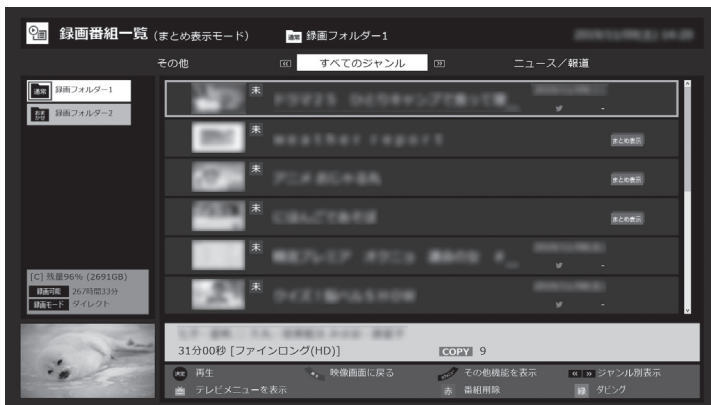
ポイント

ホームネットダビングをご利用になるときは、あらかじめホームネットワークへの接続などの準備が必要です。詳しくは「ホームネットワークの準備について」(p.98)をご覧ください。

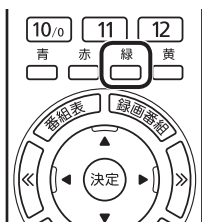
2 「録画番組一覧」の転送したい録画番組が保存されている録画フォルダーを選んで[決定]を押す



録画番組一覧が表示されます。メディアサーバーなどの機器に転送する番組のコピー制御(コピーできるかどうか)を確認してください。確認の方法について詳しくは、PART7の「コピーできる回数を確認するには」(p.177)をご覧ください。



3 転送する番組を選んで[緑]を押し、「ホームネットダビング」-「番組を選んで転送」を選んで[決定]を押す



複数の番組が選択できるようになります。

4 転送する番組を選んで【決定】を押す

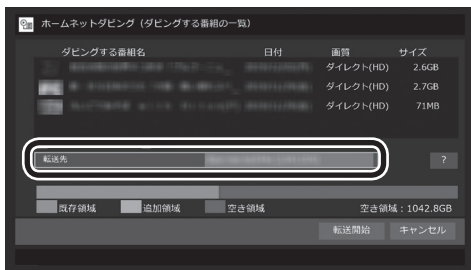


選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順4を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

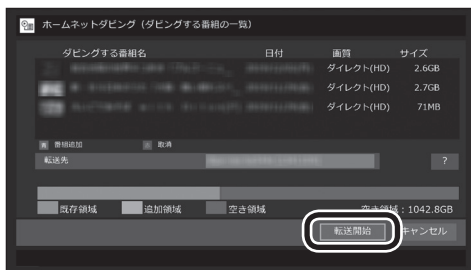
5 【緑】を押す

転送する番組の一覧が表示されます。

6 「転送先」を選んで【決定】を押し、番組を転送したいメディアサーバーを選んで【決定】を押す



7 「転送開始」を選んで【決定】を押す



転送が始まり、画面にホームネットダビングを示すアイコンが表示されます。

ポイント

「まとめ表示」されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

ポイント

- 転送を取り消すときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 転送する番組を追加するときは、【青】を押して、手順4の画面に戻ってください。
- メディアサーバーを検索中は「転送先を検索しています」と表示されます。
- メディアサーバーによっては、空き領域の情報が取得できないことがあります。この場合は、空き領域に「不明」と表示されます。

ポイント

- デジタル録画番組を配信するためのライセンスの取得を促すメッセージが表示されたときは、「ホームネットダビングの準備」(p.100)をご覧ください。
- ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ストレージから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。
- 次のようなネットワーク環境では、番組の転送に時間がかかることがあります。
 - ・ 複数のハブが直列に接続(多段接続)されている
 - ・ 10BASE-Tなど、通信速度の遅い機器が接続されている

8 「ホームネットダビングが完了しました。」と表示されたら、 [決定]を押す

ポイント

- メディアサーバーの空き領域が不足していたときは、転送できた番組とできなかった番組がそれぞれ一覧表示されます。
- メディアサーバーの空き容量が少ないと、転送する番組のデータがメディアサーバーの空き容量より小さくても転送に失敗することがあります。必要に応じて視聴済み番組などのメディアサーバーに保存されたデータを削除し、空き容量を増やしてください。メディアサーバーに転送した番組の削除については、「メディアサーバーに保存された番組を削除するには」(p.107)をご覧ください。

■ ホームネットダビング(番組の転送)に失敗する場合

録画の時間と転送の時間が重なると、転送に失敗することがあります。録画が終了してから転送をおこなってください。

また、次の場合は転送を完了できません。

- ・転送する番組のファイルサイズが、転送先に保存できる大きさを超えている
 - ・転送する番組の数が、転送先に保存できる番組の数を超えている
- このような場合は、録画モードを変換してファイルサイズを小さくしたり、転送済みの番組を削除して(番組の数を減らして)ください。

転送できる番組の大きさや数などの制限値については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。

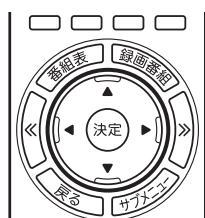
メディアサーバーに保存された番組を楽しむ

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す



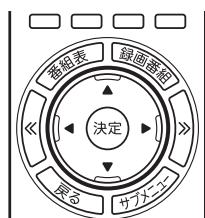
テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」を選ぶ



- 「録画番組一覧」を選んでから、ホームネットワーク上のメディアサーバーの検索が始まります。このため、メディアサーバーが見つかるまでに時間がかかることがあります。
- 検索中、以前接続したことがあるメディアサーバーは、「！」が付いた状態で表示されています。メディアサーバーが見つかると「！」が消えます。ホームネットワークから外されていたり、電源が入っていないメディアサーバーは「！」が付いたままとなります。

3 メディアサーバーを選んで[決定]を押す



- メディアサーバーは録画フォルダの下に表示されます。アイコンはメディアサーバーによって異なります。
- ホームネットワークを経由して番組の情報を取得するため、録画番組の一覧が表示されるまでに時間がかかることがあります。

メディアサーバーの「録画番組一覧」画面が表示されます。

ポイント

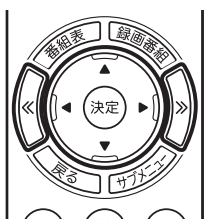
メディアサーバーがリモートパワーオン(Wake on LAN)機能に対応している場合は、電源が切れていたりスタンバイ状態で「！」が付いた状態であっても、メディアサーバーのアイコンを選択するだけでメディアサーバーを起動することができます。リモートパワーオンについて詳しくは「リモートパワーオン(Wake on LAN)機能を利用するための準備」(p.99)をご覧ください。

ポイント

【録画番組】を押して「録画番組一覧」を表示させ、画面左側でメディアサーバーを選ぶこともできます。

4 番組を選んで[決定]を押す

- ① リモコンの[◀] [▶]でジャンルを絞り込んで表示できます。
- ② 再生したい番組を選びます。



再生が始まります。

再生中は、このパソコンで録画した番組と同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。



- メディアサーバーから取得した情報によっては、録画番組のサムネイル(小さく表示されている画面)がテレビの映像ではなく、番組のジャンルを示すアイコンになることがあります。
- ホームネットワークをワイヤレスLANで接続している場合、電波環境によっては、番組の再生中に映像が乱れたり(コマ落ちなど)、音声途切れたりすることがあります。このような場合は、有線LAN(LANケーブル)で接続してください。
- メディアサーバーの状態などによって、番組が再生できないことがあります。メディアサーバーの状態や動作の制限事項などについては、ご使用になっているメディアサーバーの取扱説明書をご覧ください。
- メディアサーバーに保存された番組を再生しているとき、HDMI出力切り換えで画面を出力するディスプレイを切り換えると、再生が停止します。
- メディアサーバーに保存された番組は、光ディスクに保存したり、スマートデバイスに転送したり、編集したりすることはできません。

5 再生を終了するときは、[停止]を押す



メディアサーバーの「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

ポイント

- チャプタースキップはできません。リモコンの【前】を押すと30秒前から、【次】を押すと30秒後から再生されます。
- リモコンの【音声】で出力する音声を切り換えることができますが、このパソコンで録画した番組を再生するときとは動作が異なることがあります。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

■ メディアサーバーに保存された番組を削除するには

1 「メディアサーバーに保存された番組を楽しむ」(p.105)の手順1～手順3をおこなう

メディアサーバーの「録画番組一覧」が表示されます。

2 削除する番組を選ぶ

●番組をひとつだけ削除するときは

削除したい番組を選んで【赤】を押し、表示されたメニューで「この番組を削除」を選んで【決定】を押してください。

●複数の番組を削除するときは

【赤】を押し、表示されたメニューで「番組を選んで削除」を選んで【決定】を押します。

続けて削除したい番組を選んで【決定】を押して、チェックマークをつけてください。チェックマークを外すときはもう一度番組を選んで【決定】を押します。

番組を選び終わったら【赤】を押してください。

確認のメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

メディアサーバーから番組が削除されます。

ポイント

- メディアサーバーによっては、この操作で番組を削除できないものがあります。他の機器からの削除に対応しているかどうかはメディアサーバーのマニュアルなどでご確認ください。
- メディアサーバーがSmartVisionを搭載したパソコンの場合、この操作で番組を削除することはできません。

■ 映像をホームネットワークで配信する

録画した番組を、ホームネットワークに接続された映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)*に配信することができます。

※対応している映像機器について詳しくは、次のURLの「DLNA 接続確認済み機器一覧」をご覧ください。

(<https://www.nec-lavie.jp/products/common/taioukiki/>)

■ ホームネットワークを使った録画番組の配信について

録画した番組を配信するときは、このパソコンがメディアサーバー(配信元のサーバー)として動作します。受信側の機器(ホームネットワークに接続された映像機器)では、それぞれに搭載されたアプリケーションを使って、このパソコンに保存された録画番組を再生することができます。

「番組をホームネットワークで配信する準備」(p.100)をご覧ください。このパソコンを配信元として使用するための設定(配信を許可する設定と配信先の登録)と、受信側の機器の設定(配信元(このパソコン)の登録など)を済ませてください。

なお、このパソコンがホームネットワークに接続されて電源が入っている状態であれば、SmartVisionが起動していなくても、受信側の機器で録画番組を再生して楽しむことができます。

チェック

簡易編集機能を使って編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 本編チャプターだけを配信したいときは

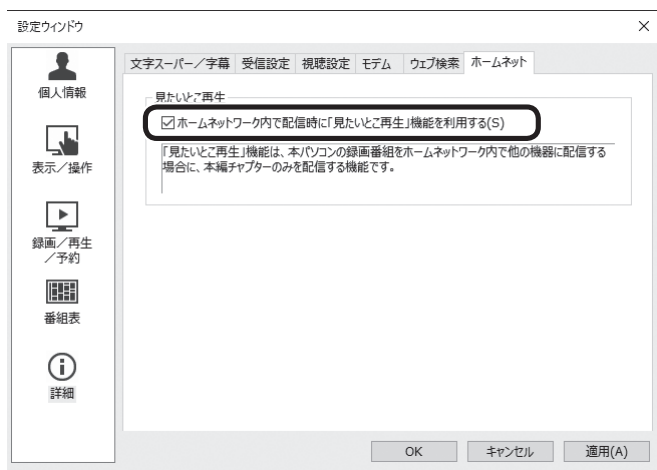
録画番組をほかの映像機器に配信するとき、「見たいとこ再生」機能を有効にして、本編チャプターだけを配信するように設定できます。

1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ホームネット」タブをクリック

3 「ホームネットワーク内で配信時に「見たいとこ再生」機能を利用する」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れる



4 「OK」をクリック

これで録画番組を配信するときの、「見たいとこ再生」機能が有効になりました。

ポイント

「見たいとこ再生」については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいとこ再生」)」をご覧ください。

ポイント

「ホームネットワーク内で配信時に「見たいとこ再生」機能を利用する」にチェックを入れても、このパソコンからネットワーク経由で録画番組をダビングするときは、番組全体のデータが転送されます。なお、受信側で表示される番組の再生時間やデータのサイズは、本編チャプターのみ時間やサイズになることがあります。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

インターネットを使って外出先から番組を楽しむ

リモート視聴について

このパソコンで録画した番組や放送中の番組*をインターネット経由で外出先に配信できます。別のパソコンやスマートデバイス(プレーヤー機器)を利用して、外出先から自宅にあるこのパソコンにアクセスして番組を楽しむことができます。
この機能を「リモート視聴」と呼びます。

リモート視聴が利用できるプレーヤー機器について

リモート視聴が利用できるプレーヤー機器、およびプレーヤーアプリやそれらが動作するパソコンやスマートデバイスについては、次のURLからご確認ください。
<https://www.nec-lavie.jp/products/common/taioukiki/>

リモート視聴するための準備

番組を外出先に配信するための準備を、事前にホームネットワーク上でおこなっておく必要があります。

■ リモート視聴するプレーヤー機器を登録する

外出先でリモート視聴する前に、使用するプレーヤー機器を宅内のホームネットワークに接続し、プレーヤー機器側からこのパソコンに登録する必要があります。
登録方法についてはご利用になるプレーヤーアプリのヘルプやマニュアルをご覧ください。

■ 外出先からこのパソコンを起動するときは(外出先からのリモートパワーオン)

リモート視聴をするために外出先からこのパソコンを起動する必要がある場合は、あらかじめ外出先からのリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))を許可する設定が必要です。
詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「は行」-「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」の、「宅外からのリモート視聴をおこなう場合の注意事項」をご覧ください。

ポイント

リモート視聴するときは、インターネット接続が必要です。

ポイント

- この登録の有効期間は最長3か月です。
- プレーヤー機器は6台まで登録できます。必要に応じて登録済みのプレーヤー機器を解除することもできます。
詳しくは「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「は行」-「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」の、「録画番組を宅外のプレーヤー機器から再生する場合の注意事項」をご覧ください。
- 複数のプレーヤー機器を登録している場合でも、一度にリモート視聴することができるのは1台のみです。

PART 5

テレビを
もっと
活用する

つぶやきプラスを活用する

ここでは、ツイッターを利用して、テレビをより楽しめる「つぶやきプラス」について説明します。

つぶやきプラスの主な機能

ここでは、つぶやきプラスで使う主な機能について説明します。

■ 視聴番組のツイートを表示する

つぶやきプラスでは、放送局ごとに設定されたハッシュタグを使って、今見ている番組に関連したツイートを抽出して表示します。さらに、任意のハッシュタグやキーワード、ツイッターIDをテーマタグとして追加することにより、目的に合った多くのツイートを表示させることができます。

詳しくは、「視聴番組のツイートを表示する」(p.120)をご覧ください。

ハッシュタグとは:

ツイート内容のキーワードや、要約した言葉の頭に「#」をつけた文字列です。ツイートの文中で、文字列の前後に半角スペースを入れることで、ハッシュタグとして認識されます。

■ 裏番組に関連するツイートを表示する

視聴可能なチャンネルごとに、最新のツイートを表示します。また、チャンネルごとのツイート数をバーで表示する「つぶやきメーター」機能で、今一番ツイートされている番組がわかります。

詳しくは、「裏番組のツイートを表示する」(p.124)をご覧ください。

■ つぶやきシーン検索

番組を録画するとき、その放送局に関連するツイートや、指定したテーマタグのツイートが同時に保存されるように設定できます。

つぶやきシーン検索では、キーワードを入力して録画した番組に保存されたツイートを検索できます。また、検索結果のツイートをダブルクリックすることで、ツイートされたシーンが再生されます。

詳しくは、「ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)」(p.125)をご覧ください。

■ リモート録画予約

外出先などから、つぶやきプラスにユーザー登録したツイッターIDで録画の内容をツイートしたり、ユーザー登録したツイッターID宛てに録画の内容をダイレクトメッセージで送ると、番組の録画予約ができます。

詳しくは、「ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)」(p.130)をご覧ください。

ポイント

ツイッターのサービス、用語について詳しくは、ツイッターの公式サイトのヘルプなどをご覧ください。

ダイレクトメッセージとは:

フォローしている人同士でのみ、やりとりができるメッセージのサービスです。メッセージの内容は、送った人と送り先の相手のみが見ることができます。

■ ツイッターの標準機能を使う

ツイッターの標準機能を使うことができます。

● ツイートする

ツイートとは、ツイッターの投稿、または投稿することで、「つぶやき」ともいいます。1ツイートの文字数は140文字以内です。つぶやきプラスでは、テレビを見ながらツイートすることができます。

詳しくは、「テレビを見ながらツイートを投稿する」(p.128)をご覧ください。

● 返信(リプライ)する

返信とは、特定の相手に対して投稿するツイートのことです。その相手のタイムラインと、その相手と自分(返信を送られた側と送った側)を両方フォローしている人のタイムラインにツイートが表示されます。ツイートの先頭に「@」に続けて相手のツイッターIDを入れて、半角スペースを空けて文章を書きます。

つぶやきプラスでは、自動的に「@」と「相手のツイッターID」、「本文」が入力エリアに入ります。詳しくは、「ツイートに返信する」(p.128)をご覧ください。

タイムラインとは:

自分のツイートやフォローしている人のツイートが新しいものから表示される一覧のことです。

フォローとは:

特定の相手のツイートが自分のタイムラインに表示されるよう、その相手を登録することです。

● リツイートする

リツイートとは、ほかの人が投稿したツイートを、自分をフォローしている人のタイムラインに表示させる機能です。

つぶやきプラスで、視聴中の番組の最新情報などを見つけたら、フォローしているみんなのタイムラインに表示させることができます。

詳しくは、「リツイートする」(p.129)をご覧ください。

● お気に入りに登録する

お気に入りとは、気に入ったツイートを登録しておく機能です。お気に入りに登録したツイートは、後でまとめて読み返すことができます。

つぶやきプラスで視聴者プレゼントのツイートなど、後で読み返したいツイートをお気に入りに登録しましょう。

詳しくは「ツイートをお気に入りに登録する」(p.129)をご覧ください。

ポイント

ご購入時の状態では、リツイート(自分のリツイートおよび他のユーザーのリツイート)は非表示になるよう設定されています。リツイートを表示するよう設定しなおすこともできます(p.134)。

つぶやきプラスを使う前の準備

つぶやきプラスを利用するときは、ツイッター ID(ツイッターのアカウント)をつぶやきプラスに登録してください。

■ はじめてつぶやきプラスを起動したときは

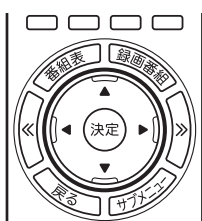
ここでは、つぶやきプラスの初期設定について説明します。はじめてつぶやきプラスを起動したときは、この説明にしたがって、つぶやきプラスにツイッター ID を登録してください。

ツイッター ID をお持ちでない場合は、操作の途中でツイッター ID を取得していただく必要があります。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

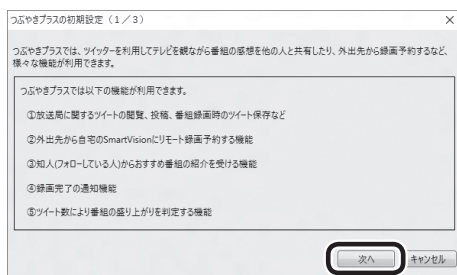
テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「 つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで【決定】を押す



「つぶやきプラスの初期設定」が起動し、つぶやきプラスでできることが表示されます。以降の操作はマウスでおこないます。

3 記載内容を確認し、「次へ」をクリック



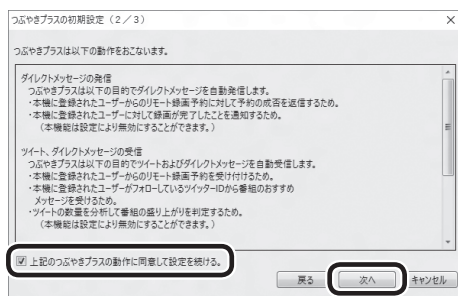
つぶやきプラスの動作についての確認画面が表示されます。

ポイント

つぶやきプラスはツイッターの機能を利用しているため、ツイッターの仕様に変更があったときは、使用する際の条件が変更になったり、一部の機能が使えなくなることがあります。

また、つぶやきプラスの画面で表示しているアイコン、機能名が、ツイッターで使用しているものと異なることがあります。

4 記載内容を確認し、同意する場合は下段のチェックボックスにチェックを入れて、「次へ」をクリック



ツイッター ID の登録画面が表示されます。

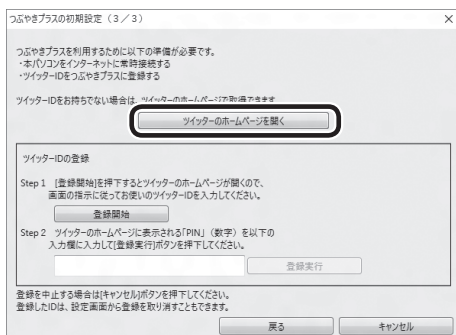
ツイッター ID をお持ちでない場合:

つぶやきプラスを使うときはツイッター ID が必要です。手順5に進んでツイッター ID を取得してください。

すでにツイッター ID をお持ちの場合:

そのまま手順6に進んでください。

5 「ツイッターのホームページを開く」をクリック



ツイッターのホームページが表示されます。ホームページの画面の指示にしたがって、名前、ユーザー名、パスワード、メールアドレスを入力します。

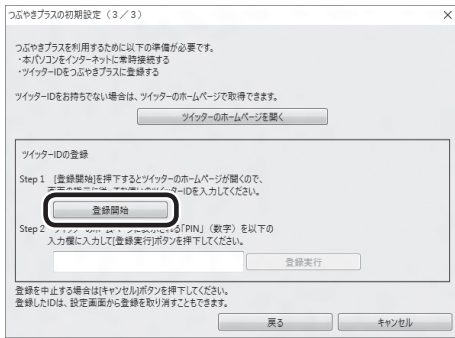
ホームページでの操作は、マウスとキーボードでおこないます。

取得が終わったら、をクリックしてホームページの画面を閉じます。

ポイント

ここで登録するユーザー名とパスワードは、つぶやきプラスにツイッター ID を登録する際に使います。

6 「登録開始」をクリック

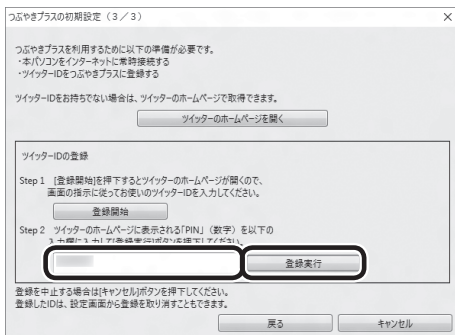


ツイッターのホームページ(連携アプリ認証画面)が表示されるので、ツイッター ID(ユーザー名)とパスワードを入力します。

7 「連携アプリを認証」をクリック

ツイッターのホームページに、PIN(数字)が表示されます。

8 表示されたPIN(数字)をツイッター ID登録画面の入力欄に入力して、「登録実行」をクリック



「登録しました」というメッセージが表示されます。

9 「OK」をクリック

これでつぶやきプラスの初期設定は完了です。

登録が終わったら、をクリックしてホームページの画面を閉じます。

■ ツイッター IDを追加登録する

つぶやきプラスには、複数のツイッター IDを登録することができます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック



ユーザー設定画面が表示されます。

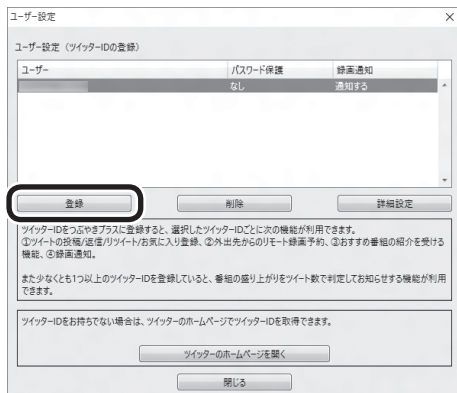
👉 ポイント

複数のツイッター IDを登録することもできます。詳しくは次の「ツイッター IDを追加登録する」をご覧ください。

👉 チェック

ツイッターのホームページを開いている場合は、画面を閉じてから登録をおこなってください。

2 「登録」をクリック



Twitter ID登録画面が表示されます。

3 「登録開始」をクリック

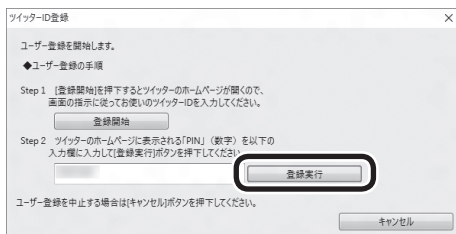


Twitterのホームページ(連携アプリ認証画面)が表示されるので、Twitter ID(ユーザー名)とパスワードを入力します。

4 「連携アプリを認証」をクリック

Twitterのホームページに、PIN(数字)が表示されます。

5 表示されたPIN(数字)をTwitter ID登録画面の入力欄に入力して、「登録実行」をクリック



「登録しました」というメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリック

7 「閉じる」をクリック

これで、つぶやきプラスにツイッター ID を登録できました。
登録が終わったら、 をクリックしてホームページの画面を閉じます。

■ 登録したツイッター ID を削除する

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック



ユーザー設定画面が表示されます。

2 削除するツイッター ID を選んで「削除」をクリック

確認のメッセージが表示されます。

3 「OK」をクリック

つぶやきプラスからツイッター ID が削除されました。
すべてのツイッター ID を削除しようとする、確認のメッセージが表示されます。

つぶやきプラスを利用するにはツイッター ID が必要です。このため、ツイッター ID をすべて削除したときは、つぶやきプラスが自動的に終了します。また、次につぶやきプラスを起動したときには、「つぶやきプラスの初期設定」が表示されます。

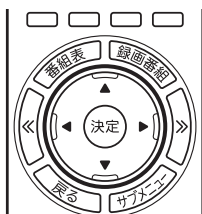
つぶやきプラスの基本操作

■ つぶやきプラスを起動する

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「 つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで[決定]を押す



つぶやきプラスのツイート表示画面、ツイート投稿画面が表示されます。



ツイート投稿画面: 自分のツイートを入力します。

ツイート表示画面: 番組に関連したツイートやおすすめ番組のダイレクトメッセージが表示されます。

■ ツイッター ID を切り換える

つぶやきプラスには複数のツイッター ID を登録することができます。必要に応じてツイッター ID を切り換えてください。

1 ツイート投稿画面のツイッター ID をクリック

登録されているツイッター ID の一覧が表示されます。



ポイント

- つぶやきプラスをはじめて起動したときは、「つぶやきプラスの初期設定」が起動します。「はじめてつぶやきプラスを起動したときは」(p.112)をご覧ください、設定をおこなってください。
- ツイートするときや設定の変更などをするときは、マウスやキーボードを使って操作してください。

2 切り換えるツイッター IDをクリック

ツイッター IDが切り換わります。

なお、ここで機能の「ロック」に関するメッセージが表示されたときは、内容を確認して「OK」をクリックしてください。ロックについては、次の「ツイッター IDをロックする」をご覧ください。

■ つぶやきプラスを終了する


1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで[決定]を押す

つぶやきプラスが終了します。

ポイント

ツイート表示画面右上のをクリックして終了させることもできます。

Twitter IDをロックする

ツイッター IDを選び、ツイートなどの機能をロック(禁止)することができます。

次の機能をロックできます。

- ・ ツイートする
- ・ 返信(リプライ)する
- ・ リツイートする
- ・ お気に入りに登録する
- ・ お気に入りを読む
- ・ おすすめ番組を利用する

■ ロック用のパスワードの設定

ロックの機能を使うときは、あらかじめツイッター IDごとにロック用のパスワードを設定しておく必要があります。

パスワードはロックを解除する際に入力します。また、このパスワードを設定していないと、ロックするためのボタンが表示されません。

ロック用のパスワードの設定について詳しくは、このPARTの「ロック用のパスワードを設定する」(p.132)をご覧ください。

■ ロックするときは

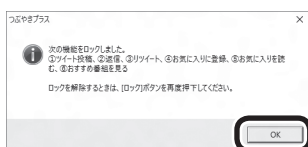
1 「ツイッター IDを切り換える」(p.117)の操作で、ロックするツイッター IDを選ぶ

2 ツイッター IDの下に表示された「ロック」をクリック



ロックしたことを知らせるメッセージが表示されます。

3 「OK」をクリック



選択したツイッター IDでの操作がロックされました。

■ ロックを解除するときは

1 「ツイッター IDを切り換える」(p.117)の操作で、ロックされているツイッター IDを選ぶ

2 ツイッター IDの下に表示された「ロック」をクリック

パスワードの入力を促すメッセージが表示されます。

3 キーボードでパスワードを入力し、「OK」をクリック

ロックが解除されたことを知らせるメッセージが表示されます。

4 「OK」をクリック

ポイント

ロック用のパスワード(p.132)が設定されていないツイッター IDには、「ロック」が表示されません。

ポイント

ロックされている機能を使おうとすると、「この機能はロックされています」というメッセージが表示されます。

ポイント

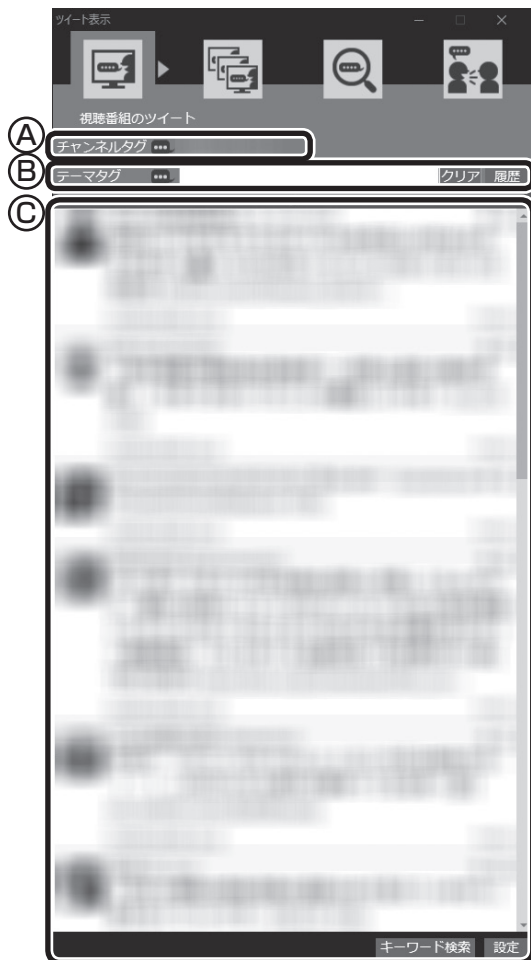
ロックの状態は他の操作をおこなっても保持されます。たとえば、ロックを解除してつぶやきプラスを終了した場合は、次につぶやきプラスを起動したときもロックは解除されたままです。また、ロックを解除して別のツイッター IDに切り換え、またもとのツイッター IDに戻したときも、ロックは解除されたままです。

視聴番組のツイートを表示する

視聴中の番組に関連したツイートが表示されます。番組の進行にあわせて自動更新されます。また、タイムシフト再生時や録画再生時には、再生中の番組が放送された時間に投稿されたツイートを読むことができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。



- ① チャンネルタグ(視聴中の放送局のハッシュタグ)が表示されます。放送局によってはふたつのチャンネルタグが表示されることがあります。
- ② テーマタグ(キーワードやハッシュタグ)を入力してツイートを検索し、一致したツイートを追加して表示できます。詳しくは、「テーマタグに一致したツイートを追加表示する」(p.121)をご覧ください。
- ③ ツイートが表示されます。右側のスクロールバーで画面をスクロールすることができます。
録画番組を再生しているときなどに、ツイートをダブルクリックするとツイートが投稿されたときのシーンに移動できます。詳しくは「ツイートが投稿されたときのシーンに移動する」(p.121)をご覧ください。

チェック

視聴中の放送局にハッシュタグが設定されていない場合は、ツイートが表示されません。ハッシュタグの設定について詳しくは、「ハッシュタグを設定する(チャンネルタグ1)」(p.135)をご覧ください。

ポイント

録画再生時にツイートを表示するには、「録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する」(p.134)でツイートを保存する設定をおこなってください。

ポイント

チャンネルタグやテーマタグの左側のアイコン(⋮)をクリックして \times にすると、それぞれのタグを無効にすることができます。なお、両方のタグを無効にしたり、テーマタグになにも入力されていないときにチャンネルタグを無効にすると、ツイートが表示されなくなります。また、どちらか一方のタグを無効にしたとき、もう一方のタグに関連したツイートの取得状況によっては、ツイートが表示されないことがあります。

ポイント

ツイートをを選び、その相手に返信(リプライ)することができます。詳しくは「ツイートに返信する」(p.128)をご覧ください。

■ ツイートが投稿されたときのシーンに移動する

放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや録画番組を再生しているときは、表示されているツイートをダブルクリックすると、そのツイートが投稿されたときのシーンに移動できます。ドラマの出演者名や旅番組の観光地名などのツイートから、気になるシーンを見つけることができます。

■ テーマタグに一致したツイートを追加表示する

テーマタグとは、ツイートの検索用として追加で設定できるハッシュタグやキーワード、ツイッターIDのことです。視聴中のチャンネルに関するツイートとは直接関係ない話題についても、自由に設定することができます。

テーマタグ入力欄にテーマタグを追加すると、視聴中のチャンネルに関するツイート(チャンネルタグによって検索されたツイート)と、テーマタグによって検索されたツイートが同時に表示されます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 「テーマタグ」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードやハッシュタグを入力する

3 [Enter]を押す

視聴中の番組に関連したツイート(チャンネルタグに対応したツイート)に加えて、入力したキーワードまたはハッシュタグが含まれたツイートが表示されます。

● ツイートからテーマタグを入力する

選択したツイートに含まれるハッシュタグや、ツイートしたユーザーのツイッターIDを、テーマタグとして入力することができます。

1 視聴番組のツイート画面が表示されているとき、次のいずれかのツイートを右クリック

- ・テーマタグに入力したいハッシュタグが含まれているツイート
- ・テーマタグに入力したいユーザーのツイート

2 表示されたサブメニューで「テーマタグを選択」をクリックし、テーマタグに入力したいハッシュタグまたはツイッターID(@なし)をクリック

「テーマタグ」をクリックしたハッシュタグまたはツイッターIDが入力されます。

● 録画用のテーマタグを設定する

放送中の番組を視聴しているときは、「履歴」に残っているテーマタグから、録画用のテーマタグを選択することができます。録画用のテーマタグがついたツイートは、録画するとき、チャンネルタグがついたツイートとともに保存されます。

🔍 チェック

録画再生時は、テーマタグに新しいキーワードやハッシュタグを追加することはできません。

📌 ポイント

- 半角スペースを入れて、複数のキーワードやハッシュタグを指定することもできます。この場合は、いずれかのキーワードまたはハッシュタグを含むツイートが検索対象になります(OR検索)。
- 「履歴」をクリックするといままでに入力したキーワードやハッシュタグの一覧が表示されます。表示されたキーワードやハッシュタグをダブルクリックして、「テーマタグ」の入力欄に追加できます。
- テーマタグはチャンネルを切り換えてもそのまま残ります。消去するときは「クリア」をクリックしてください。
- テーマタグ入力欄に「#」以外の記号を入力すると、ツイートを正しく取得できない場合があります。

📌 ポイント

左側に赤い●が表示されているのが録画用のテーマタグです。

1 視聴番組のツイート画面が表示されているとき、「履歴」をクリック

履歴の一覧が表示されます。

2 録画用に指定したいテーマタグをクリック

テーマタグの左側に赤い○が表示されます。

3 テーマタグの左側の○をクリック

○が●に切り換わります。必要に応じてこの操作を繰り返し、ほかの録画用のテーマタグを指定してください。

ポイント

「履歴」に適切なテーマタグが残っていないときは、「テーマタグに一致したツイートを追加表示する」(p.121)の操作でテーマタグを入力してください。

ポイント

- 録画用のテーマタグを解除するときは、●をクリックして○にしてください。
- 手順2の操作で、テーマタグの右側にはゴミ箱のアイコンが表示されます。これをクリックすると履歴の一覧からテーマタグを削除することができます。
- 録画用のテーマタグは複数指定することができますが、登録できるタグの文字数の合計は140文字までです。

■ 視聴中の番組のツイートを検索する

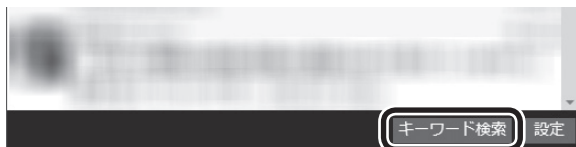
キーワードを入力して、視聴している番組のツイートを検索することができます。

放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや、録画した番組を再生しているときは、検索したツイートが投稿されたシーンに移動して視聴することができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 「キーワード検索」をクリック



ツイートの一覧の下に、「キーワード」の入力欄が表示されます。

3 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力して[Enter]を押す



4 「上に検索」または「下に検索」をクリック

いま選択されているツイートの上(投稿が新しい)または下(投稿が古い)にあるツイートが検索され、表示されます。



放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや、録画した番組を再生しているときは、検索されたツイートをダブルクリックすると、そのツイートが投稿されたシーンに移動して視聴することができます。

5 「検索終了」をクリック

「キーワード」の入力欄が閉じます。

ポイント

半角スペースで区切って複数のキーワードを入力することもできます。この場合は、いずれかのキーワードを含むツイートが検索対象となります(OR検索)。

ポイント

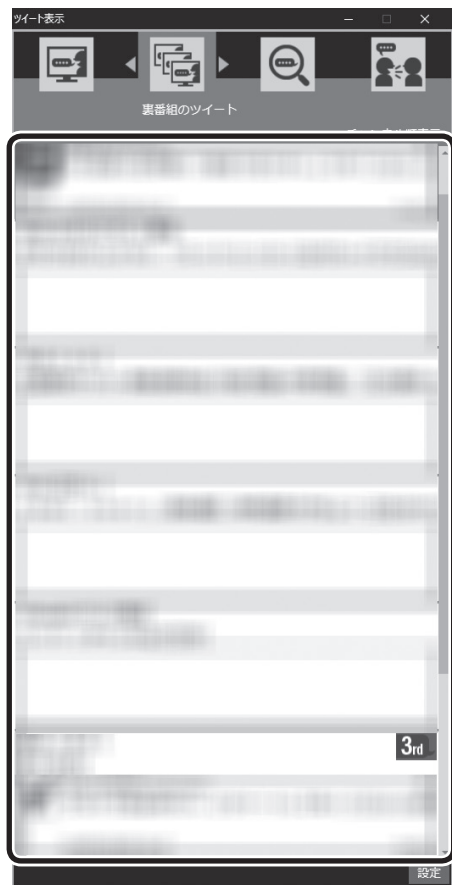
入力したキーワードに一致するツイートが見つからなかったときは、「ツイートが見つかりませんでした」と表示されます。必要に応じて、別のキーワードを入力して検索しなおしてください。

裏番組のツイートを表示する

視聴可能なチャンネルごとに、最新のツイートを表示します。ツイートを選択するとそのチャンネルに切り換えることができます。

1 「裏番組のツイート」タブをクリック

裏番組も含めたツイートの画面が表示されます。



ツイートを選んでダブルクリックすると、そのツイートに関連するチャンネルに切り換わります。

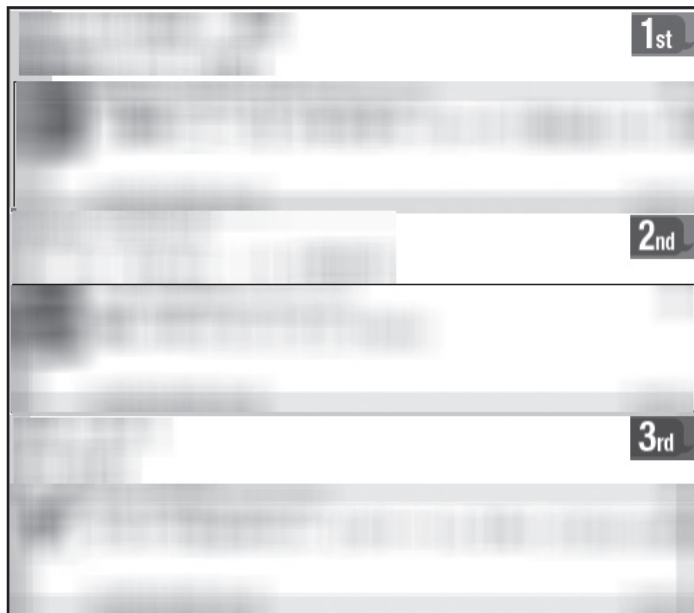
ポイント

- 視聴している放送波の裏番組（例：地上デジタル視聴中は地上デジタルの裏番組）のみを表示します。
- 録画番組を再生しているときには「裏番組のツイート」タブが選択できません。
- ハッシュタグが設定されていない放送局では、ハッシュタグが未設定であることが表示されます。
- 「裏番組のツイート」タブを表示しているとき、ほかのアプリを起動すると、テレビの映像が乱れることがあります。

■ 話題の裏番組をチェックする(つぶやきメーター)

それぞれのツイートの背景に、その放送局に対するツイートを表示するバーが表示されます。

これを「つぶやきメーター」と呼びます。



バーが長いほどたくさんのツイートが投稿されています。「つぶやきメーター」で話題の裏番組をチェックしましょう。

📌ポイント

- 5分ごとに最大200のツイートを取得し、放送局ごとのツイートをカウントしてバーを表示します。
- ツイートの数が多い順に、1位から3位までの順位を表すアイコン(1st、2nd、3rd)が表示されます。
- ツイートが100件でバーが最長(右端に到達)となります。もし100件を超えた場合でも、バーの長さはそれ以上変化しません。
- チャンネルタグの設定(p.135)で「チャンネルタグ2」を設定したときは、タグ1(チャンネルタグ1)のツイート数が緑色のバーで、タグ2(チャンネルタグ2)のツイート数がピンク色のバーで、それぞれ表示されます。

📌 ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)

すべての録画番組からツイートを検索して、そのツイートが投稿されたシーンを再生することができます。たくさんの録画番組からお目当てのシーンを探すとき便利です。

■ 録画された番組のツイートを検索する

番組を録画するとき、その番組に投稿されたツイートも同時に保存するように設定できます。

キーワードを入力して、録画番組に関するツイートを検索できます。また、検索したツイートが投稿されたときのシーンから、該当する番組を再生することができます。

1 「つぶやきシーン検索」タブをクリック

2 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力して[Enter]を押す



📌ポイント

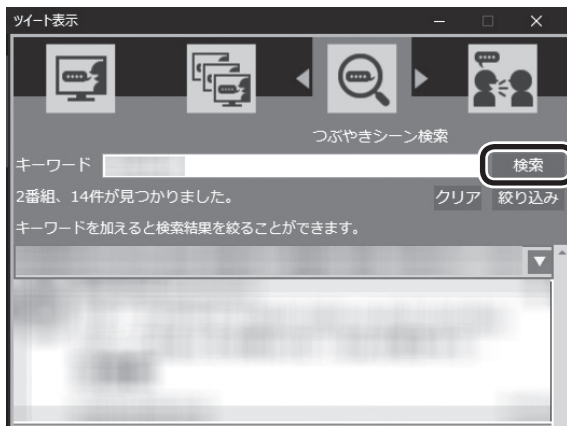
録画する番組に関するツイートを保存するときは、「録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する」(p.134)でツイートを保存する設定をおこなってください。

📌ポイント

- 半角スペースで区切って複数のキーワードを入力することもできます。この場合は、すべてのキーワードを含むツイートが検索対象となります(AND検索)。
- 「絞り込み」をクリックすると、より詳細な条件(録画番組、録画日、ジャンル)を追加設定することができます。

3 「検索」をクリック

キーワードが含まれるツイートが番組ごとに表示されます。



4 目的のツイートをダブルクリックする

そのツイートが投稿されたときのシーンから、録画番組の再生が始まります。

特定のツイートを非表示にする

ツイッターIDやキーワードを指定して、ツイートが表示されないように設定することができます。

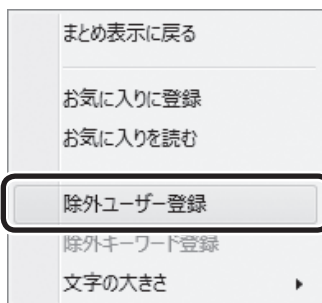
■ ツイッターIDを指定してツイートを非表示にする

ここでは「つぶやきシーン検索」タブでの操作を例に説明します。

1 「録画された番組のツイートを検索する」(p.125)の手順1～手順3の操作をおこなう

検索されたツイートが表示されます。

2 表示させたくないツイッターIDのツイートを右クリックし、表示されたメニューで「除外ユーザー登録」をクリック



3 「OK」をクリック

指定したツイッターIDのツイートが非表示になります。

ここで指定したツイッターIDは「設定」画面の「除外登録」タブ(p.136)に追加され、「つぶやきシーン検索」タブ以外のタブにも表示されなくなります。

ポイント

- 検索されたツイートがひとつの番組に複数あるときは、番組ごとにまとめて表示されます。右端の▼をクリックすると個々のツイートが表示されます。まとめた状態に戻りたいときは、▲をクリックするか、右クリックして表示されたメニューで「まとめ表示に戻る」をクリックしてください。
- キーワードをクリアするときは「クリア」をクリックしてください。

ポイント

- 「視聴番組のツイート」タブでも、同様の操作で指定したツイッターIDのツイートを非表示にすることができます。
- 「設定」画面の「除外登録」タブでも、特定のツイッターIDのツイートを非表示にするよう設定(除外ユーザー登録)することができます(p.136)。

■ キーワードを指定してツイートを非表示にする

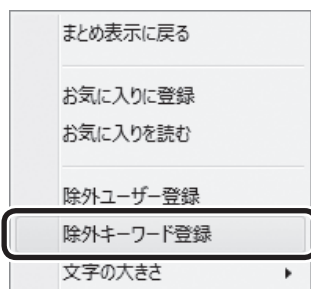
ここでは「つぶやきシーン検索」タブでの操作を例に説明します。

1 「録画された番組のツイートを検索する」(p.125)の手順 1～手順3の操作をおこなう

検索されたツイートが表示されます。

2 キーワードとして指定する文字列をドラッグして選ぶ

3 選択した文字列を右クリックし、表示されたメニューで「除外キーワード登録」をクリック



4 「OK」をクリック

指定したキーワードが含まれるツイートが非表示になります。

ここで指定したキーワードは「設定」画面の「除外登録」タブ (p.136)に追加され、「つぶやきシーン検索」タブ以外のタブにも表示されなくなります。

ポイント

- 「視聴番組のツイート」タブでも、同様の操作で指定したキーワードが含まれるツイートを非表示にすることができます。
- 「設定」画面の「除外登録」タブでも、特定のキーワードが含まれるツイートを非表示にするよう設定(除外キーワード登録)することができます(p.136)。

■ おすすめ番組を利用して録画予約する

つぶやきプラスに登録したツイッターIDに対して送られたおすすめ番組のダイレクトメッセージを、時系列に並べて表示します。

- ダイレクトメッセージを選択すると、記載されているおすすめ番組を検索し、そのまま録画予約できます。
- おすすめ番組のダイレクトメッセージとは、リモート録画予約(p.130)と同じ書式で、ほかのツイッターIDからつぶやきプラスに登録しているツイッターID宛てに送信されたダイレクトメッセージのことです。

1 「おすすめ番組」タブをクリック

おすすめ番組のダイレクトメッセージが表示されます。

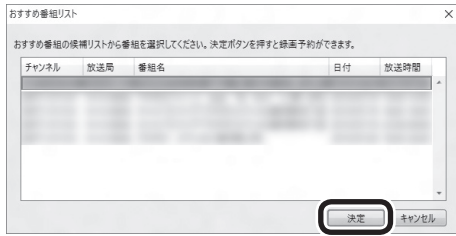
ポイント

「ツイート／ダイレクトメッセージを取得できませんでした。ツイッターが混雑しているなどの問題が考えられます。」といったメッセージが表示されたときは、15分ほど時間をおいてからあらためて「おすすめ番組」タブをクリックしてください。

2 ダイレクトメッセージを選んでダブルクリック

おすすめ番組リストが表示されます。

3 録画予約したい番組をクリックし、「決定」をクリック



4 予約内容を設定し、「はい」をクリック

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

5 「閉じる」をクリック

録画予約の画面が表示されたダイレクトメッセージは、背景の色が変更されます。また、SmartVisionを終了したときに削除されます。

● チェック

おすすめ番組のダイレクトメッセージは、録画予約しない場合、送られた日を含め8日間表示されます。

👉 ポイント

予約内容の設定などについては、『テレビを楽しむ本 基本編』の「おてがる予約をする」も合わせてご覧ください。

テレビを見ながらツイートを投稿する

1 ツイート入力欄をクリックして、キーボードでツイートを 入力する



視聴中の放送局のハッシュタグは自動で入力されます。

2 入力が終わったら、「ツイートする」をクリック

ツイートが投稿されます。

■ ツイートに返信する

表示されているツイートを選び、その相手に返信(リプライ)することができます。

1 返信したいツイートの👉をクリック

ツイート投稿画面のツイート入力欄に、選択したツイートの内容が、次の書式で入力されます。

@相手のツイッター ID: ツイート本文

2 ツイートを編集し、「ツイートする」をクリック

返信のツイートが投稿されます。

● チェック

ツイッター IDを切り換えるときは、このPARTの「ツイッター IDを切り換える」(p.117)をご覧ください。

👉 ポイント

- あと何文字入力できるかは、「ツイートする」の右側に表示されます。
- 視聴番組のツイートを表示している状態で「テーマタグ」が入力されているときは、放送局のハッシュタグとともに、テーマタグも自動入力されます。

● チェック

ツイート入力欄の「@相手のツイッター ID:」を削除して投稿したときは、相手への返信ではなく通常のツイートとして投稿されます。ご注意ください。

■ リツイートする

選択したツイートをリツイートすることができます。

1 リツイートしたいツイートの をクリック

リツイートするかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「OK」をクリック

これで選んだツイートがリツイートされました。

■ ツイートをお気に入りに登録する

気に入ったツイートをお気に入りに登録することができます。お気に入りに登録したツイートは、後で読み返すことができます。

1 お気に入りに登録したいツイートの をクリック

お気に入りに登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「OK」をクリック

これで選んだツイートがお気に入りに登録されました。

■ 登録されたお気に入りを読む

登録されたお気に入りを読み返すときは、右クリックして表示されたメニューで「お気に入りを読む」をクリックしてください。

お気に入りはツイッターのホームページに表示されます。ツイッターのホームページにツイッターID(ユーザー名)とパスワードの入力欄が表示されたときは、画面のメッセージにしたがって操作してください。

■ 文字のサイズを変更する

表示されるツイートの文字のサイズを設定できます。

1 ツイート表示画面でツイートまたはダイレクトメッセージを選択し、右クリック

サブメニューが表示されます。

2 「文字の大きさ」をクリックし、文字サイズを選んでクリック

ポイント

ご購入時の状態では、リツイート(自分のリツイートおよび他のユーザーのリツイート)は非表示になるよう設定されています。リツイートを表示するよう設定しなおすこともできます(p.134)。

ポイント

お気に入りに登録したいツイートを右クリックし、表示されたメニューで「お気に入りに登録」をクリックしてお気に入りに登録することもできます。

ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)

つばやきプラスでは、ツイッターを使って録画予約をすることができます。

スマートデバイスなどを使って外出先から録画予約できるこの機能を「リモート録画予約」といいます。

■ 番組の録画予約をする

次の操作で番組の録画予約ができます。

- ・つばやきプラスに登録したツイッター ID で録画の内容をツイートする
- ・つばやきプラスに登録したツイッター ID から、同じツイッター ID (自身)宛てにダイレクトメッセージで録画の内容を送る

いずれも決まった書式で録画の内容を入力する必要があります。

■ 録画予約するときの書式について

次のどちらかの基本書式で入力してください。基本書式は省略できません。すべての項目を入力してください。

基本書式1: 番組名のみを指定するシンプルな書式です。

録画「XX」

番組名

基本書式2: 番組名がわからないときは放送日時とチャンネルを指定します。

録画 △ 日「2017/07/15」 △ 時「19:00」 △ 「地デジ△011」

日付

開始時刻

放送局

※:△は半角スペースもしくは全角スペースを表しています。

基本書式に画質や予約優先度などの情報を追加することもできます。

追加例:

録画「XX」 △ 時「19:00」 △ 画質「ファイン」 △ 優先「高」

番組名

開始時刻

画質

予約優先度

項目	入力する書式	
	録画	録画予約の場合は、必ず先頭に“録画”と入力します。
番組名	「」内に番組名を入力 (取得した番組表に掲載されている番組名と同じ番組名を入力した場合、ほかの情報の入力は不要)	・ 番組名を入力する場合は、必ず“録画”の次に入力します。 ・ 日付、開始時刻、放送局(放送波名 チャンネル番号)が正しく入力されている場合は、番組名が省略されていても録画予約されます。
日付	日「yyyy/mm/dd」 日「yyyy年mm月dd日」 (*日)に続き、「」内に録画する日付を入力)	・ yyyy→yy, mm→m, dd→dで入力することも可能です。
開始時刻	時「hh:mm」 時「hh時mm分」 (*時)に続き、「」内に番組開始時刻を入力)	・ 番組の開始時刻を入力してください。 ・ 時刻(hh)は24時間表示で入力します。
画質	画質「ダイレクト」 画質「ファイン」 画質「ファインロング」 画質「セミファインロング」 画質「ロング」 画質「スーパーロング」 (*画質)に続き「」内に録画モードを入力)	・ 画質は必ず全角で入力してください。 ・ 入力した画質で録画が予約されます。 入力を省略した場合は、あらかじめ設定されている画質で録画されます。あらかじめ設定されている画質については、「録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする」(p.133)をご覧ください。
放送局	「地デジ XXX」 「BS XXX」 「CS XXX」 (XXXの部分にチャンネル番号(リモコン番号もしくは3桁番号)を入力)	・ 放送波(地デジ、BS、CS)は必ず入力してください。 ・ チャンネル番号(XXXの部分)は省略できます。 ・ 放送波名とチャンネル番号の間にはスペース(半角もしくは全角)を入力してください。



● リモート録画予約として送ったダイレクトメッセージやツイートは、送った日を含め8日間有効です。

● あらかじめリモート録画予約の受け付け設定(p.134)を有効にしてください。

項目	入力する書式	
予約優先度	優先「高」	<ul style="list-style-type: none"> 予約優先度を入力すると、ほかの予約と重複している場合でも優先的に予約され、代わりに重複していた予約が削除されます(ただし、優先度を上げても、必ず予約できるとはかぎりません)。 入力を省略した場合は、おまかせ録画/新番組おまかせ録画よりは優先度が高くなりますが、ほかの予約よりは低くなります。

※録画予約をするには、下記のAとBのどちらかを入力する必要があります。

A.録画と番組名

B.録画と日付、開始時刻、放送局(放送波とチャンネル番号)

録画予約が登録されると、投稿したツイッター IDへ予約したことを通知するダイレクトメッセージが送られます。

予約時間の重複や、番組が存在しないなどの理由で録画予約ができなかった場合も、理由とともにダイレクトメッセージで通知します。また、録画が完了したことも、ダイレクトメッセージで通知します。

ダイレクトメッセージによる通知の設定は、ツイッター IDごとに設定できます。詳しくは「録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする」(p.133)をご覧ください。

■ リモート録画予約の注意事項

- パソコンが起動しているとき、リモート録画予約を受信してから予約が登録されるまで最大で約5分かかります。このため、番組の開始時刻がリモート録画予約を送信した時刻に近いとき、予約できないことがあります。
- リモート録画予約を受け付ける時刻の設定(p.134)でパソコンを自動起動させているときは、パソコンが起動する時間に加え、上で説明しているリモート録画予約を登録する時間が必要になります。このため、番組の開始時刻がパソコンを自動起動させる時刻に近いとき、予約できないことがあります。

ポイント

SmartVisionがツイートを取得して録画予約が登録されると、該当するツイートとダイレクトメッセージは自動的に削除されます。

ツイートの多い番組をお知らせする機能について(盛り上がり通知)

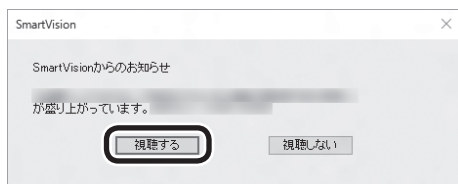
つぶやきプラスには、ツイッターのサーバーに定期的にアクセスして投稿内容を分析し、盛り上がっている番組(ツイートの投稿数が多い番組)があるときは、メッセージを表示してお知らせする機能があります。これを「盛り上がり通知」と呼びます。

チェック

- この機能を使うかどうか、また通知する際の基準などについて、設定を変更することができます。詳しくはこのPARTの「盛り上がり通知を設定する」(p.137)をご覧ください。
- SmartVisionが起動していないときも話題の番組をチェックすることができます。

■ デスクトップにメッセージが表示されたときは

表示された番組を視聴するときは、「視聴する」をクリックしてください。



ポイント

- SmartVisionが起動していないときは自動的に起動します。
- 「盛り上がり通知」のトーストやメッセージは、数秒間表示されたあと、自動的に消えます。

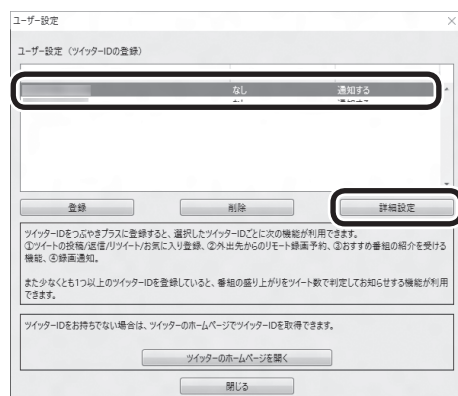
■ 一歩すすんだつぶやきプラスの設定

■ ロック用のパスワードを設定する

ツイッターIDごとに、ツイートなどの機能をロック(禁止)するためのパスワードが設定できます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック

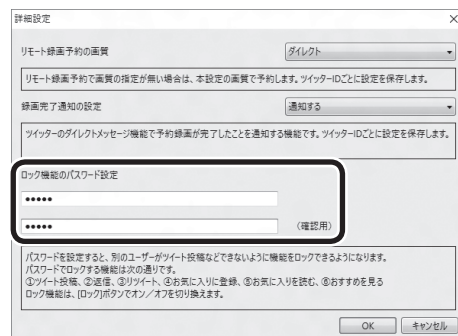
2 パスワードを設定したいツイッターIDをクリックし、「詳細設定」をクリック



ポイント

すでにパスワードが設定されているときは、パスワードの入力を促すメッセージが表示されます。パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。

3 設定するパスワードを、パスワード入力欄と確認用のパスワード入力欄に入力



ポイント

ロック用のパスワードは「詳細設定」を保護するためのパスワード(p.133)と共用です。

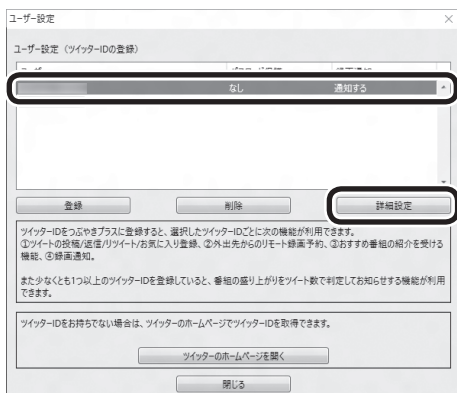
4 「OK」をクリック

■ 録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする

ツイッター IDごとに、録画完了の通知を受け取る設定や、リモート録画予約で録画するときの画質の設定をおこないます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック

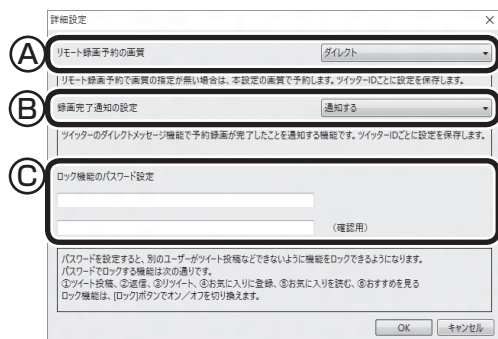
2 設定を変更したいツイッター IDをクリックし、「詳細設定」をクリック



ポイント

すでにパスワードが設定されているときは、パスワードの入力を促すメッセージが表示されます。パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。

3 各項目の設定をおこなう



- ① リモート録画予約で録画するときの画質を設定します。録画予約のツイートまたはダイレクトメッセージで画質が記載されているときは、ツイートまたはダイレクトメッセージに記載の画質が優先となります。
- ② 録画が完了したときに、ダイレクトメッセージで通知するかどうかを設定します。
- ③ 「詳細設定」を保護するためのパスワードを設定できます。設定するパスワードを、パスワード入力欄と確認用のパスワード入力欄に入力してください。
なお、このパスワードはロック用のパスワード(p.132)と共用です。

4 「OK」をクリック

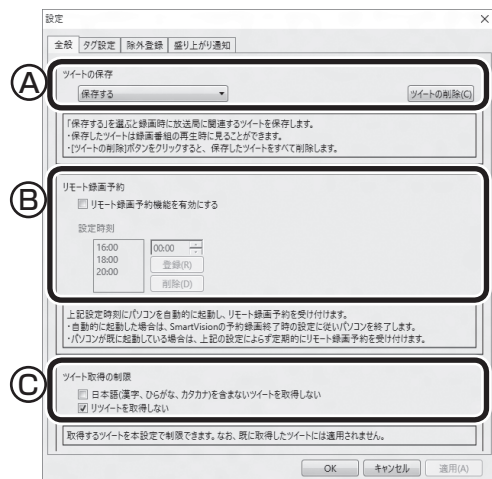
■ 録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する

次の3つの項目について設定します。

- ・録画するときのツイートを保存するかどうか
- ・リモート録画予約を受け付けるかどうか、および受け付けする時刻
- ・日本語を含まないツイートや、リツイートを表示するかどうか

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「全般」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう



- 録画しているときに、録画しているチャンネルのツイートを保存するかどうかを選択します。保存したツイートは、録画した番組を再生するときに表示することができます。
なお、「ツイートの削除」をクリックすると、それまでに保存されていたツイートがすべて削除されます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなうかどうか設定します。おこなうときはチェックボックスにチェックを入れてください。
また、リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻を追加して設定できます。ご購入時には「16:00」「18:00」「20:00」が設定されています。追加するときは、時刻を入力して「登録」をクリックしてください。
- 日本語を含まないツイートや、リツイートを、つぶやきプラスで取得し表示するかどうか設定できます。日本語以外の言語のツイートを非表示にしたいときや、リツイートを表示したいとき、必要に応じて設定を変更してください。

3 「OK」をクリック

ポイント

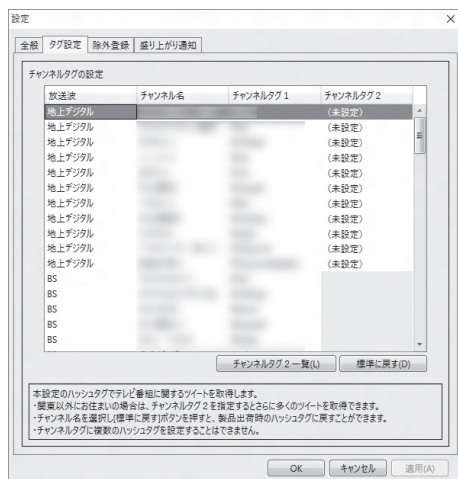
- 録画番組に投稿されたツイートが保存されているときは、録画番組一覧にツイッターアイコンとツイートの件数が表示されます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻は50件まで設定できます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻を削除するときは、時刻をクリックして選び、「削除」をクリックしてください。
- ハッシュタグの日本語は判断の対象外となります。また、全角のアルファベットや記号は日本語と判断されません。
- ご購入時の状態では、日本語を含まないツイートが表示されるよう、また、リツイートは非表示となるよう設定されています。

■ ハッシュタグを設定する(チャンネルタグ1)

チャンネルタグ(チャンネルごとに設定してあるハッシュタグ)の設定や変更をすることができます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「タグ設定」タブをクリック

2 設定するチャンネルのチャンネルタグ1(設定されていない場合は「未設定」)をダブルクリックし、キーボードでハッシュタグを入力する



チャンネル名またはハッシュタグをクリックし、「標準に戻す」をクリックすると、あらかじめ設定されているハッシュタグに戻ります。

3 「OK」をクリック

●チャンネルタグ2を設定する

ローカル局(お住まいの地域の放送局)のハッシュタグが「チャンネルタグ1」に登録されているとき、民放キー局のハッシュタグを「チャンネルタグ2」に設定すると、より多くのツイートを表示することができます。

設定するときは、「(未設定)」をダブルクリックして、▼をクリックし、表示されたメニューからハッシュタグを選んでください。

●チャンネルタグ2を設定するときに表示されるハッシュタグは、「チャンネルタグ2一覧」をクリックして編集することができます。

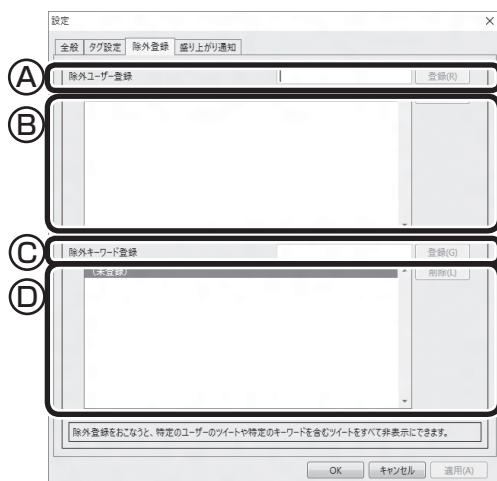
●ツイートの保存(p.134)で「保存する」が選択されているときは、番組の録画時に「チャンネルタグ2」のツイートも保存されます。

■ 特定のツイッター IDやキーワードを含んだツイートを非表示にする

ツイートを表示させたくないツイッター IDやキーワードを設定できます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「除外登録」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう



- ① ツイートを表示させたくないツイッター IDを入力して「登録」をクリックします。
- ② 登録されたツイッター IDが表示されます。ツイッター IDを削除するときは、削除するツイッター IDを選択して「削除」をクリックします。
- ③ ツイートを表示させたくないキーワードを入力して「登録」をクリックします。
- ④ 登録されたキーワードが表示されます。キーワードを削除するときは、削除するキーワードを選択して「削除」をクリックします。

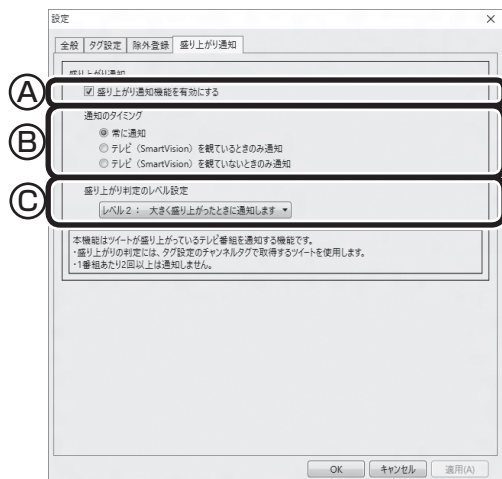
3 「OK」をクリック

■ 盛り上がり通知を設定する

盛り上がり通知の機能を使うかどうか、また通知する際の基準などについて、設定を変更することができます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「盛り上がり通知」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう



- ① 盛り上がり通知の機能を使うかどうか設定します。この機能を使うときはクリックしてチェックマークを付けてください。
- ② SmartVisionがどの状態のときに盛り上がり通知の機能を使うか設定します。ご購入時は、「常に通知」が選択されています。
- ③ 通知する際の基準となる盛り上がりのレベルを設定します。

3 「OK」をクリック

PART 5


テレビを
もっと
活用する

その他の機能

その他の一步すすんだ機能について紹介します。

通知領域のアイコンについて

通知領域に、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンを表示させることができます。



通常時のアイコン: 



予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中や録画モード変換中、光ディスクへの書き込み中、アップデートプログラムやデジタル放送関連データのダウンロード中などもアイコンが変化します。


予約開始5分前 :  ↔  (交互に表示)

予約開始1分前 :  ↔  (交互に表示)

録画中 :  ↔  (交互に表示)

録画モード変換中 :  ↔ 

光ディスクへの書き込み中 :  ↔ 

ホームネットダビング中 :  ↔ 

ダウンロード中 :  ↔ 

番組表データ受信中 :  ↔ 

このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。

詳しくは、オンラインヘルプの「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

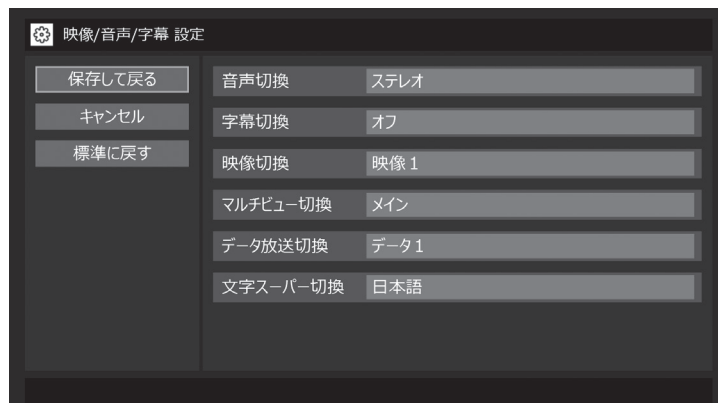
ポイント

- 通知領域にアイコンを表示させる操作については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「テレビを見る前に」の「テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる」をご覧ください。
- 「番組表データ受信中」のアイコンは、番組表の受信が終了した後も、データの処理が完了するまで点滅することがあります。
- 通知領域に表示するアイコンのデザインは、予告なく変更する場合があります。

デジタル放送の番組サービスについて

デジタル放送には、字幕放送のほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。それぞれのサービスに対応した番組で利用できます。

SmartVisionでテレビを見ているときにリモコンの【サブメニュー】を押し、「映像／音声／字幕設定」を選んで表示される画面で設定できます。



録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす
画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3  (録画番組一覧) をクリック

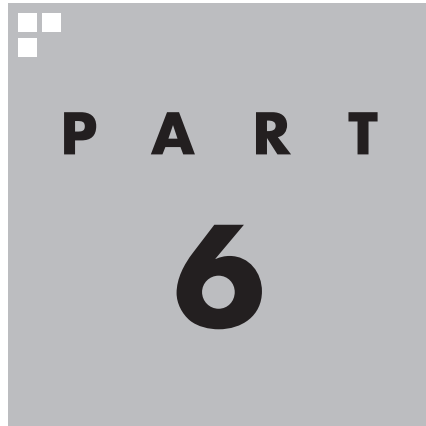
4 変更したい番組を選んで右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

5 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。



Q&A(困ったときは)

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 6

Q&A
(困ったときは)

パソコンの起動／終了について

パソコンの起動／終了についての問題は、ここで確認してください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。

予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。

番組の録画・視聴予約内容については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約の変更や予約結果の確認をする」をご覧ください。予約内容と予約結果を確認してください。

電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「予約実行時の電源設定」を選んで「予約実行時の電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「シャットダウンの場合は起動しない」を選んで【決定】を押し、「保存して戻る」を選んで【決定】を押ししてください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。

10・12・14・16時

この時刻になると、パソコンが自動的に起動して、番組表の受信に備えます。なお、番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません。

番組表を受信する時刻の設定は変更することができます。詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「番組表の受信時刻を変更する」をご覧ください。

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

ご購入時の状態では、予約視聴をおこなっていると、予約動作の完了時にスリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示され、60秒経過すると自動的にスリープ状態に移行します。予約録画や番組表受信のときは、予約動作の完了時にパソコンの画面が消灯している場合、スリープ状態に移行します。予約動作の完了時の動作を変更するには『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約実行前後の動作を設定する」をご覧ください。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。

10・12・14・16時

(番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません)

番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。

番組表の受信時刻を変更する場合は、『テレビを楽しむ本 基本編』の「番組表の受信時刻を変更する」をご覧ください。

予約録画などの後、パソコンの電源が自動で切れない

■ 放送に関連したデータをダウンロードしていませんか？

予約録画などの予約動作が終了した後で、デジタル放送の関連データ(衛星放送の放送局ロゴなど)が自動的にダウンロードされることがあります。このようなときは、データのダウンロードが終了してから、予約動作終了時の設定にしたがってパソコンがスリープ/休止/シャットダウン状態に移行します。データをダウンロードしているときは通知領域のアイコンが変化します。通知領域のアイコンについては、PART5の「その他の機能」(p.138)をご覧ください。

PART 6

Q&A (困ったときは)

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のホームページ(<https://www.apab.or.jp/>)でご確認ください。

● チェック

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ B-CASカードは正しくセットされていますか？

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『セットアップマニュアル』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 接続は正しいですか？

『セットアップマニュアル』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ 「テレビ初期設定」は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定については『テレビを楽しむ本 基本編』の「テレビ初期設定をする」をご覧ください。
初期設定の後にテレビが映らないときは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「テレビ初期設定で困ったら」をご覧ください。

■ 画面消灯モードになっていませんか？

画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声が入りません。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは明るさ調整ダイヤルをまっすぐ押ししてください。

■ デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「情報①」-「受信レベルの確認」で、アンテナの受信レベルを確認してください。受信レベルが55以下、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが選局すると「放送休止中」などのメッセージが表示される場合は、お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

- ・ デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・ 受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
- ・ 衛星アンテナの電源供給が必要かどうか

なお、強い雨や大雪などの悪天候の場合、アンテナケーブルなど受信環境に問題がなくても、一時的に受信レベルが低下することがあります。

このPARTの「今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった」(p.149)も合わせてご覧ください。

■ ほかのアプリを起動していませんか？

映像を表示するアプリを同時に動作させることはできません。起動しているアプリをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。

また、テレビを快適に視聴するため、SmartVisionを起動する前に、動作中のアプリをすべて終了させてください。

■ 画面左側のソースタブが「録画番組」になっていませんか？(マウス操作専用モード)

「録画番組」になっているときは、左側のタブから、見たい放送波のタブを選んでください。

■ ディスプレイの解像度や項目のサイズを変更していませんか？

SmartVisionは、出荷時の解像度(各モデルの最高解像度)で「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を推奨値に設定してお使いください。



解像度や項目のサイズを変更している場合は、出荷時の解像度(各モデルの最高解像度)、推奨値に戻してください。

各モデルの最高解像度については、「LAVIEアプリナビ」-「このパソコンのマニュアル」-「機能を知る」-「仕様一覧」-「仕様一覧について」から、ご購入されたモデルの仕様一覧をご覧ください。

■ 画質は適切に調節されていますか？

画質の調節では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調節をするときは、映像を確認しながらおこなってください。

■ 「Windowsのデスクトップの画面設定が変更されたため、SmartVisionでテレビ映像を表示できません。」と表示されていませんか？

「 (スタート)」-「 (設定)」-「簡単操作」-「ハイ コントラスト」の「ハイ コントラストをオンにする」が「オン」になっているときはテレビの視聴ができません。「ハイ コントラストをオンにする」を「オフ」にしてください。

■ 「現在出力先に設定されているサウンドデバイスに出力できません」と表示されていませんか？

USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなど、USBやBluetooth®を使用した音声出力機器がパソコンに接続されていると、このメッセージが表示され、テレビを見ることができなくなります。これらの機器を取り外し、画面の指示にしたがって操作してください。

■ テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。
プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。
デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎるまたは弱すぎる可能性があります

電波のレベルが適切でない場合は、アッテネーターやブースターを使用して調節する必要があります。詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

● **チェック**

アンテナケーブルの接続経路を変更したりアッテネーターまたはブースターの利得(ゲイン)を調節したときは、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビ初期設定をやりなおしてください。詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「テレビ初期設定をする」をご覧ください。

■ パソコンを再起動して設定をやりなおしてください

パソコンを再起動して設定をやりなおすと、問題が改善することがあります。

■ テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。
または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態)になったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面で「タスク マネージャー」をクリックし、「タスク マネージャー」の「詳細」をクリック、または詳細表示の場合は「プロセス」タブから「SmartVision(32ビット)」を終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ 音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

■ ナイトモードもしくは画面消灯モードになっていませんか？

ナイトモードもしくは画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がおフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは明るさ調整ダイヤルをまっすぐ押ししてください。

■ 映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか？

パソコンのCPU使用率が高くなると、映像のコマ落ちや音飛びが発生することがあります。テレビと同時にほかのアプリを使用したり、インターネット接続などをおこなうと、CPU使用率が高くなります。ほかのアプリを終了してから、テレビを起動してください。

次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 「 (スタート)」を右クリックし、「タスク マネージャー」をクリック

「タスク マネージャー」が起動します。

2 「 詳細」をクリック

3 「パフォーマンス」タブをクリック

4 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのアプリを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

！チェック

約80%以下の場合でも、同時に動作しているアプリがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するアプリを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ データ放送を無効にしてください

データ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 リモコンの[サブメニュー]を押し、表示されたメニューから「データ放送(有効)」を選んで[決定]を押し

2 「無効」を選んで[決定]を押し

■ パソコンの近くでスマートフォンや電子レンジを使用していませんか？

このパソコンの近くでスマートフォンや電子レンジを使用すると、映像や音声乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見えていませんか？

タイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの[一時停止]を押し、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ テレビ映像の上にほかのウィンドウなどが表示されていませんか？

全画面表示でテレビを見ているときに、テレビメニューや、メッセージなどのウィンドウがテレビ映像と重なると、映像が乱れたりコマ落ちすることがあります。

このような場合は、一度SmartVisionをウィンドウ表示にしたり最小化することで、映像の乱れが改善されます。

■ ウイルスバスター クラウドのアップデート中ではありませんか？

ウイルスバスター クラウドのアップデート中は、映像が乱れることがあります。また、アップデートが番組の録画時間と重複すると、録画した番組の映像が一部乱れることがあります。

放送中のデジタル放送の映像が遅れている

デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。



画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り換わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

データ放送が表示できない

■ データ放送をおこなっているチャンネルになっていますか？

マウスで操作するための画面にすると、データ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい

■ このパソコンのデジタル放送は、CATVパススルー方式(同一周波数および周波数変換)に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的に追加されません。
チャンネルの再スキャンをおこなってください。再スキャンの操作については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「チャンネル設定」の「チャンネルスキャン」をご覧ください。

地上デジタル放送が受信できなくなった

■ チャンネルの初期スキャンをおこなってください

地上デジタル放送のチャンネルが変更されている可能性があります。『テレビを楽しむ本 基本編』の「チャンネル設定」の「チャンネルスキャン」をご覧ください。地上デジタル放送の初期スキャンをおこなってください。


■ 今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった

BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などによって電波の受信状態が悪化することがあります。受信状態が悪化すると、映像や音声が止まったり、映像が表示されなくなることがあります。また、このようなとき、画質や音質を犠牲にして受信を優先させる「降雨放送(降雨対応放送)」に切り換わることもあります。いずれの場合も、天候の回復によって改善されます。

■ BS・110度CSデジタル放送の特定のチャンネルを視聴すると、「E203 放送休止中」と表示されるようになった

これまでそのチャンネルが正常に視聴できていた場合、放送のチャンネル編成が最近になって変わった可能性があります。その場合はパソコンを再起動すると改善されます。改善されない場合は、衛星アンテナの受信レベルを調整してください。

■ 引っ越しをしたらテレビが映らなくなった

パソコンにアンテナが接続されていること、B-CASカードがセットされていることを確認してください。続けて、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定 」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビの初期設定をやりなおしてください。テレビ初期設定の流れについては、『テレビを楽しむ本 基本編』の「テレビ初期設定をする」をご覧ください。

PART 6

Q&A
(困ったときは)

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

- スクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか？

視聴予約機能を利用するために、スクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。

視聴予約について詳しくは『テレビを楽しむ本 基本編』の「おてがる予約をする」の「視聴予約について」をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

- Windowsのサインインパスワードやアカウントを設定・変更していませんか？

新たにWindowsのパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名(アカウント)を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。

リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動サインインの設定」で設定を確認してください。自動サインインの設定については、PART7の「自動サインインの設定をする」(p.182)をご覧ください。

- 「結果一覧」で予約実行結果を確認してください

「予約結果一覧」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組を選んで【決定】を押すと、結果の詳細が表示されます。

詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約の変更や予約結果の確認をする」、および、オンラインヘルプの「予約結果一覧」をご覧ください。

- 「自動サインインの設定」をしていますか？

パソコンの電源を切っている場合、「自動サインイン」の設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。

リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動サインインの設定」で設定を確認してください。自動サインインの設定については、PART7の「自動サインインの設定をする」(p.182)をご覧ください。

- 電源プランの「スリープ解除タイマー」の設定が「無効」になっていませんか？

「スリープ解除タイマーの許可」の設定が無効になっていると、パソコンがスリープ状態から復帰できず、予約録画ができないことがあります。

【スタート】-「Windows システム ツール」-「コントロール パネル」をクリックし、「システムとセキュリティ」-「電源オプション」の電源プランを選んで、「プラン設定の変更」-「詳細な電源設定の変更」-「スリープ」-「スリープ解除タイマーの許可」の設定が「有効」になっていることを確認してください。

■ おてがるバックアップでバックアップのスケジュールを設定していませんか？

おてがるバックアップでバックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

- 番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致なくなった。予約済みのほかの番組と予約時間が重なった。
- 前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。「番組の予約」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

■ パスワードが設定された外付けハードディスクを録画用として登録していませんか？

セキュリティを強化した外付けハードディスクにはパスワード機能を搭載しているものがあります。パスワードを設定した外付けハードディスクを録画用として登録している場合、番組が録画できないことがあります。

■ 地上デジタル放送のチャンネルが変更されている可能性があります

『テレビを楽しむ本 基本編』の「チャンネル設定」の「チャンネルスキャン」をご覧ください。地上デジタル放送の初期スキャンをおこなってください。

■ ユーザーを切り換えて省電力状態への移行やシャットダウンをおこなっていませんか？

パソコンを複数のユーザーで使用するとき、SmartVisionを起動したユーザーおよび自動サインインで設定されたユーザー以外のユーザーに切り換えて、省電力状態への移行やシャットダウンをおこなわないようにしてください。SmartVisionが起動できず録画予約できないことがあります。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウィルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンの動作やWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。ウイルスバスター クラウドやWindows Updateの設定を変更してください。



参照

- ウイルスバスター クラウドについて
→「ウイルスバスター クラウド」
「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「実行」-「ウイルスバスター クラウド」
- Windows Updateについて
→「Windows Updateを使って更新する」
「LAVIEアプリナビ」-「このパソコンのマニュアル」-「安心・快適に使う」-「パソコンを最新の状態にする方法」
-「Windows Updateを使って更新する」

録画フォルダーに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます。詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約の変更や予約結果の確認をする」、および、オンラインヘルプの「予約結果一覧」をご覧ください。

■ 保存先の録画フォルダーを変更していませんか？

予約時に保存先として指定した録画フォルダーを確認してください。複数の録画フォルダーを使い分けているときは特にご注意ください。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは異なる録画フォルダーに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組一覧」から「おまかせ録画フォルダー」を選んでください。また、おまかせ録画した番組は、「おまかせ録画フォルダー」の容量が一定以上になると古い順に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別の録画フォルダーに移動してください。番組の移動については、PART5の「録画した番組を整理する」(p.62)をご覧ください。



ポイント

「おまかせ録画フォルダー」の最大容量は、マウス操作専用モードで変更できます。詳しくはオンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組一覧」の「録画フォルダー」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別の録画フォルダーに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

■ 番組を保存した外付けハードディスクを取り外していませんか？

外付けハードディスクに番組を保存している場合は、その外付けハードディスクを接続しなおしてください。

■ おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外番組一覧に登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組の録画予約を取り消してください。予約の取り消しについては『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約の変更や予約結果の確認をする」をご覧ください。

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧(p.27)に登録した番組は録画されません。録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組は、おまかせ録画の対象外になります(取り消した放送回のみを対象外にするか、それ以降に放送される同じ番組をすべて対象外にするかは、取り消しの際に選択できます)。予約する場合は、おてがる予約などの番組予約で予約しなおしてください。

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約一覧に登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

■ シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、録画されていない番組がある

■ 「繰り返し予約」の「する(時間指定)」で予約していませんか？

「繰り返し予約」の「する(時間指定)」を設定して予約をすると、スポーツ中継の延長などで、放送時間が変更された場合でも、あらかじめ設定されている同じ曜日、同じ時間で録画します。シリーズものの番組を予約する場合には、「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」を設定して予約することをおすすめします。

■ 番組表に表示される放送時の番組名が、最初に予約したときの番組名と異なっていませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」を設定すると、番組表の番組名によって同じシリーズの番組を検出して予約します。ただし、同じシリーズの番組であっても、最初に予約したときの番組名と、放送されたときの番組名が、番組表上で異なる場合には、同一シリーズの番組として検出できず、録画されないことがあります。

■ 新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、録画されない新番組がある

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか？

同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、新番組おまかせ録画で録画予約する番組が視聴履歴から選ばれます。

録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます(p.34)。

録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

PART 6

Q&A
(困ったときは)

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが生じる

■ アンテナは接続されていますか？

『セットアップマニュアル』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか？

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を取ると、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなる場合があります。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

■ 番組表の受信時刻を深夜や早朝に設定していませんか？

放送局によっては、深夜や早朝などに電波の送信を止めている(停波している)ことがあります。この時間帯に番組表を受信すると、その放送局だけ番組表が取得できなくなることがあります。特定の放送局だけ番組表が取得できないときは、番組表の最初の受信時刻を、その放送局の放送が始まる時刻より後になるよう設定してください。

デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

！チェック

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 6

Q&A
(困ったときは)

録画ができない

録画をしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画ができない

■ ストレージの空き容量が不足していませんか？

ストレージの空き容量を確認してください。

ストレージに、録画した番組を記録するのに十分な空き容量(p.15)がないと、録画できないことがあります。

録画中にテレビの画面でリモコンの【画面表示】を押すと、録画可能時間が表示されます。

不要な番組を削除して、ストレージの空き容量を増やすこともできます。

番組の削除については『テレビを楽しむ本 基本編』の「録画した番組を削除する」をご覧ください。

■ 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかわかります。

録画について詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「PART3 録画・予約する」をご覧ください。

■ 録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続していますか？

登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。

録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続しなすか、録画番組の保存先をパソコンに内蔵されているストレージに変更してください。

■ 録画時の画面に「蓄積が開始できませんでした」、または、予約結果一覧の画面に「予約録画を開始できませんでした(****-0068)」、というメッセージが表示されていますか？

ストレージ(外付けハードディスクを含む)に録画してある番組数の合計が、このパソコンで録画できる番組数の最大値に達していると、上記のようなメッセージが表示されます。

この場合は、「録画番組一覧」の画面から番組を削除してください。

録画できる番組数の最大値や削除時の注意事項については、PART2の「録画するときの注意」(p.12)をご覧ください。

PART 6 その他

Q&A (困ったときは)

操作パネルが表示されない

■ マウス操作専用モードではありませんか？

タスク バーから「SmartVision」を起動したときは、マウス操作専用モードで表示されます。マウス操作専用モードでは操作パネルが表示されません。操作パネルを使って操作するときは、画面下の「フルスクリーン」タブをクリックしてください。操作パネルが表示されるフルスクリーンモードに切り換わります。



リモコンで操作できない

■ SmartVisionのウィンドウよりも前にほかのアプリのウィンドウが表示されていますか？

SmartVisionのウィンドウよりも前にほかのアプリのウィンドウが表示されていると、リモコンで正しく操作することができなくなります。このときは、リモコンの【テレビ】を押してください。SmartVisionの画面が手前に表示され、リモコンでの操作ができるようになります。

■ リモコンに電池をセットしましたか？

リモコンで操作するには、リモコンに電池を入れてください。電池の入れ方については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「リモコンを準備する」をご覧ください。

リモコンでデータ放送が操作できない

- ご購入時の状態では、録画した番組の再生、タイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、また、放送内容によっては、データ放送の一部の操作ができない場合があります

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン」を選び、「データ放送固定モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

- リモコンからのテレビの終了には30秒程度かかります

同時に大量のアプリを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

！チェック

- 【電源】を押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なアプリが同時に複数実行されていないかを確認してください。また、予約開始時刻が近い場合は、SmartVisionは終了しますが、パソコンは終了しません。
- ご購入時の状態では、録画(予約および終了時刻が設定された録画)、録画モード変換、光ディスク書き込み、外でもVIDEOの転送、ホームネットダビング、簡易編集した番組の保存、デジタル放送の関連データのダウンロードをおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているアプリがなければ、上記の動作が完了してから、パソコンが終了します。

「SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示された

CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDやスマートデバイスに保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。

「テレビを楽しむ本 基本編」の「光ディスクに保存するための準備」をご覧ください、SmartVisionをアップデートしてください。

DVDに保存しようとしたが、選択できない番組(保存できない番組)がある

- 映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組です

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、DVDにVRモードで保存することができません。

DVD-RAMの書き込みに失敗する

このパソコン以外で使用したことのあるDVD-RAMに録画番組を保存すると、書き込みに失敗する場合があります。その場合は、このパソコンでDVD-RAMをフォーマットしてから、録画番組を保存してください。フォーマットをおこなうと、DVD-RAMのデータはすべて削除されます。必要に応じて、データのバックアップを取ってください。

DVD-RAMのフォーマットについて詳しくは、PART4の「光ディスクをフォーマットする」(p.51)をご覧ください。

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionの光ディスクへの保存機能を使って、データを光ディスクに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

録画番組の光ディスクへの保存については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「番組を光ディスクに保存する」をご覧ください。

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールアプリで、テレビの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールアプリの設定を変更して、テレビ関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

テレビ画面に緑色の横線が見える

入力信号がない場合、緑色で帯状の横線が見えることがあります。選局したチャンネルの受信電波が弱いときに、緑色で帯状の横線が見えることがあります。アンテナケーブルをご確認ください。また、電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。ブースターの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]

B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もう一度B-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。



参照

B-CASカードのセットのしかたについて→『セットアップマニュアル』の「B-CASカードをセットする」

● [E201 信号レベルが低下しています。]

- ・ アンテナケーブルを確認してください。
- ・ アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]

- ・ アンテナケーブルを確認してください。
- ・ 地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。
- ・ BS・110度CSデジタル放送の場合は、雨、雪、雷雲などによって電波が受信できなくなると表示されます。天候が回復し、電波の状態が改善されれば、映像が表示されます。

● [E203 放送休止中]

受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。

- ・ 番組表などで放送時間をお確かめください。
- ・ エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

- [E209 アンテナの接続を確認してください]
BS/110度CSデジタルアンテナのアンテナ線がショートしたときに、このメッセージが表示されます。パソコンの電源を切り、BS/110度CSデジタルアンテナ端子に接続しているアンテナ線を外し、アンテナ線のショートの原因を確認してください。そして、ショートの原因を取り除いた後で、再びアンテナ線をパソコンのアンテナ端子に接続してください。なお、ショートの原因がわからないときには、お近くの電器店にご相談ください。
- [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります(映像の乱れやコマ落ちなども含む)。

保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作をおこなってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。

パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているアプリを終了させてください。また、アプリの再起動やストレージの整理などをお試しください。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ SmartVisionを常に手前に表示する設定にしていますか？

マウス専用画面のスリムモードで、右クリックメニューの「常に最前面に表示」を有効にすると、スリムモードで表示されているSmartVisionが他のウィンドウよりも常に手前に表示されます。

この状態で、SmartVisionから別のアプリを起動したり、別のウィンドウを表示させると、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまう場合があります。

このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。

「常に最前面に表示」を「無効」にすれば、この現象は起こらなくなります。

外付けハードディスク以外の機器を接続したとき、SmartVisionで録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する画面が表示される

■ メッセージの画面でキャンセルを選択してください

外付けハードディスク以外の外部接続機器であっても、SmartVision側でハードディスクと認識される場合があります。その場合には、キャンセルを選択してください。

コピー回数が「再生不可」と表示された番組がある

■ 利用できない録画ファイルです

「再生不可」の番組は、再生を含め、一切利用できません。ストレージの容量を節約するため、削除することをおすすめします。録画した番組が「再生不可」の状態にならないようにするために、再セットアップをおこなった場合は、録画番組が保存されている外付けハードディスク(p.73)をSmartVisionに再登録(テレビ映像を表示している状態で、パソコンに外付けハードディスクを接続し、メッセージ表示を確認)してください。

パソコンを再セットアップするときの録画番組のデータについて知りたい

Cドライブの再セットアップやWindowsの「このPCを初期状態に戻す」をおこなうと、Cドライブに保存された録画番組のデータは消去されます。「このPCを初期状態に戻す」で「個人用ファイルを保持する」を選択した場合でも、データが消去されるのでご注意ください。

これらの操作をおこなうときは、あらかじめ録画番組を光ディスクに保存するか外付けハードディスク(p.73)に移動しておいてください。

光ディスクに保存について詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』の「番組を光ディスクに保存する」をご覧ください。録画フォルダーの作成や番組の移動については、PART5の「録画した番組を整理する」(p.62)を、それぞれご覧ください。

！チェック

パソコンが故障したとき、修理の内容によっては外付けHDDに移動した録画番組のデータを利用できなくなることがあります。大切なデータはDVDなどの光ディスクに保存することをおすすめします。

スタートメニューまたはタスク バーのSmartVisionアイコンが表示されない

SmartVisionをアンインストール後に再インストールしたり、パソコンの再セットアップ、あるいは誤操作などによって、スタートメニュー、あるいは、タスク バーにあったSmartVisionのタイルやアイコンが表示されなくなった場合には、次の手順で追加してください。

1 「 (スタート)」をクリック

2 一覧の「SmartVision」を右クリック

3 次の手順をおこなう

- **スタートメニューにタイルを追加する場合**
「スタート画面にピン留めする」をクリック
- **タスク バーにアイコンを追加する場合**
「その他」-「タスク バーにピン留めする」をクリック

ポイント

この方法で追加したタイルやアイコンからは、SmartVisionはマウス操作専用モードで起動します。

「ウェブ検索」機能を使ったときWebブラウザが表示されない。マウスでWebブラウザをクリックしても、テレビ(SmartVision)の手前に表示されない

■ SmartVisionを常に手前に表示する設定にしていますか？

マウス専用画面のスリムモードで、右クリックメニューの「常に最前面に表示」を有効にすると、スリムモードで表示されているSmartVisionがほかのウィンドウよりも常に手前に表示されます。この状態で、SmartVisionの「ウェブ検索」機能(p.76)を使ってWebブラウザを起動すると、そのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。「常に最前面に表示」を無効にすれば、この現象は起こらなくなります。

リモコンで「きこえる変速再生」の操作ができない

■ リモコンのモードを変更していませんか？

リモコンが「データ放送固定モード」になっていると「きこえる変速再生」の操作ができません。リモコンの【サブメニュー】を押して、「リモコン(データ放送固定モード)」を選び、「自動切換(再生操作モード)」を選んで【決定】を押してください。

セキュリティアプリを入れ換えてから問題が起こるようになった

ご購入時にインストールされているウイルスバスター クラウド以外のセキュリティアプリをご使用になると、次のような問題が発生することがあります。

1. テレビを視聴しているときや録画番組を再生しているときに映像が乱れることがある。
2. オートチャプターが作成されないことがある。
3. ホームネットワークダビングができないことがある。
4. データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができないことがある。

セキュリティアプリを入れ換えたときは、SmartVisionの以下のファイルに対して通信許可(例外や除外の設定など)をおこなってください。

設定方法については、入れ換えたセキュリティアプリのマニュアルやヘルプをご確認ください。

<対象ファイル>

DtnCtl1.exe、DtnCtl2.exe、NECSVTV.exe、SvSche.exe、SvUI.exe、SVDWrite.exe、SVUPnPm.exe、SvResi.exe、DTCPconnect.exe、twitterAPforSV.exe

設定していない時刻に番組表の受信が始まった



テレビ(SmartVision)を起動したときに次の2つの条件がそろっていると、自動的に番組表の受信が始まります。

- ・その日、一度も番組表を受信していない。
 - ・搭載されているレコーダー(チューナー)のうち、どれか1つが使用されていない。
- 視聴や録画でレコーダーがすべて使われているときは、番組表の自動受信はおこなわれません。

テレビの映像のスクリーンショットが取れない

著作権保護の観点から、テレビの映像はスクリーンショット(ハードコピー)が採取できない仕様となっています。

「SmartVision TV Driver」を再インストールしたい

誤って「SmartVision TV Driver」をアンインストールした場合などに、「SmartVision TV Driver」を再インストールするには、「 (スタート)」-「 (設定)」-「更新とセキュリティ」-「Windows Update」で、「更新プログラムのチェック」を実行したあとパソコンを再起動してください。

！チェック

「SmartVision TV Driver」の再インストールには、インターネットへの接続が必要です。

再起動後、SmartVisionの初期設定をやりなおしてください。

SmartVisionもアンインストールしている場合は、「LAVIEアプリナビ」からSmartVisionを再インストールして初期設定をおこなってください。

📖 参照

初期設定のやりなおしについて

→「テレビを楽しむ本 基本編」の「初期設定のやりなおし」

！チェック

- 「SmartVision TV Driver」をアンインストールする必要はありません。アンインストールした場合、テレビ機能が使用できなくなります。
- 「SmartVision TV Driver」は、一度アンインストールすると、再インストールしてもWindowsの「設定」-「アプリ」の「アプリと機能」や「コントロール パネル」-「プログラム」の「プログラムと機能」の一覧に名前が表示されなくなります。
インストールの確認は、PART7の「情報」-「バージョンの確認」(p.169)をご覧ください、テレビドライバーのバージョンが表示されるかどうかをおこなってください。

SmartVisionを再インストールしたい

SmartVisionを再インストールする場合は、「LAVIEアプリナビ」-「名前から探す」-「さ行」-「SmartVision」の、「追加方法と削除方法」および「注意事項」をご覧ください。

！チェック

- インストールおよびアンインストールは、いずれも「SmartVision」→「SmartVision Desktop Service」の順におこない、そのあと、必ずパソコンを再起動してください。
- インストール後、最初にSmartVisionを起動するときは、時間がかかることがあります。

SmartVisionを更新したい

次の手順で、SmartVisionを更新することができます。

1 「 (スタート)」-「Microsoft Store」をクリック

2 「Microsoft Store」の「」-「ダウンロードと更新」をクリック

3 「最新情報を取得する」をクリック

インストールされているSmartVisionより新しいバージョンの更新プログラムがある場合は、「ダウンロードキュー内」のリストに「SmartVision TV」が表示され、ダウンロードおよびインストールがおこなわれます。

SmartVisionを更新した場合は、「SmartVision Desktop Service」も更新してください。「SmartVision Desktop Service」の更新プログラムの有無については「LAVIE Wiz」で確認することができます。

チェック

- 自動的には更新されませんので、随時、上記の手順で更新してください。
- 更新を開始すると録画が停止します。更新する前にタスクトレイのSmartVisionスケジューラアイコンを見て、録画中でないことを確認してください。また、予約一覧で予約録画の開始時刻が近づいていないか確認してください。
- 更新した後は必ずパソコンを再起動してください。
- 更新した後、最初にSmartVisionを起動するときは、時間がかかることがあります。



映像が黒い画面や静止したままになって、SmartVisionを操作できない

パソコンに高い負荷がかかっている場合や、放送の電波にノイズが多く、受信状態が悪い場合などに、まれにSmartVisionの動作が停止し、映像が黒い画面や静止したままになり操作ができなくなることがあります。

このような状態になった場合は、パソコンを再起動してください。

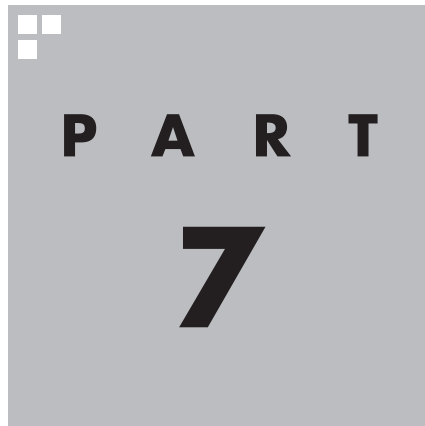
SmartVisionの表示が乱れる (SmartVision画面の一部が黒くなったり、映像の表示位置がずれるなど)

■ パソコンを再起動してください

再起動しても改善されない場合、「 (スタート)」-「 (設定)」-「システム」の「ディスプレイ」にある「拡大縮小とレイアウト」の「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」をご確認いただき、推奨以外の値が選択されていたら、推奨値を選択後、パソコンを再起動してください。

■ SmartVisionといっしょに他のアプリで動画を視聴しようとしていませんか？

SmartVisionといっしょに他のアプリで動画を視聴しないでください。動画の映像が乱れたりした場合は、同時に視聴するのを止めてSmartVisionまたはパソコンを再起動してください。



付 録

番組表やリモコンなどの設定、SmartVisionに保存された個人情報の消去方法、各モードのボタンやタブの機能などについて説明しています。

PART 7

付録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。

B-CASカードを扱うときのご注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。

B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

- このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。
- B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。
- B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
 - ・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
 - ・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
 - ・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
 - ・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
 - ・分解・加工しないでください。
- 裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。
- B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。

ポイント

- 限定受信システム(CAS: Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。
- 詳しくは『セットアップマニュアル』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

B-CASカードの情報を確認する

B-CASカードの情報を確認する方法については、このPARTの「B-CASカード情報の確認」(p.168)をご覧ください。

PART 7

付録

アンテナの設定をする

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

アンテナの調節をする

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 ⓘ」-「受信レベルの確認」を選んで【決定】を押す

3 確認したい「放送波」と「チャンネル」を選ぶ



受信レベルが表示されます。

4 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル:中」または「レベル:高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

アンテナの向きを調節しても受信レベルが55以下の場合は、お近くの電気店などで次の点を確認してください。

- ・ デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・ 受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
- ・ 衛星アンテナの電源供給が必要かどうか

5 「戻る」を選んで【決定】を押す

これで、アンテナの設定は完了です。

！チェック

- 受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候・季節・受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。
- 「放送波」で「BS」または「CS」を選んだときに、衛星アンテナの向きを調節しても受信レベルが0のままの場合は、アンテナに電源が供給されているか確認してください。なお、本機からアンテナに電源を供給することはできません。詳しくは、NEC LAVIE公式サイト(<https://www.nec-lavie.jp/products/common/dtv/>)の「衛星デジタル放送アンテナ用電源供給器について」をご覧ください。

PART 7

付録

情報

テレビメニューの情報の各内容を説明します。
「情報」の「まとめて確認」の操作については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

B-CASカード情報の確認

テレビメニューの「情報①」-「B-CASカード情報の確認」では、B-CASカードの情報を確認できます。

「B-CASカード情報の確認」画面の「テスト結果」に「正常」と表示されていない場合は、B-CASカードをセットしなおしてください。B-CASカードのセット方法については、『セットアップマニュアル』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。B-CASカードをセットしなおしたら、「テスト」ボタンを選んで【決定】を押し、「正常」と表示されることを確認してください。

受信レベルの確認

テレビメニューの「情報①」-「受信レベルの確認」で、各放送波やチャンネルの受信レベルを確認できます。アンテナの向きは、この画面で受信レベルを確認しながら調節してください。

■ 地上デジタル放送の受信レベル

1 「放送波」を選んで【決定】を押す

2 「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

● 受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合

お近くの電気店などに、次の点を確認してください。

- ・ パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
- ・ 地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

● チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合

受信レベルが55以下の場合には正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。アンテナの向きを調節するときは、このPARTの「アンテナの調節をする」(p.167)をご覧ください。

● チェック

地上デジタル放送が正常に視聴できないときは、PART6の「テレビが映らない」(p.144)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.146)をご覧ください。

■ BS/110度CSデジタル放送の受信レベル

1 「放送波」を選んで「決定」を押す

2 「BS」もしくは「CS」を選んで「決定」を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0の場合

アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。なお、パソコンからはアンテナに給電することができません。別の機器から給電していただく必要があります。

詳しくは、NEC LAVIE公式サイト(<https://www.nec-lavie.jp/products/common/dtv/>)の「衛星デジタル放送アンテナ用電源供給器について」をご覧ください。

●受信レベルが55以下の場合

受信レベルが55以下の場合には正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。アンテナの向きを調節するときは、このPARTの「アンテナの調節をする」(p.167)をご覧ください。

●チェック

正常に視聴できないときは、PART6の「テレビが映らない」(p.144)をご覧ください。

■ バージョンの確認

テレビメニューの「情報①」-「バージョンの確認」では、SmartVisionのバージョンと、テレビドライバーのバージョンを確認できます。

■ 放送メール

テレビメニューの「情報①」-「放送メール」では、地上デジタル放送のチャンネルの変更や、電波の出力の増減による受信状態の改善などがあったときのお知らせ(放送メール)を確認できます。未読のお知らせがあるときは、放送メールの✉アイコンの横に未マークが表示されます。

■ ダウンロード

テレビメニューの「情報①」-「ダウンロード」では、デジタル放送に関するデータのアップデートやお知らせのダウンロードができます。「ダウンロード情報が届いています。」と表示されているときは、「ダウンロード」を選択して【決定】を押してください。なお、ダウンロード中にテレビを視聴するとダウンロードが中止されます。この場合でも、テレビの視聴後にダウンロードしなおすことができます。

PART 7

付録

設定

テレビメニューの設定の各内容を説明します。

番組表の設定

テレビメニューの「設定」-「番組表の設定」では、番組表に関連する設定をおこなうことができます。

■ 番組表受信時刻の設定

番組表が自動的に受信される時刻を設定します。操作については『テレビを楽しむ本 基本編』の「番組表の受信時刻を変更する」をご覧ください。

■ 番組表の表示設定

番組表に表示されるチャンネルの数を設定します。9チャンネル、7チャンネル、5チャンネルのいずれかを選ぶことができます。

■ マイ番組表の表示設定

マイ番組表を作成したり、マイ番組表に表示されるチャンネルの数を設定できます。操作についてはPART1の「マイ番組表を作る」(p.8)をご覧ください。

なお、「番組表の設定」画面に表示される、「予約実行時の電源設定」と「自動サインインの設定」の機能や設定方法については、次の「予約録画の設定」をご覧ください。

予約録画の設定

テレビメニューの「設定」-「予約録画の設定」では、予約動作(予約録画、予約視聴、番組表の自動受信)をおこなうときのパソコンの動作について設定をおこなうことができます。

■ 予約実行時の電源設定

予約動作がはじまるとき、シャットダウン(電源オフ)していたパソコンを起動するかどうかの設定や、これらの動作が終了したときのパソコンがどのような状態になるかを設定できます。操作については『テレビを楽しむ本 基本編』の「予約実行前後の動作を設定する」をご覧ください。

■ 自動サインインの設定

SmartVisionは、予約された動作をおこなうため、パソコンに自動サインインする機能を備えています。自動サインインするためには、サインインするユーザー名(アカウント)とWindowsのパスワード(設定されている場合のみ)が正しく設定されている必要があります。サインインするユーザー名を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合を含む)や、新たにWindowsのパスワードを設定または変更したときは、この設定をおこなってください。

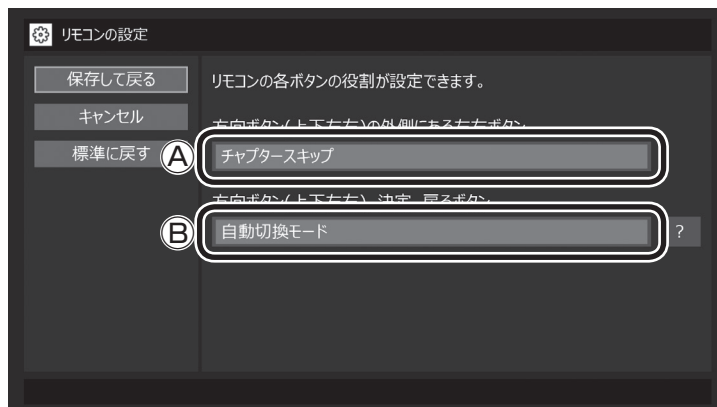
操作についてはこのPARTの「自動サインインの設定をする」(p.182)をご覧ください。

ポイント

Windowsのパスワードとここで設定したパスワードが異なると、自動サインインできず、予約動作が失敗します。

リモコンの設定

テレビメニューの「設定」-「リモコンの設定」では、録画番組の再生やタイムシフトモードでのスキップの動作について設定したり、リモコンをデータ放送用のモードに切り換える設定などができます。



① スキップの動作の設定(外側の左右ボタン)

ここを選んで【決定】を押し、割り当てる機能を選んでもう一度【決定】を押します。

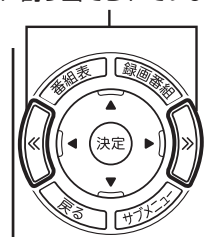
- ・チャプタースキップ
チャプターをスキップします。
詳しくは『テレビを楽しむ本 基本編』の「オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいところ再生」)」の「チャプタースキップ」をご覧ください。
- ・30秒スキップ
30秒間ずつ、前と後にスキップします。

② リモコンのモード切り換え(上下左右/決定/戻るボタン)

ここを選んで【決定】を押し、次のどちらかのモードを選んでもう一度【決定】を押します。

- ・自動切替モード
通常はこちらのモードでご利用ください。
- ・データ放送固定モード
データ放送を視聴しているとき、上下左右/決定/戻るボタンが使えない場合はこちらを選んでください。データ放送の視聴が終わったら自動切替モードへ戻してください。

スキップの機能はこのボタンに割り当てられています。



これらのボタンの機能がデータ放送固定モードに変更されます。



外でもVIDEO(簡単転送)の設定

テレビメニューの「設定」-「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」では、外でもVIDEOの自動転送の設定や、自動転送および簡単転送の転送先の機器が登録できます。

自動転送についてはPART5の「自動転送を使う」(p.91)を、簡単転送についてはPART5の「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.95)をご覧ください。

パレンタル設定

年齢による視聴制限を設定できます(パレンタル設定)。設定した年齢未満の視聴者を対象としていないテレビ番組は、SmartVisionで視聴できなくなります。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「パレンタル設定」を選んで【決定】を押す

「パレンタル設定」画面が表示されます。

年齢制限が設定されていないときは：

「暗証番号」に「(未設定)」と表示されています。手順3に進んで、まず暗証番号を設定してください。

すでに年齢制限が設定されているときは：

「暗証番号」に「****」と表示されています。手順8に進んでください。

3 「暗証番号」を選んで【決定】を押す

暗証番号の設定画面が表示されます。

4 キーボードで4桁の暗証番号を入力する

5 「確認用」の入力欄を選んで【決定】を押し、同じ暗証番号をもう一度入力する

6 「設定」を選んで【決定】を押す

「暗証番号を設定しました。」と表示されます。

7 「閉じる」を選んで【決定】を押す

8 「視聴最小年齢」を選んで【決定】を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。

9 キーボードで4桁の暗証番号を入力する

ポイント

暗証番号を変更するときは、「パレンタル設定」画面で「暗証番号」を選んで【決定】を押し、現在の暗証番号を入力してから、「変更」を選んで【決定】を押ししてください。続いて手順4～手順7の操作で暗証番号を設定しなおしてください。

10 「設定」を選んで【決定】を押す

「視聴最小年齢」のメニューが表示されます。

11 設定する「視聴最小年齢」を選んで【決定】を押す


12 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで年齢による視聴制限の設定(パレンタル設定)は完了です。

ポイント


年齢による視聴制限を解除するときは暗証番号を削除してください。「パレンタル設定」画面で「暗証番号」を選んで【決定】を押し、現在の暗証番号を入力して「削除」を選んで【決定】を押してください。削除済みのメッセージが表示されたら「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

データ放送の設定

テレビメニューの「設定 」-「データ放送の設定」では、データ放送で表示される地域情報の地域を変更することができます。

データ放送で表示される天気予報など、お住まいの地域に関する情報は、SmartVisionに登録された郵便番号を元にして表示しています。「データ放送の設定」画面の「郵便番号の設定」に、情報を表示させたい地域の郵便番号を入力してください。

テレビ優先モードの設定

テレビメニューの「設定 」-「テレビ優先モードの設定」では、パソコンが省電力状態(スリープや休止状態)のとき、SmartVisionが起動する時間を短くするよう設定できます。テレビ優先モードの設定を「有効」にしてください。


なお、この状態ではSmartVisionを起動していなくても一定のメモリ量を使用します。

ポイント

ご購入時はこの設定が「有効」になっています。

初期設定のやりなおし

引っ越ししたときやテレビ放送の周波数が変更されたときは、初期設定をやりなおしてください。

テレビメニューの「設定 」-「初期設定のやりなおし」では、SmartVisionの初期設定(テレビの初期設定)をやりなおすことができます。画面の指示にしたがって操作してください。

詳しい操作については、『テレビを楽しむ本 基本編』の「テレビ初期設定をする」も合わせてご覧ください。

PART 7

付録

ダビング10とは

ここでは、デジタル放送の録画ルール「ダビング10」について説明しています。

コピー制御方式について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「コピーワンス」と呼ばれるコピー制御が加えられています。

このパソコンはダビング10に対応しており、ストレージに録画したデジタル放送のダビング10番組が、CPRM対応のDVDなどの光ディスクに10回まで保存(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))できます。

また、録画されたコピーワンス(コピー不可)の番組は、光ディスクに1回だけ保存(ムーブ(移動))できます。

ムーブ(移動)した場合、ストレージから当該番組は自動的に削除されます。

なお、保存したDVDなどの光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

次の点にご注意ください。

- どの番組がダビング10で放送されるかは、番組によって異なります。
- EPG(電子番組表)の情報では、コピーワンス/ダビング10のどちらのコピー制御方式による番組か区別できません。番組表には、どちらの番組の場合でも「コピー制限あり」と表示されません。
番組をストレージに録画すると、録画番組一覧の画面で、どちらのコピー制御方式による番組か確認できます。

チェック

ホームネットワークを経由してメディアサーバーに転送したときも、コピーできる残りの回数が減りません。

ダビング10とコピーワンスの違い

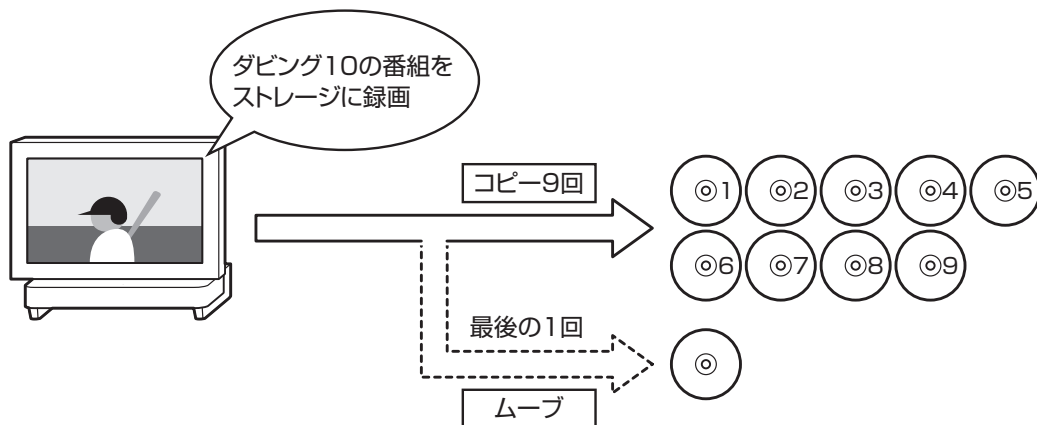
「ダビング10」と「コピーワンス」の違いは、次のようになります。

コピー制御方式	コピー回数	光ディスクへの保存/ スマートデバイスへの転送 メディアサーバーへの転送
ダビング10	コピー可(回数制限)	コピー9回、ムーブ1回可 (ムーブ後、ストレージからは削除され ます)
コピーワンス	コピー不可 (光ディスクへのムーブは1回のみ 可能)	ムーブのみ1回可 (ムーブ後、ストレージからは削除され ます)

ダビング10でできること

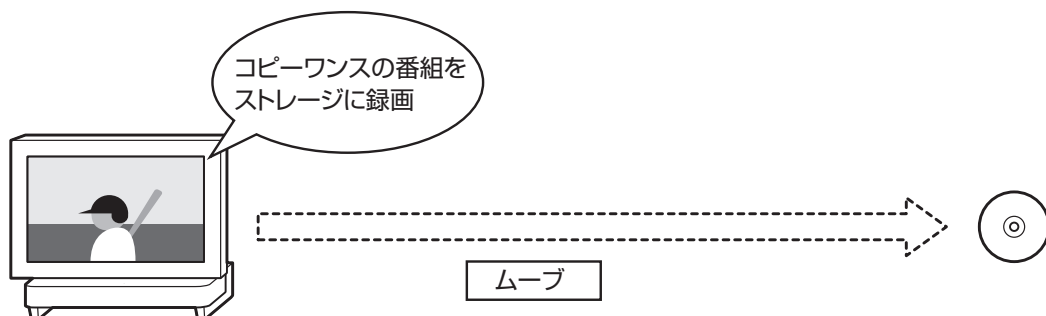
●ダビング10

パソコンのストレージに録画した番組を、光ディスクに最大9回コピーすることができます。コピーするたびにコピーできる残りの回数は減っていきます。コピーできる残り回数が0になると光ディスクへの保存はムーブ(移動)になり、パソコンのストレージから録画データは削除されます。



●コピーワンス

パソコンのストレージに録画した番組を、光ディスクに保存するとムーブ(移動)され、パソコンのストレージから録画データは削除されます。



録画モードを変換した番組と簡易編集した番組のダビング10についての注意

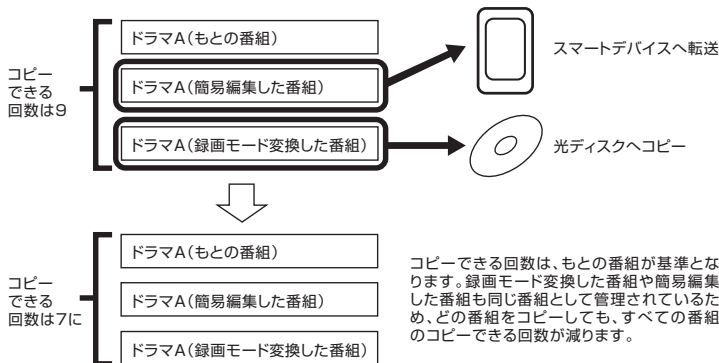
「録画モード変換」と「簡易編集」をおこなった番組のコピーできる回数について説明します。

録画モード変換したり簡易編集した番組は、もとの番組の下に並んで「録画番組一覧」画面に表示されます。

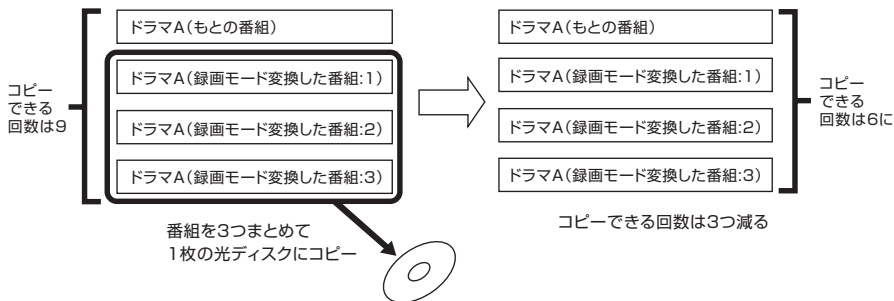


番組情報欄に番組のコピー制御方式がアイコン表示され、その右側にコピーできる回数の残りが表示されます。

録画モード変換したり簡易編集した番組を、光ディスクに保存したり、ほかの機器にダビング(転送)すると、もとの番組のコピーできる回数も同時に1つ減ります。



同じ番組から録画モード変換したり簡易編集した番組が複数あるとき、それらをまとめて光ディスクにコピーしたりほかの機器にダビング(転送)すると、その番組の数だけコピーできる回数が減ります。



ポイント

- もとの番組と「まとめ表示」されていることがあります。その場合は【サブメニュー】を押して表示されるメニューで、「個別表示にする」を選んで【決定】を押し、「個別表示」に切り換えてください。
- 簡易編集した番組は、編集したことを示すため、タイトルに[編集011](数字部分は番組を編集した回数)が追加されます。

チェック

コピーワンスの番組を録画モード変換したり簡易編集したときは、それで作成された番組を光ディスクに保存したりほかの機器へ転送すると(ムーブすると)、もとの番組も同時に削除されます。

コピーできる回数を確認するには

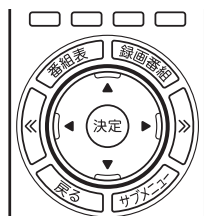
録画した番組のコピー制御(コピーできる回数)を確認する方法を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す



テレビメニューが表示されます。





2 「録画番組一覧」から、コピー制御を確認したい番組が録画されているフォルダーを選んで【決定】を押す



録画番組一覧が表示されます。

3 番組を選び、番組情報欄に表示されたアイコンで、コピー制御方式とコピーできる回数を確認する



アイコン		説明
コピー アイコン	 	<p>制限付きでコピーが可能な番組に表示されます。</p> <p>右側の数字は、光ディスクに保存したり、ほかの機器にダビング(転送)できる回数を表します。番組をコピー(光ディスクへ保存、ほかの機器へ転送)すると、数字が減ります。</p>
ムーブ アイコン		<p>コピーワンスの番組、もしくは、すでに光ディスクに保存するなど9回コピーされた番組に表示されます。</p> <p>このアイコンが表示された番組は、光ディスクに保存したり、ほかの機器にダビング(転送)するとき、コピーではなくムーブ(移動)となります。ムーブした番組は録画フォルダーから削除されます。</p>
フリー アイコン		<p>コピーフリーの番組に表示されます。</p> <p>このパソコンで録画した番組を、回数の制限なしで何度でもコピー(光ディスクへ保存、ほかの機器へダビング)できます。</p>
再生不可	—	<p>「再生不可」と表示された番組は再生することができません。また、光ディスクに保存したりほかの機器にダビング(転送)することもできません。</p> <p>次のような原因で「再生不可」となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・録画した番組のデータが破損している ・ほかのパソコンで録画した番組のデータ(ファイル) ・パソコンの不具合でTV機能に関する部分を交換した (この場合はすべての番組が「再生不可」となります)

PART 7

付録

個人情報を消去する

SmartVisionに登録されている個人的な情報(データ放送用の個人データやテレビの視聴履歴のデータなど)を消去できます。パソコンを廃棄したり、他の人に譲渡するときは、これらのデータを消去してください。

消去できるデータについて

次のデータが消去できます。

データ放送用の個人データなど

- ・ データ放送で使用していた個人情報やポイント
- ・ しおり一覧の内容
- ・ 地上デジタル放送の番組表のデータとチャンネル設定

テレビの視聴履歴のデータなど

- ・ テレビの視聴履歴

！チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

■ データ放送用の個人データなどを消去する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 * (設定) をクリック

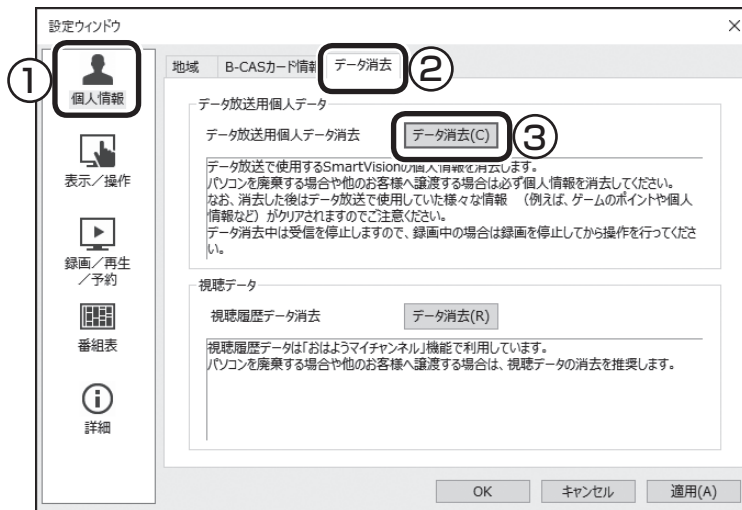
「設定ウィンドウ」が表示されます。

👉ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 データ放送用の個人データなどを消去する

- ①「個人情報」アイコンをクリック
- ②「データ消去」タブをクリック
- ③「データ放送用個人データ」の「データ消去」をクリック



「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

5 「はい」をクリック

SmartVisionが終了します。

その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

！チェック

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定をおこなう必要があります。

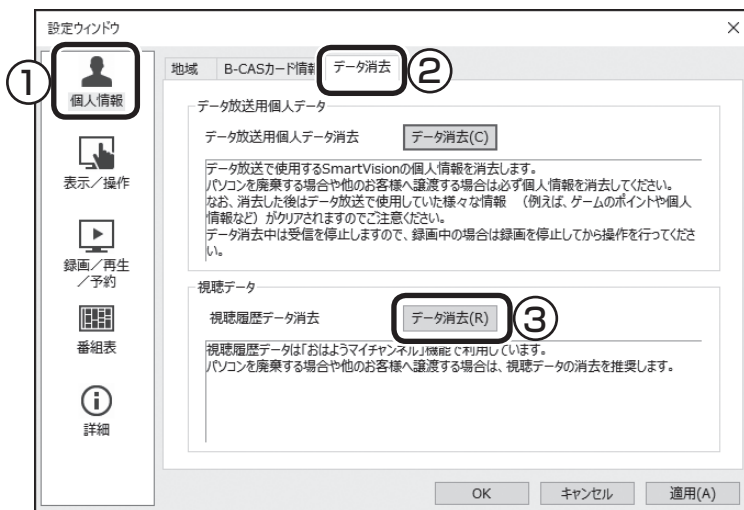
■ テレビの視聴履歴のデータなどを消去する

1 「データ放送用の個人データなどを消去する」(p.179)の手順1～手順3をおこなう

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 テレビの視聴履歴のデータなどを消去する

- ①「個人情報」アイコンをクリック
- ②「データ消去」タブをクリック
- ③「視聴データ」の「データ消去」をクリック



「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

3 「はい」をクリック

「視聴データの消去が完了しました。」と表示されます。

4 「閉じる」をクリック

PART 7 付録

自動サインインの設定をする

自動的にサインインするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、サインインするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

設定を変更する

- 1 リモコンの[テレビメニュー]を押す
テレビメニューが表示されます。
- 2 「設定」から「予約録画の設定」を選んで[決定]を押す
- 3 「自動サインインの設定」を選んで[決定]を押す
- 4 サインインするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動サインインユーザー」を選んで[決定]を押し、ユーザーを選ぶ
- 5 新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」を選んで[決定]を押し、キーボードからパスワードを入力する
- 6 「自動サインインのテスト」を選んで[決定]を押す
テスト結果に「このユーザーで自動サインインできます。」と表示されれば、自動サインインの設定が正しくできています。
- 7 「保存して戻る」を選んで[決定]を押す

PART 7

付録

各モードの画面説明

マウス操作専用モードの各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ

表示する映像(放送)を切り換えます。

地デジ:地上デジタル放送
BS:BSデジタル放送
CS:110度CSデジタル放送
録画番組:録画番組一覧

映像表示ウィンドウ

テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ

タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン

SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプボタン

SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

つぶやきプラスボタン

つぶやきプラスの画面を表示します。

番組表ボタン

番組表を表示します。

録画番組一覧ボタン

録画番組一覧を表示します。

予約&結果一覧ボタン

予約一覧、および結果一覧を表示します。

コントロールパネル

チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー

エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
緑色	タイムシフト中の放送
グレー (クリックできません)	現在、利用できない放送(切り換えられません)

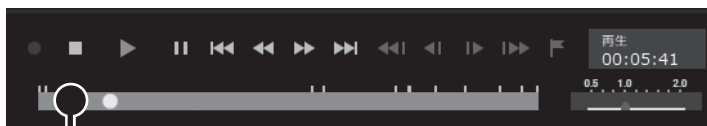
ポイント

- 番組表ボタンや設定ボタンのボタン名が表示されていないときは、SmartVisionの画面をドラッグして広げると、ボタン名が表示されます。
- 映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について → オンラインヘルプの「設定」

● コントロールパネル



プログレスバー

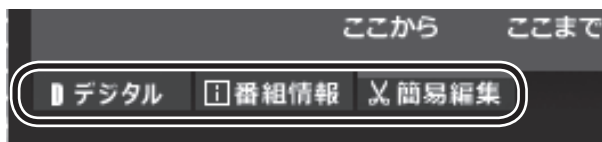
タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調節できます。

録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。

ライブモード時：何も表示されません。

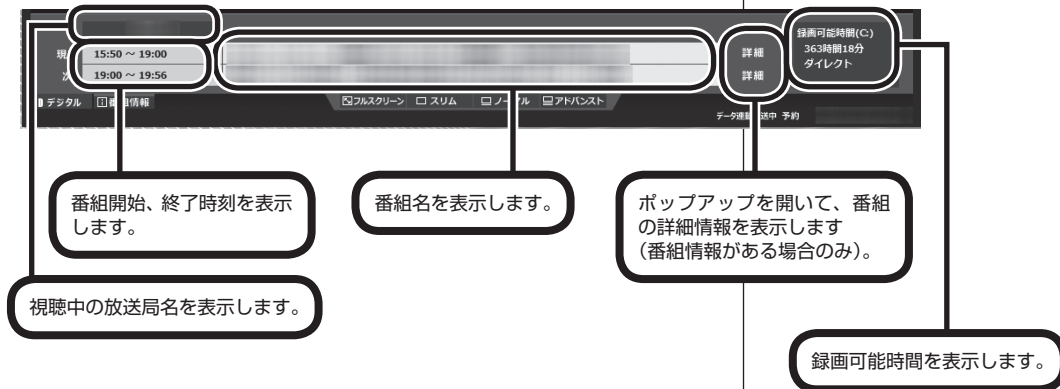
■ アドバンスモード

アドバンスモードには機能の異なる3つの画面があります。左下のタブ(「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「簡易編集」タブ(録画番組再生時))をクリックして切り換えて操作します。

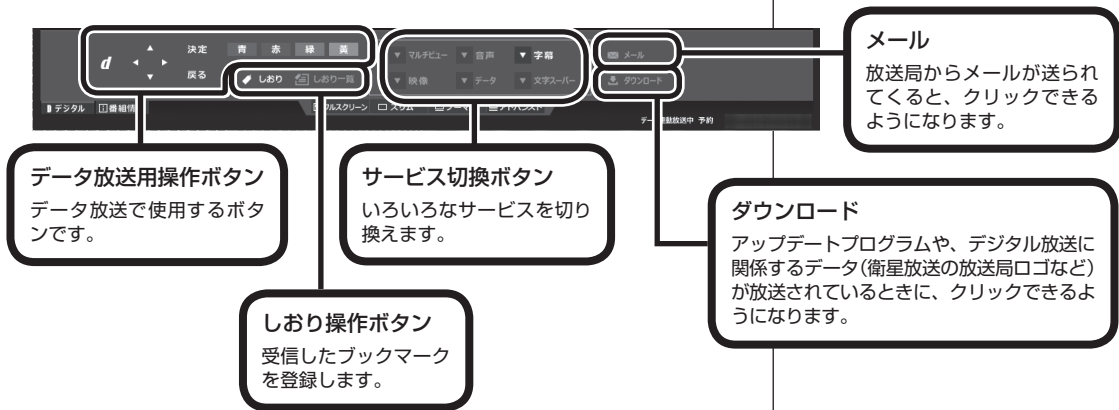


表示されている放送によって操作できるタブが異なります。操作できないタブはクリックできません。

● 「番組情報」タブ

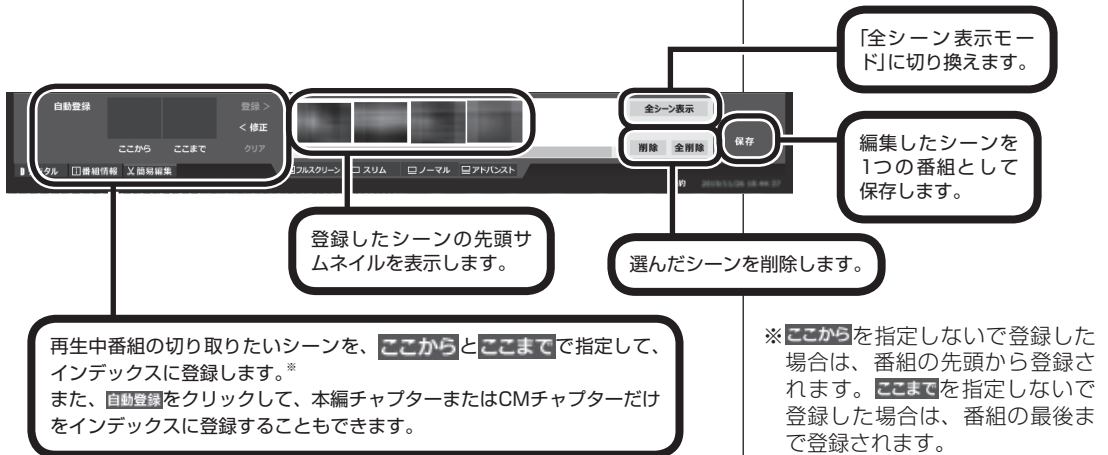


●「デジタル」タブ

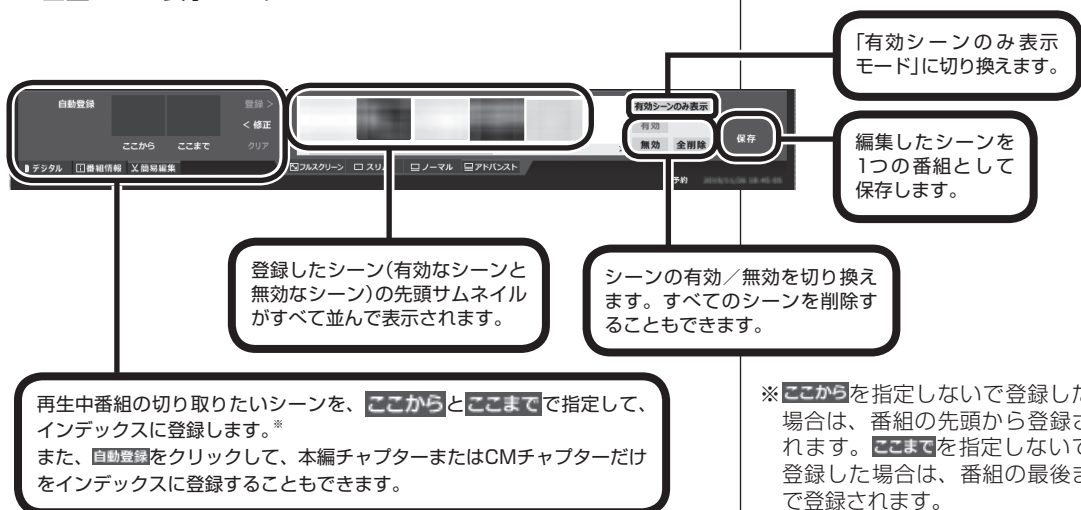


●「簡易編集」タブ

■有効シーンのみ表示モード



■全シーン表示モード



「有効シーンのみ表示モード」に切り換えます。

編集したシーンを1つの番組として保存します。

登録したシーン(有効なシーンと無効なシーン)の先頭サムネイルがすべて並んで表示されます。

シーンの有効/無効を切り換えます。すべてのシーンを削除することもできます。

再生中番組の切り取りたいシーンを、「**ここから**」と「**ここまで**」で指定して、インデックスに登録します。^{*} また、「自動登録」をクリックして、本編チャプターまたはCMチャプターだけをインデックスに登録することもできます。

^{*}「**ここから**」を指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。「**ここまで**」を指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

👉ポイント

メディアサーバーに保存された番組は編集できません。メディアサーバーに保存された番組の一覧を表示しているときは、「簡易編集」タブが表示されません。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。



SSDとハードディスクを搭載したモデルで、Cドライブの領域を変更した場合は

SSDとハードディスクを搭載したモデルにて、再セットアップなどでCドライブの領域を変更すると、SSD上に録画番組が保存されてしまうことがあります。ここでは、そのときの対処方法についてご紹介します。

■ Cドライブの領域を変更すると

SSDとハードディスクを搭載したモデルは、ご購入時、CドライブがSSD、Dドライブがハードディスクとなっており、録画した番組はDドライブに保存されるよう設定されています。

SSDのドライブ名	ハードディスクのドライブ名	録画フォルダー名
Cドライブ	Dドライブ (録画番組はここに保存！)	通常録画フォルダー:録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー:録画フォルダー 2

SSDを搭載したモデルを再セットアップするときなどにCドライブの領域を変更し、SSD上にCドライブとDドライブを作成した場合は、ハードディスクがEドライブとなります。

この状態では、録画番組が新たにDドライブとなったSSDに保存されます。

SSDのドライブ名	ハードディスクのドライブ名※1	録画フォルダー名※2
Cドライブ	Dドライブ (録画番組はここに保存！)	通常録画フォルダー:録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー:録画フォルダー 2 録画フォルダー 1 録画フォルダー 2

録画番組はデータのサイズが大きいため、次の表のように、できるだけ容量に余裕のあるハードディスク(この例ではEドライブ)に保存するよう設定しなおすことをおすすめします。

SSDのドライブ名	ハードディスクのドライブ名※1	録画フォルダー名
Cドライブ	Dドライブ	Eドライブ (録画番組はここに保存！)
		通常録画フォルダー:録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー:録画フォルダー 2

※1: ハードディスクのドライブ名は、パソコンの状態により異なります。

※2: SmartVisionの画面には、Dドライブの録画フォルダー 1と2、およびEドライブの録画フォルダー 1と2が表示されます。

■ おすすめの設定に変更するには



次の手順で設定を変更してください。

1 SmartVisionをマウス操作専用モードに切り換え、録画番組一覧を表示する

PART5の「録画フォルダーを作成する」(p.63)の手順1～手順3の操作をおこなってください。

2 録画フォルダー名を変更する

録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「録画フォルダー名を変更」をクリックして、それぞれの名前を次のように変更してください。

- ・  録画フォルダー 1→録画フォルダー 3
- ・  録画フォルダー 2→録画フォルダー 4

3 録画番組の保存先を変更する

「設定」をクリックし、次の操作をおこなってください。

- ①「録画/タイムシフト」タブをクリックし、「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」で「録画フォルダー 1」を選ぶ
- ②「おまかせ録画」タブをクリックし、「おまかせ録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」で「録画フォルダー 2」を選ぶ
- ③「OK」をクリック

4 SSD上の録画フォルダーを削除する

PART5の「録画フォルダーを削除する」(p.66)の操作で、SSD上のDドライブにある次の録画フォルダーを削除してください。

- ・録画フォルダー 3
- ・録画フォルダー 4

チェック

すでにSSD上の録画フォルダーに録画番組が保存されているときは、録画フォルダーを削除する前に、番組を別の録画フォルダーに移動させてください。

■ ストレージの空き容量の制限値を変更する

SmartVisionでは、ストレージの空き容量が設定した値を下回ると録画を停止します。空き容量の設定は次の手順で変更できます。

1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 左側の「録画/再生/予約」をクリックし、「録画/タイムシフト」タブをクリック

3 「録画の自動停止」で、録画を自動停止するストレージの空き容量(制限値)を設定する

4 「OK」をクリック

全画面表示のときの画面の表示方法を変える

画面サイズが4:3の比率になっている放送では、画面の表示方法を変更することができます。

画面の表示方法は、次の3つから選べます。

表示方法	説明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。

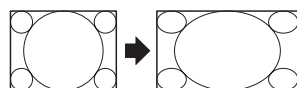
ノーマル



ズーム



ワイド(フル)



【サブメニュー】を押し、「ワイド切換」を選んで、画面の表示方法を選んでください。

！チェック

- デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。
- 画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。なお、パソコンの画面の比率が16:9以外(16:10など)のモデルでは、画面の上下に黒い部分が表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 全画面表示ではないとき(ウィンドウ表示のとき)、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。

各画面に表示される「録画可能時間」に関するご注意

アドバンスモードの番組情報タブに表示される「録画可能時間」
現在視聴している番組を手動録画する際の「録画可能時間」の目安となります。

- ・ 録画に使用するストレージの空き容量と、現在視聴している番組(放送波ごとにビットレートが異なります)の録画時に必要な容量から算出されます。

録画番組一覧画面に表示される「録画可能時間」

録画予約の際に、ストレージ全体のおおよその空き容量(残量)とあわせて「録画可能時間」が十分かどうかご判断いただき、必要に応じて不要な録画番組などを削除していただくための目安となります。

- ・ 録画モードが「ダイレクト」のときは、放送波(地上波/BS/CS)によって実際のビットレートが異なるため、計算上のビットレートを24Mbps均一として算出されたおおよその録画可能時間が表示されます。

ポイント

算出方法が異なるため、画面によって表示される「録画可能時間」が異なる場合があります。

英数字

AVCREC	46
B-CASカード	166
BDAV	46
DVD-VR	46

あ行

アドバンスモード	56
アンテナの設定	167
ウェブ検索	76
追っかけ再生	40
おまかせ録画	23
オンラインヘルプ	56

か行

画面の表示方法	189
キーワード	20、23
きこえる変速再生	3
検索	20
個人情報	179

さ行

再生	37
さかのぼり録画	17
自動サインイン	182
受信レベル	167
新番組おまかせ録画	29
ストレージ容量	15
スリムモード	56
双方向サービス	4
外付けハードディスク	73
外でもVIDEO	82

た行

タイムシフトモード	2、17
ダビング10	174
つぶやきプラス	110
データ放送	4

な行

ノーマルモード	56
---------------	----

は行

番組表	7、138
番組を移動する	65
フォーマット	50、51
フルスクリーンモード	189
編集	68

ま行

マイ番組表	8
-------------	---

や行

予約の優先度	34
--------------	----

ら行

ライブモード	2
録画	11
録画モード	14
録画モード変換	58

テレビを
楽しむ本
活用編



初版 2021年1月

NEC

853-811190-451-A

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX